

334  
175



022662-000-3

334-145

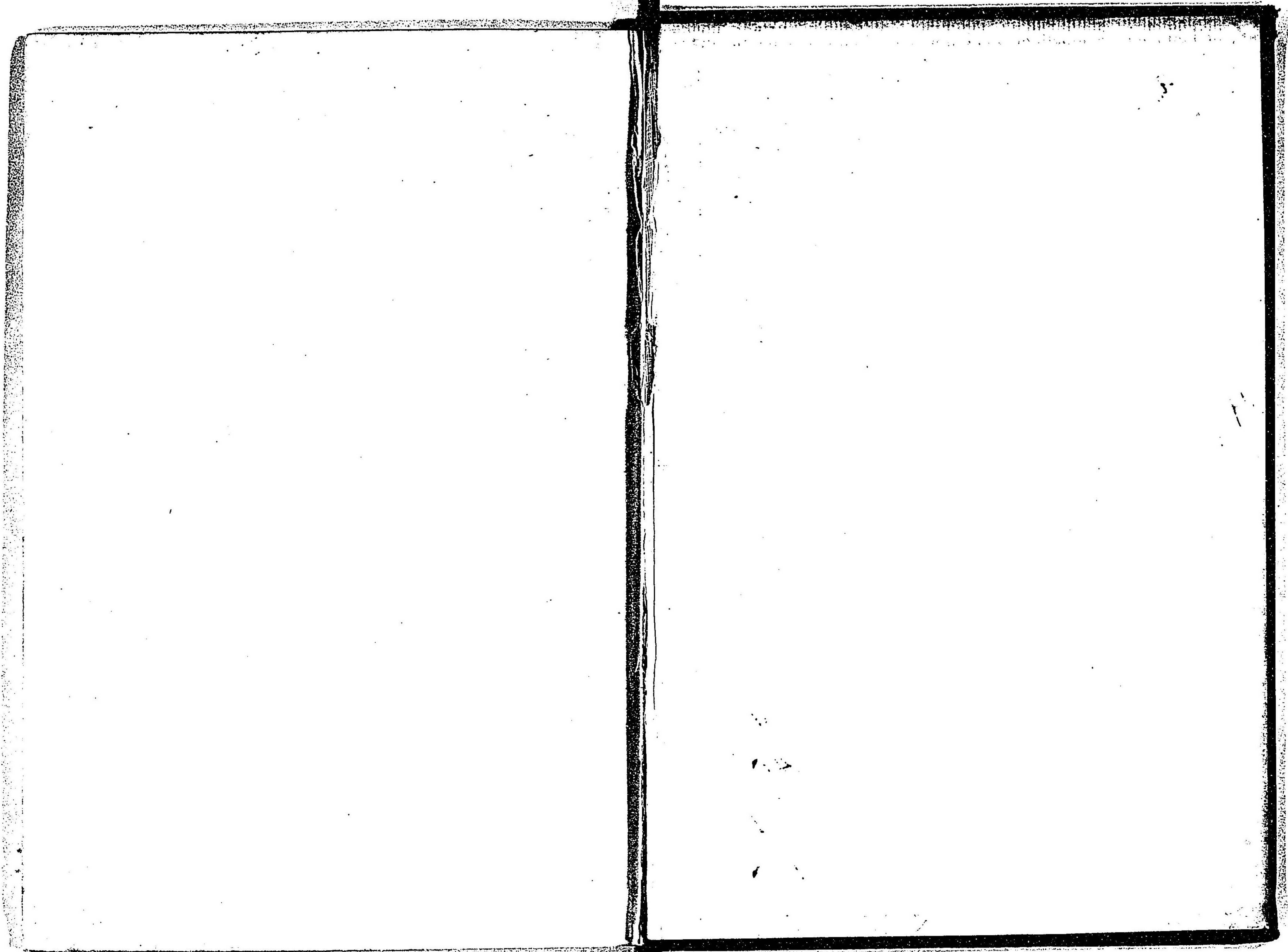
太平洋の優越者

三瓶 勇佐/著

M44

ADB-0392





マスター  
オブ  
ア  
リ  
ツ  
三瓶勇伍著



た  
し  
洋  
の  
優  
越  
者

東京  
大阪  
寶文館藏版

明治  
44.11.9  
内交

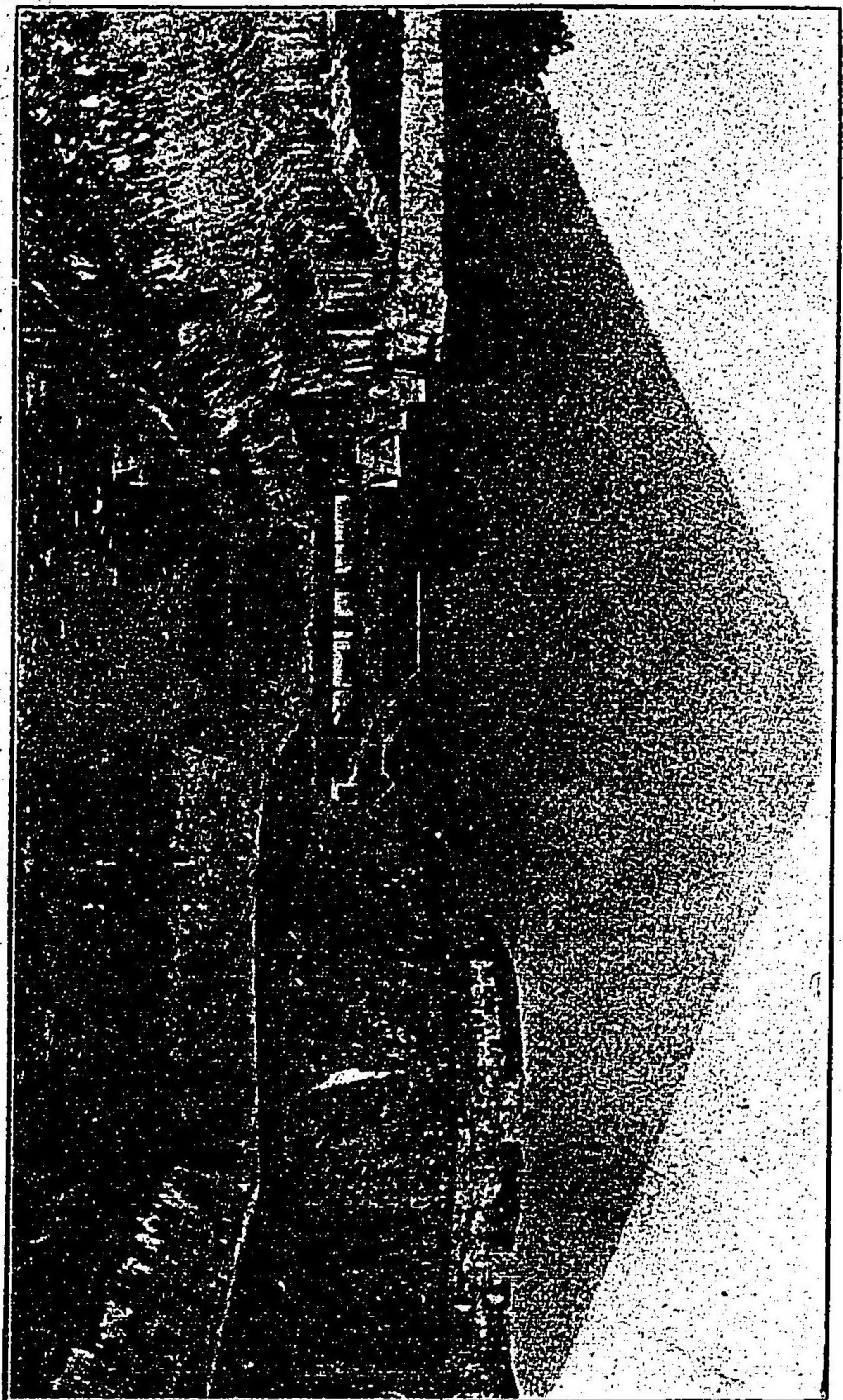
健  
典



替白波

のほふふお秋  
お平洋の優越  
者よ越す

彩平



塞城及河運るけ於にタソバ

## 序言

著者は敢て太平洋問題の現状に激し世界列國の行動  
黙視するに忍びず秃筆を呵して此書を成すと大言壯語  
するものにあらず。實を言へば、此書は單に謝恩の産物に  
過ぎざるなり。明治三十七年著者は甚だしき逆境に陥り  
殆んど困憊の極に達したるに際し、幸に或先輩の知遇を  
恭うして海外留學の途に上り、殖民學の一端を講究する  
事を得たり。爾來著者は其學習する所のものを記載し、之  
に私見を附し、一本となして恩人に献呈し、以て鴻恩の幾  
分に報いんことを欲したるや久し。現著太平洋の優越者  
は則ち著者が此志の一部を達したるものにして、廣く讀

者を世間に求めて其至當なる批判を待たんとするが如きは素より豫期せざる所なり。唯本書は恰も國際關係大に發展し、我國民の太平洋に關する智識の要求最も切なるの時に出てたるを以て若し幸に江湖諸彦の太平洋の事情を會得するに於て萬一を補益するものありと認めらるゝを得ば、是れ著者が望外の光榮なり。

明治四十四年十月

於駒込團子坂上

三 瓶 冠 江

# 太平洋の優越者目次

## 第一章 總論

世界の大勢——露國——支那——日本——合衆國——濠太利——英領コロンビヤ——其他列國——結論

## 第二章 太平洋の沿革

太古の太平洋諸島——亞細亞の種族——チクリト族——パピヤン族——マオリス族——アイヌ族——ポリネシヤ族——イーストアイランド——混合種族——インドネシヤン族——イゴロツト族——パタク族——マレイ族——三種のマレイ族——ジャワ人——殖民時期に入りたる亞細亞諸國——マルコポーロ——ラツドニツク——ザアゼマ——マゼラン——西班牙——葡萄牙——和蘭——英國の競争——

目次



佛國の現出——獨逸國——合衆國

第三章 合衆國の膨張

ルイジアナ洲の買合——フロリダ洲の買合——テキサス洲の聯合——アリゾナ洲南部の所領——アラスカ洲の買求——布哇の合併及びサモア島占領——西大陸沿岸の東大陸沿岸との相違——カリフォルニア洲金銀發見——カリフォルニア初期の殖民——カリフォルニアの氣候物産——カリフォルニア洲の人口問題——排日論——太平洋沿岸諸洲——ブセツトサオンド灣——シヤトル——クコマ——桑港——巴奈馬運河——ニカラカ運河と巴奈馬運河との優劣——巴奈馬運河の世界に及ぼす影響——日本に及ぼす影響——布哇——米國の市民權——布哇の産物——カナカ人——布哇の山林保護——眞珠灣築港——サモア島——バンゴバンゴ軍港——凡米主義より帝國主義に一轉せる米國——合衆國憲法上の困難

第四章 西班牙の比律賓及び合衆國の

比律賓

比律賓の地勢——初めて比律賓に上陸せし歐羅巴人——最も錯雜せる人種——テンキヤン族の奇習——西班牙人支那人日本人との雜種——オリガステニヤン僧徒——西班牙の政治組織——西班牙時代の警察隊——司法行政の分立——僧徒の政治上の勢力——一八六九年の亂米軍馬尼刺に入る——米國比律賓を占領す——米國對比政策——政治組織——西班牙人の比律賓に及ぼせし影響——合衆國の比律賓教育——比律賓西班牙僧侶時代の教育——米人アットキンズ氏の記事

第五章 比律賓及び比律賓人

比律賓人の常居——比律賓の風景——比律賓の市場——比律賓人と

文明教育——馬尼刺——比律賓人の性格——比律賓に於ける支那人——比律賓の海運

第六章 太平洋に於ける大英國(濠太利)……………七六

半世紀前の濠太利——濠太利土人——濠太利の政治組織——ニルゼランド——ニルゼランドの土人——新義尼亞——バプアン族——新義尼亞の軍事的地位——獨乙新聞の主張——英國の新義尼亞占領の目的——蘭領新義尼亞——フィジ諸島——英國のフィジ政策其他南太平洋に於ける英國領土

第七章 太平洋に於ける大英國(濠太利)

續き……………九九

濠太利の重要な政治問題——ニルゼランドの獨立——人口問題——貿易——運輸交通——大陸横貫鐵道——海底電線——濠太利人

の國民思想の發達——英國對濠政策——濠太利の社會問題

第八章 英領コロンビヤ……………一二二

英領コロンビヤの沿革——英領コロンビヤの富源——山林——水産——鑛山——英領コロンビヤの資本と勞働——英領コロンビヤの海運

第九章 海峽殖民地及び香港……………一三三

海峽殖民地の沿革——新嘉坡——英國の施政——貿易——新嘉坡に於ける支那人の地位——東南亞細亞に於ける海運——香港及其貿易——香港政廳

第十章 英領北ボルネオ……………一三八

地勢——ジエームスプロロク氏——ブルニイ——ラブファン——北ボル

チオ殖民會社——ボルネオの土人——ボルネオに於ける支那人及び  
歐米人——サンダーカン——貿易

第十一章 太平洋に於ける和蘭……………一五六

和蘭の政治——セレベス——マツカサア——サコリング——パンジャ  
マッスン——コイライ河畔石油泉——南ボルネオの金剛石——パ  
イ島——ホイリソング——ロンボグ島——バンタ島——スバイシア  
イランド——アンボイニア——スマタラ——アチン族——バタツク  
族——メナンカボ——一八〇七年の回教徒の蜂起——コレンチ洲——  
バレンパン——結論

第十二章 瓜哇……………一七五

沿革——東印度會社——耕作法——現今瓜哇の行政——和蘭殖民行  
政特質——バタビヤ——ソラバヤ——瓜哇執政一斑——土人の教

育——執政上の難問題

第十三章 新日本……………一九二

戦役後に於ける日本——農業——漁業——林業——鑛業——製造工  
業——貿易——運輸交通——強國としての日本の地位——結論

第十四章 臺灣……………二〇二

臺灣の沿革——蠻人——臺灣に於ける和蘭人——國性爺——英國の  
漂流者大南門に於て斬殺せらる——天津條約——臺灣征伐——佛國  
艦隊の砲撃——日本の領土となりたる臺灣——臺灣の殖民政策——  
主要産物——總督府——臺灣の軍略上の位置

第十五章 朝鮮關東洲南樺太……………二二四

日韓合併——農業——漁業——鑛業——關東州——大連旅順——南

滿洲鐵道會社——四國借款——滿州に於ける我が利權——滿洲經營策——樺太

第十六章 獨逸佛蘭西露西亞及び支那……三九

獨領サモア——獨乙の殖民政策——膠州灣——獨乙の膠州灣經營——佛蘭西殖民地——印度支那——佛蘭西の海洋殖民地——殖民國としての佛蘭西——太平洋露國——露國の殖民政策——支那の工業——農業——運輸交通——貿易——結論

太平洋の優越者目次終

太平洋の優越者

三瓶勇佐 著

第一章 總論

世界の大事——露國——支那——日本——合衆國——濠太利——英領コロンビヤ——其他列國——結論

世界の大事

ヴァスコダガマ喜望峰を迂廻して東洋航路を發見し、蘇士運河開鑿せられて世界交通の便を大にし、巴拿馬運河の竣工近く一九一五年に於て行はれ、更に世界交通史上に一大紀元を開かんとす。西比利亞鐵道は既に完成し、東西兩洋連絡の綱條となり、バックダット鐵道は更に印度支那を通過して東洋諸國交通の發展に絶大の刺戟を與ふる亦必ずしも遠き未來の事業にあらざるべし。米大陸横斷の諸鐵道は太平洋沿岸の文明を太平洋沿岸に移し、其勢に乗じて開かれたる數多の汽船航路は急速力を以て東洋貿易の

開拓に勉めつゝあり。前世紀の終末に至るまで僅少なる探險者の手に委棄せられたる太平洋諸洲は今や各國が虎狼の慾を以て獲取する所となり、數十年前英國一流の政治家をして領土を洋島に擴張するは恰も挽臼を頭に懸けて深淵に臨むが如しと叫ばしめたる言議は、今にして之を見れば、一場の噓語に過ぎず。列國は各猜疑の眼を放ちて最も隔絶したる海洋上の孤島を占有するに容易ならざる状態となれり。

卷頭の地圖を見よ。廣大なる海洋は列國の分轄線を以て縦横せられ、汽船航路の點線は殆んど網の如く、海底電信線は其間に相交錯し、軍港商港の新拠點は沿海隨所に散在するを見るべし。太平洋問題は刻下の問題なり。未來列強の勢力消長の分岐點なり。著者は殊更に豫言的語調を以て其優越權の何國に歸すべきやを指定せざるべし。以下章を分つて論述する列國の政策士民の狀態により、各自其意見を形成して可なり。此書冊の目的は唯太平洋の現時の事情を描き其紛糾錯雜せる諸問題の亂麻の中より、義理明徹せる端緒を示し、諸君の思考に供せんとするにあるのみ。

## 露國

新世紀の關頭に於て最も顯著なる記號を印するもの、一は露國の大陸を横過して北太平洋岸に現出せし一勢力なり。日露戦争の結果により、旅順大連の良港を失ひ、僅に浦鹽を擁して暫く北滿洲に其銳鋒を收めつゝありと雖も、其海港建設の意志は牢として没却すべきものにあらず。機會に乘じ再び極東の地に其高壓政策を施すに至るべきや蓋し未だ知るべからず。

## 支那

支那の將來は現下の問題にして、太平洋の變革に一大影響を及ぼすものなり。支那は既に覺醒せり。代議政治を實施し、内政の改善を計り、通商貿易を盛ならしむる時は、列國の態度自ら一變し、久しく外交上の紛議の料となりたる分割問題は、當然消滅するに至るべし。支那の分割は決して難問題を解決する所以にあらず。反つて極東問題をして更に粉料ならしめ、將來列國勢力の均衡維持の上に計るべからざる災禍を醸成する所以なるべし。支那は須らく日本の保護誘導の下に、内治外交の改善を計り、確實に其國土の保全を計るべきなり。

日本

太平洋の優越者

四

日清日露の二大戦役を経て突然世界強國の班列に伍したる日本は、其戦捷の除策として臺灣朝鮮南樺太を併合し、一大殖民國として列國環視の下に其未發の手腕を試みつゝあり。其太平洋の一角に峙立し歐米通商の要路に當る地理的利便を保有するは太平洋問題に直接大關係を有する所以にして、若し一朝太平洋制海權獲得の争起る場合ありとせば、日本は自然的其優先者の地位に在るものにして、太平洋問題解決とは暫らくも離るべからざる者の隨一なり。由來英米兩國は、多くの場合に於て日本帝國と利害を同うし、活動を共にし來れり。故に將來に於ても此共通政策の下に太平洋の開拓に勉めん事は著者の最も希望する所なり。本年七月十五日發表せられたる日英改訂條約は、日本が如何に平和を好愛するかを實地に證明したるものにして、從來猜疑の目を放つて我を誣ひたる列國も、方さに我眞意と了解せしならんと思惟す。

合衆國

合衆國は既に今日に於て太平洋の一大勢力なり。其急速なる人口の増加と世界無比の財源とを以て海外發展の事業に従事する時は、其勢力誠に

濠太利

驚くべきものあるべし。然れども合衆國は新進國なり。其海外政策は新に試験さるゝものなり。其進路に當つて數多の障害横はり、多少の損害と犠牲とを拂はざるべからざるは、到底免れ難き事なるべし。然れども合衆國は既に太平洋上に於て布哇、比律賓、サモア、グアム等の諸島を有し、其オレゴン、カリフォルニアの沿岸洲の將來の發展の如き又太平洋變革上一大勢力を成すものにして、巴奈馬運河の支配權に至りては更に絶大なる勢力を今後の海外政策に及ぼすものならざる可からず。

濠太利は僅かに世界の進運に向つて第一歩を進めたるのみにして、其將來の發展如何は尙ほ未知數に屬す。然れども其廣大なる富源と能力とは必ず大聯邦國を驅つて太平洋競争場裡に重要な活動者の地位を占むべし。濠太利の最も注目すべき現象は、其政治思想の民主々義に傾き行く事にして、時機の變遷如何により別に一大共和國を形成する事なきを保すべからず。是れ英國政治家の大に考慮すべき事なるべし。

英國

英國海軍の太平洋に於ける今後の根據地は英領コロンビヤなるべし。

其他列國結

コロンビヤは石炭山林の天恵豊かにして、世界有数の良港灣を有し、氣候適順にして地勝太平洋を壓す。況んや近時亞弗利加の海軍熱漸く衰へて、英人の意向次第に他方面に轉せんとする時に於て加奈太コロンビヤは其志望を達するに恰好の地域を供するものなるべし。濠太利はコロンビヤの如く最良の海軍地にあらずと雖も、亦相當の防備なかるべからず。濠太利の海軍擴張は畢竟近き未來の事業なるべし。要するに英國今日の急務は、世界各地に散在する殖民地を糾合して一層密接なる關係を結ぶ事にして、英國太平洋海軍の實力は唯之によつて表現せらるゝものと謂ふべし。

太平洋の勢力として葡萄牙、西班牙は既に過去の事に屬す。和蘭は獨り東印度諸島を保持し着實なる政治を行ふと雖も、其施政は嬰守的にして近代の活動に接觸するものにあらず。世界進歩の銳鋒は其最も抵抗少なき方面に向うて動くものなれば、和蘭にして若し今日の狀態を保續し常に消極的政策を變更せざる限り其運命は當さに知るべきのみ。見來れば太平洋の重要なる勢力は皆新進國にして、合衆國は布哇比律賓を抱いて太平洋

の中央に臨御し、日本濠太利は新進の銳氣を以て各南北太平洋に鎮坐し、獨乙佛蘭西其間に介在して機會の到達を俟つものゝ如く、太平洋革新の新世紀は既に開始せられたり。列強は互に爪牙を磨き不時の災禍に備へつゝあり。將來の運命如何は豫め測るべからずと雖も、唯大國民の行動には躊躇あるべからず。勇往突進して斃るゝは寧ろ其本命なり。世界の進歩は國民の活動によつて生ず。絶對の休止は自然の消滅を意味するものなり。太平洋は開拓せられざるべからず。列國の激烈なる競争は自然の數なり。然れども競争は必ずしも奮闘殺戮の謂ひにあらず。各國の公正なる態度は災禍を未然に防ぐを得べし。今後の太平洋の優越者は公明正大なる施政を最も完全に使行する國民たらざるべからず。

### 第二章 太平洋の沿革

太古の太平洋諸島——亞細亞の種族——チクリト族——パピヤン族——マオリス族  
——アイヌ族——ポリネシア族——イーストアイランド——混合種族——インドネ

シヤン族—イゴロツト族—バタツク族—マレイ族—三種のマレイ族—ジャ  
ワ人—殖民時期に入りたる亞細亞諸國—マルコポーロ—ラツドニツク—  
アゼマ—マゼラン—西班牙—葡萄牙—和蘭—英國の競争—佛國の現出—獨  
乙國—合衆國

太古の太平洋諸島

太古の太平洋諸島は多く大陸に連結し、西部に在る者は亞細亞に、南部に  
在る者は濠太利に附隨し、中部太平洋に在る諸島は別に一大陸を形成した  
るものにして、現今の太平洋は則ち其の遺物なる可しとは一般地理學者の  
推測する所なれども、未だ確然たる科學的斷定を下す可きものにあらず。  
①亞細亞諸島と濠太利諸島との區劃線はバリイ、ロンボク、セレベス、フィリッ  
ピンの中間に在るを以てフィリッピン、ボルネオ、セレベス、バリイ、ジャワ、ス  
マタラは亞細亞に屬し、ニューギニヤ、モラツカス、テモルよりロンボクに至  
る諸島は濠太利に屬するものなり。バリイとロンボクとの間にある深狭  
なる海峡は、亞濠兩大陸の分離點を示すものにして、或未知の地質時代に於  
て是等大陸の常に合一の状態にありし事を證する者なり。セレベス島の  
獨り此區劃を混亂せしむる所の異様の形態を表すは、亞細亞濠太利の隔離

亞細亞の種族

ネグット族

以前に於て長く分在せるを證する者にして、其岩層の大に兩大陸に近似し、  
別に獨異の性質を表さざるを以て知る可きなり。其後濠太利より分出せ  
るはモラツカスと其東部に點列せる所の諸島にして、ニューギニヤは北濠  
太利より、スマタラとジャワはマレイ半島より分離せるものなり。是等諸  
島の人類住居の歴史は杳として知るべからず。然れども南部太平洋土民  
西部太平洋土民として一般に稱せらる所の二種族の廣大なる散布の狀況  
より考ふる時は、彼等の居住は其分離以前に始まりし事明なり。亞細亞、濠  
太利の區劃線は概して是等の二種族の居所を區分し其の皮膚骨相に於て  
大要近似せる者ありと雖も自ら其性情を異にせり。

亞細亞は極めて古代の種族を有せり。彼等の或者は皮膚概して暗黒に  
して、其突顴縮毛扁唇は亞弗利加のネグロ型を示す。唯ネグロ種よりは倭  
小にして、性質甚だ懦弱なるものなり。此外亞細亞には骨格逞しく眉目明  
かに皮膚暗黒にして鼻端灣曲し毛髮硬く性情猛烈なる人種あり。前者は  
ネグット族にして長くフィリッピンの山地に居住し、マレイ半島に於ては



ペビアン族

セマング族として知られ、アンダマン島其他二三の地方に於ても亦彼等の形跡を探究し得可し。後者はペビアン族と稱するものにして、ニューギニヤは即ち其故國なり。ニューギニヤのペビアン族はメラネシアン族と結合して更に特異の性質を表出せり。現時此種族は東の方フエシイ島南の方ニューカレドニヤに至り、又ミロネシヤ全部に亘りて其形跡を見る事を得べし。是等黒人種の居住せる太平洋諸島には、或未知の時代に於て白人種到來し、南部亞細亞及び東部亞細亞に住居せり。彼等は日本を経て遙かに太平洋に進み、サモア島に轉住し、これよりポリネシヤ諸島に進入せるものあり。トンガ、フレンド、レイ、マツク、ソサイライ、マールネサス、サンドキツチ其他の諸島にある皮膚の美麗なる人種の祖先は、則ち彼等なり。ニューゼラントに於て彼等はマオリス族と稱せらる。太平洋諸國に移住せる白人の言語は、其後數多の外國語を交へ、其容貌に於ても種々の變化を來たしたりと雖も、其自然に美麗なる皮膚及び其溫和なる性情は、全く前記の暗黒人種と其趣きを異にし、明かに高架索族の流派なるを推知するを得べし。

マオリス族

アイヌ族

ポリネシヤ族

日本にあるアイヌ族は、此人種の一部なり。マレイ群島に於て此種に屬する人種は、僅かにスマタラの東海岸にある二個の小島に存するものゝみにして、東部太平洋にあるポリネシヤと稱する種族は、此高架索族の最も古きものなり。

ポリネシヤ族の文明は、半面的發達を遂げたるものにして、彼等は家屋を



ボリネシヤ族の子女

建て、家具を作り、衣服を製したりと雖も、普通文明の初期に於て産出さるべき陶器の製造法を了解せざるものゝ如し。ポリネシヤ諸島に數多の石工術の荒墟あり。太平洋諸島中最も東方に横はる所のイースターアイランドには、百有餘の石造家屋を

有し其内壁には鳥獸人面等種々の幾何學的繪畫を表はし其市街の中央に於て高さ殆んど壹百尺の石壘の上に冠を頂きたる石像を戴せたるが如きは到底半面的文明の發達をなしたるポリネシヤ族の企て及ばざる所なるべし。此古代の石工術の起原に就ては未だ一定の學說なしと雖も、ポリネシヤ族の移住前、或有力なる種族の居住せるものなるべしとは一般の信ずる所なり。イースターアイランドの石工は實に世界の一疑問なり。石材の彫刻には銳利なる鐵器を要す。然るにポリネシヤ諸島の荒廢中には一も斯る利器の遺物を發見する能はず。若し彼等にして鐵器以外の相當なる器具を所有するにあらずんば、到底斯る進歩せる工事を企畫する能はざるべし。英國博物館内に陳列しある所のイースターアイランド石像の面相は、現代人種の何物にも似ざる異様の面貌を有し居るを以て、其の人種の研究をして更に困難ならしむる傾きあり。

太平洋民族の第三期發達の事跡はモンゴル人の侵入にして、彼等は亞細亞を横ぎり、タータリよりインドチャイナに至り、其沿海地の白人と混合

混合種族

してコリカシヤンモンゴルと稱する混合種を生ぜり。是等混合種はポ

ルネオとスマタラの二大島國に入り、ボルネオよりフィリピンに渡り、其のネグロトス族及び白人と結合し、後年更に支那人と雜婚せり。今日ボルネオとフィリピンに於ては、ポリネシヤン諸島に於けるが如く確に白人の證據を見る能はざれども、彼等は實際會て其地に存在せしものにして、唯年と共に其地にありし他の多數人種の爲めに併吞せられたるものなるべし。

インドチシ族

前マレイ種或はインドネシヤン族は、ボルネオに於てはダイヤク族と、スマタラに於てはバタック族と稱せらる。フィリピンに於て彼等は部落

イゴロット族

の異なるに従ひ種々の名稱を有すと雖も、一般にイゴロット族と稱せらる。彼等の皮膚は淡銅色にして黒髪を有す臺灣の土人は此種族に屬し明にモングリヤン族との相違を表はせり。バタック族は此種族中最も文明に進みたるものにして、文字を有し冶工裁織の術をも會得したり。

バタック族

マレイ族

マレイ族の特徴は其の體格の細長なる事にして、其銅色の皮膚黒色の頭髪はバタック族の如し。マレイ族の起原に就ては學者の説未だ一定せず。

多数はスマタラを以て其の本國となすものゝ如し。マレイ語には数多の文字を有し、オランマラヤはマレイ人の意にして、タンチマラヤはマレイ國の意なり。然れども其のマラヤなる語原に就ては今日尙ほ未解の問題にして學者の常に研究を怠らざる所なり。スマタラとジャワは僅に一帯帯水の間のみ。スマタラのマレイ族の直ちにジャワに入り此種族中最も高大なる文明を表現せしは當然なり。マレイなる言語の初めて歐洲人の記録に上りたるは紀元後一三〇年の頃にして、此時代に於てトレミイはヒンガイ貿易者よりマレイスロンと稱ふる國を聞知し其の著書に屢々其状態を記載せり。然れども此時代に於けるマレイなる言語は、スマタラを指定したるものなるか、或はマレイ半島に適用したるものなるか、未だ判然せず。二世紀の頃羅馬貿易品中にありたる丁香は、マラッカスの特産物にして、當時のヒンツ人若しくは亞刺比亞人は深く、是等の人種に接觸して其商品を買得したるものなる可し。或る歴史家は丁香以前に於て錫或は鼈甲を得んが爲めマレイ族に接近せるものありと稱すれども、確實なる歴史的證明

## 三種のマレイ族

を得る能はず。

第五世紀に於けるマレイ族を分ちて大凡三種となすを得べし。第一は、現今の馬來半島及びスマトラの一部に萍浪する所謂遊牧の民にして、第二は、其附近の海洋に出没して海賊を業とせしものなり。彼等は馬來群島の各方面に侵入し、セレベスに於てはプギスと呼ばれ、ボルネオに於てはバザンスと稱せらる。第三は、漁農に従事し漸次文明の域に進み、其の邦國を建設したる所謂マレイ人種の本體是なり。

## ジャワ人

ジャワ人は初めヒンヅウ族の宗教と文明を吸収し、スマタラに行き、バレンパンの都市を建設し、進んでスマタラの最も豊沃なる地と稱せらる所のメメンカボの王國を設立せり。マレイ族の多くは此王國より分岐せるものなり。現今ジャワとスマタラの各地に散見する所の宏大なる寺院は十三世紀より十四世紀に亘りてヒンヅウ文明の絶頂に達せし頃建設せられたるものにして、其の建設物の多くは今や壊敗せりと雖も、其結構の壯大なる、其の技術の巧練なる、尙ほ當時の隆昌を想見するを得べし。シンガポ

ルとマラッカ創設者はジャワより來れる者にして、其の起原は十二世紀の中葉と稱せらる。ジャワに於るヒンヅウの文明は十五世紀の末葉を以て一期となし、其後亞刺比亞、波斯より回々教徒來りて群島諸國に移住し、土人と雜婚し、漸次其の宗教文明を流布せり。回々教徒はヒリッピン、ミンダナホに進み、其後に來たれる基督教徒に對抗し、熱心に土民の歸信に勉めたり。今日サルウ群島の如きは全く回々教徒の勢力の下にあり。

殖民時期に入りたる南亞諸國

以上列記の太平洋民族の沿革は全く歴史的權威を有せざる荒蕪たる説話に過ぎずして、真に太平洋諸國及世界歴史の班列に編入せられたるは、十三世紀の頃西歐諸國の探險者が此方面に進入せし時に始まるものなり。

マルコポーロ

丁香貿易の爲め印度と羅馬の交通ありてより以來、幾世紀間歐亞の關係全く絶え居たりしが、一二九一年彼の勇敢なるマルコポーロは極東の諸國を涉獵し、此方面に關する數多の知識を歐洲に齎らしたり。其後二百年にして喜望峰航路の發見ありしより、葡萄牙はマラッカの都市の繁盛を聞き、船隊を艦裝して其地に向ひ貿易を求めたり。然れども不幸にして土人との

ラドニック、ヴァーゼマ、マゼラン

間に紛擾を惹起し、暫く其地を撤退するの已むなきに至りしが、其後二年を過ぎ一五一一年、遂に全くマラッカの略取を了せり。是よりしてラドニック、ヴァーゼマ、マゼラン等の旅行者相次いで到り、或はスマタラ、或はジャワに深く未開の地に浸入し、隨時其狀況を報じて西歐の耳目を新にせり。マゼランは初め西班牙王の爲め探險事業に従事し居たりしが、其補給充分ならざりしより遂に西班牙皇帝チャアレス五世に歸依し、其探險の成績を一切西班牙國の權威に奉納せり。一五二九年マゼランはセウイルを去り、西の方ラドロンドまで浸入せり。一五二二年、彼はセブに上陸し、土人の殺害する所となる。マゼランと行を共にしたるバルボサとピガフェツテは故人の遺志を承け、暫く探險に従事したりしが、バルボサは又セブの土人に殺害せられ、ピガフェツテは獨り航海を續け、ボルネオに入り、其文明を探究せり。當時フィリッピンの土人は相當の文明に達し、文字を有し、金鐵の技工を能くせり。彼等は亦た能く西歐の文明を受容し、セブの土民の如きは僅に八日以内に於て全く基督教に歸依したりと稱せらる。現時セブの市街に樹

立する所の木像の十字架は、始めマゼランの建設したるものと傳へらる。  
 マゼランの事業は大に西歐の人心を刺戟し、幾多の冒険者相續て起り、一五  
 二六年始めてジョルジ・マサチウツ、ニコライ・ギニア等を探險し、一五六五年レガ  
 スピイは、ルードソンに上陸し、其後六年にして全群島を征略し、太平洋の歴史  
 に一大紀元を開きたり。一五九五年和蘭も亦太平洋開拓事業に加はり、ジ  
 ャッ及びスマタラに進み、貿易を營むこと數年にして、彼等は又セレベス島  
 を横貫し、一六〇二年和蘭東印度會社の設立となる。一六〇〇年英國も亦  
 た此間に現出し、他の歐洲強國と共に熱心なる競争を開始せり。一六〇六  
 年西班牙人タレスは、ニコライ・ギニアの全部を探查し、西班牙國王の名を以て  
 其所領を確實にせり。同年ソサイテイアイランド發見せられ、ニコライヘブ  
 ライスに於て西班牙の殖民地設立せらる。一六一〇年和蘭人は現今パタ  
 ヴィヤの存在する所の港灣を占領し、西印度に於ける和蘭殖民地の基礎を  
 築きたり。斯くて初め馬來群島の開拓者を以て任じたる葡萄牙は、漸次其  
 地歩を失ひ、和蘭英國西班牙は益々其勢力を擴張せり。マラッカ群島は屬

英國の競争

和蘭英國西  
班牙三強國  
の勢力

するテドル及びテルテロトは西班牙の所領する所となり、和蘭は之と通商  
 條約を締結し、事實上丁香貿易の專賣權を獲取せり。一六四一年和蘭は亦  
 マラッカ市を略取し、一六八一年マラッカ洲全部は、遂に其の所有に歸した  
 り。是より先き彼の有名なるヴァンダム提督はセレベス島より葡萄牙を  
 排斥し、漸次其勢力を扶殖し來たりしを以て、十七世紀の末葉葡萄牙の有す  
 る所は僅かにテモル島の小殖民地あるのみとなれり。和蘭は其後益々勢  
 力を擴張し、一六四二年及び一六四四年に於てジャワの總督ヴァンデイモ  
 ンの指揮の下に、二大航海を遂行し、ヴァンデイモン島タスマニアフレンド  
 リイ島ニコラゼランドを發見せり。和蘭は其後臺灣に進み、其地に殖民を  
 求めたりしが、海賊コッシンガの爲めに驅逐せらる。此間英國も亦た其競  
 争を怠らず、一六八五年スマタラのベンクレンに於て工場を開設し、ホルネ  
 ーとの貿易を營む。十八世紀中數多の探檢者は續出し、キヤプティン、コッ  
 シは一七六九年より一七七五年の間に於て濠太利の東海岸を巡航し、其地  
 に英國々旗を樹立せり。彼は遂にサントキッチの探檢中死去せり。

斯くて太平洋上の勢力は英國と和蘭の手に歸し、西班牙は僅かにフィリッピンの固定殖民地に局限せらるゝに至れり。英國の東印度會社の勢力膨脹するに隨ひ、和蘭も大に戒心し、ホルネオ、ジャワ、マラッカ、セレブス其他數多の島國に益々勢力を伸張せり。一七八〇年大英國は和蘭が北亞米利加之反徒に援助を與るを知りて、直ちに之に開戦を布告し、和蘭の東印度諸島を襲撃せり。當時和蘭の東印度會社は漸く衰運の境にありしを以て、英國の此攻撃に對抗する能はず、遂に多年經營し來りたるジャワ、スマイシア、イラント、セレベス等の領地を割きて英國に讓與するの止む無きに至れり。ジャワの初任の而も唯一の英國總督はラッフル氏にして、彼は東印度會社の書記より立身してベナンの統監となり、其地にてドクトル、レイデンと親交を結び、大に馬來國の事情に通じ、隨時累進して遂に總督の地位に達せり。彼の驚くべき技倆と精力はジャワの革政を遂行し、其財源の發展に大に努むる所ありしが、不幸にして充分の効果を納むる能はず、遂に四年の後其任地より招還せられたり。是より先き和蘭は其東洋航路の寄港地として喜

## 和蘭の衰運

## 佛國の現出

望、殖民地を開き、東印度會社の振興を計り來りしが、本國の施設紊亂と共に、殖民地の腐敗暴虐漸く増長し、事態甚だ憂ふべきものありし時、ナポレオンの戦争の事あり。抵抗力少き和蘭も亦其毒牙に懸けらるゝを免れず。遂に其東洋の諸殖民地を佛蘭西の手に委棄するに至れり。是に於て太平洋に於ける從來の英國の關係は忽ち英佛勢力争奪の關係と變じ、一時此帝國をして龍憤虎闘の境に陥らしめたり。然れども一八一五年ウエリントン公がウオタローの戦争に於てナポレオンの勢力を破碎するに至り、和蘭は東印度帝國を恢復し、英國は六〇〇〇〇〇萬磅の賠償金を以て喜望、殖民地と南亞米利加之領地を獲得せり。一八二四年、マラッカとバンク、バアとの交換の議起り、英國は遂に多年持續し來りたるスマタラの勢力を放棄せり。英佛蘭の協定は暫く他の太平洋諸島に對する政治的競争を停止したりと雖も、此間舊教徒殆んど二百年間フィリッピンに活動を繼續し、新教徒は多く僻遠の島州に傳道を開始し、土民の誘導教化に一日も怠る事なかりき。當時太平洋諸島中實際宣教師の勢力の下にありて多少英語



合衆國の膨

入—布哇の山林保護—真珠灣築港—サモア島—バンゴバンゴ軍港—凡米主義より帝國主義に一轉せる米國—合衆國憲法上の困難

ルイジアナ州の購買  
フロリダの購求  
テキサス州の購求  
アリゾナ州の南部領有  
アラスカ州の買得

合衆國膨脹の歴史は、遠く其共和國建設の當時より二十年以内に始まり、一七八二年母國との平和成立當時に於て僅かに八二七八四平方哩の邦國は、今や殆んど其四倍半三六〇〇〇〇平方哩の面積を有するに至れり。此驚くべき膨脹は、年と共に漸次行はれたるものにして、最初一八〇三年に於て佛國よりルイジアナ州を購買し、オレゴン州(今日のオレゴン、ワシントン其附近の地方を含有す)の獲取となり、初めて其巨腕を太平洋岸に伸張するに至れり。一八二一年西班牙より、フロリダ州を購求し、墨西哥灣の北半面の制海權を掌握し、一八四五年テキサス州の聯合となり、其後三年にして墨西哥より數多の土地割讓を受け、カリフォルニア州を其中に加へ、再び太平洋上の出路を得、一八五三年ギヤデズデン購買なるものにより、メキシコよりニューメキシコとアリゾナ州の南部を所領せり。一八六七年最後に露國よりアラスカ州を買得し、白令海峡を隔て、合衆國の領土をして直ち

布哇の併合  
及サモア島  
の所領

に亞細亞大陸に連接せしめたり。斯の如く、合衆國の膨脹區域は全く陸續きにして、海洋の障害なく、而も人口稀薄處は全く無人の境と稱すべき温帶地方にありたるを以て、國民は自由に其手足を伸ばし、無盡藏の財源開拓に従事する事を得たり。共和國の建設ありてより大凡百年間國民は漸次其廣大無邊の未開地に侵入し、土地の耕作に勉め、礦山を採掘し、交通を便にし、専ら國富の増進を計れり。斯の如く米人は初めは全く荒蕪地の開拓にのみ着目し、大陸領土内の活動を以て満足したりしが、漸次國勢の充實、商工業の振興と共に其過剰の生産物を處理すべき市場を要求し、海外發展の必要を感ずるに至れり。その布哇を併合し、サモア島を所領し、一八九一年米西戦争の結果として比律賓島を略取せるは蓋し此必要に應じたるものにして、合衆國は方々に國內膨脹の政策より一轉して海外膨脹の徑路に進行したるものなり。合衆國の太平洋上に、島國を領有したるものは、則ち其海洋の一勢力を構成したるものにして、支那日本英國和蘭濠太利と共に其權力の消長に甚大なる興味を有すべ

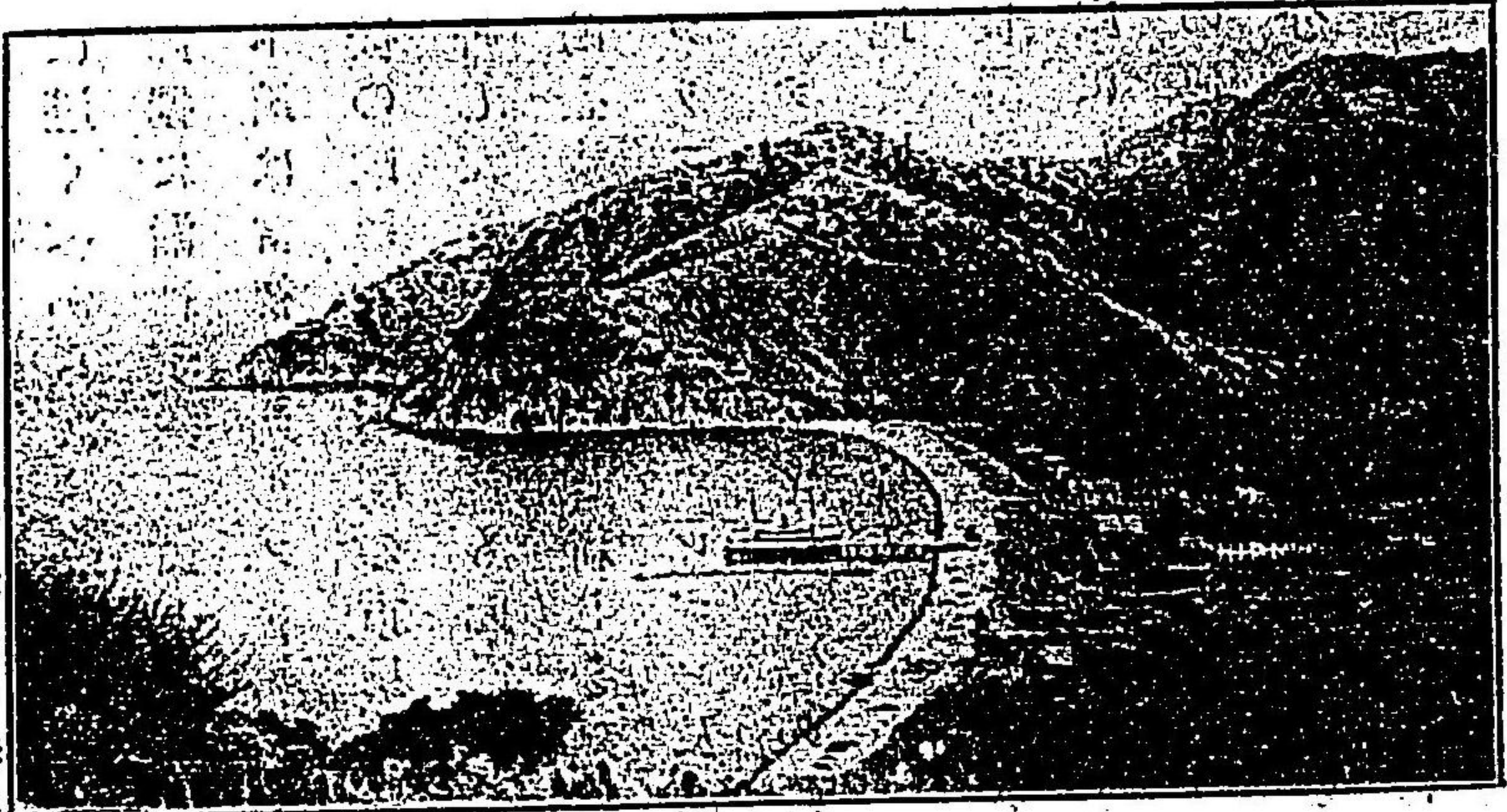


西大陸と東  
岸大陸との相  
違の相違

太平洋の優越者  
二六

きは當然なり。太平洋問題として攻究するに當つて、先づ吾人の一考を要するものは其西大陸と東大陸との海岸線の相違の甚だしき事なり。亞細亞海岸には數多の島嶼其附近に羅列し、其右岸は海岸線多く參差出入し、大小の河流沿海の廣野を潤して、激波洋々たる海中に注ぐ。而して其沿岸及び島國は概ね豊饒にして、動植物繁茂し、人口充滿せり。然れども一度び太平洋を横ぎりて亞米利加の方面に行く時は、海岸の屈曲稀にして、港灣少く、合衆國に於て良港灣と稱すべきものは僅かにサンフランシスコとプゼツホヤオンドとに過ぎず。其他英領コロンビアに於て二三の港灣を數ふるのみ。且つ亞米利加の太平洋岸は北より南に亘りて大山脈連亘し、近き海岸に峙立するを以て、大河流の流出するもの殆んど皆無なり。アラバカ州のユネオン河は其最も長大なるものなれども、氣候の寒帯に屬するを以て、實際船舶交通の便を供する能はず。合衆國海岸には又島嶼と稱すべきものなし。加奈陀沿岸に到るに及んで初めて多少の島嶼の散見するを見る。

カリホルニ  
ア洲金礦發  
見



第三章の合衆國の膨張

カリホルニア州は其最も大なるものにして、沿岸に數多の浦曲を有せり。カリフォルニア州の金礦發見は東部諸州の移民を招致し、海陸の交通甚だ幼稚なる時代に於て、彼等は既に廣茫千里の大平原を横ぎり、ロッキンジャーラの大山脈を越え、太平洋の斜面に幾多白人の部落を現出せり。金礦は殖民世界の磁石力なり。南亞弗利加の隆昌、太利の勃興皆此の貴重礦物の發見に基くものなり。若しカリフォルニア洲に金礦なかりせば、亞米利加西海岸は到底今日の發達を見る能はざりしならん。惡施雜行は初期殖民地の政治に於て常

カリフォルニア  
初期の  
移民の  
状況

カリフォルニア  
の  
気候  
産物

カリフォルニア  
の  
気候  
産物

太平洋の優越者

二八

に避くべからざる通弊なるが、太平洋岸諸洲の創設時代に於ける状況も亦此撰に漏れず、其移民の不遜無法實に悚然たるものありき。ブレット・ハー下氏は當初のカリフォルニアの都府の状態を評して、菌的發達の都市六連發の政治、放浪不羈の市民、奇矯暴慢の氣風、金砂の通貨累卵の生涯なりと絶叫したり。然れども此亂雜なる社會に於て早く既に勇往邁進の亞米利加的企業心は萌芽し、新しき殖民地はいつしか新進國の基礎を築きて現時のカリフォルニア、オレゴン及びワシントンの三洲を現出したるなり。カリフォルニアは、金鑛の外に、菓物の饅頭、小麥、蛙、葡萄酒、肺病患者の轉養地を以て聞ゆ。北カリフォルニアは夥多の木材を産し、其豊熟せる菓實は世界各國民の等しく賞揚する所なり。カリフォルニアは實に世界の食物庫にして、又世界の健康地なり。加州の事業發展に障害をなすものは、汽鑛の運轉に要する燃料と水量の缺乏なるが前者は石油産額の増加により幾分か補填せられ、後者は溝渠の開鑿と電氣の應用によりて改良せらるべし。現今カリフォルニア發展に於て最も必要を感ずるものは農作地灌漑の

加州の人口

設備にして、殊に平常干魃のみにして時々僅かに驟雨の到來するに過ぎざる南部カリフォルニア地方に於て其最も然るを見る。又北部カリフォルニアの山林は歐羅巴及び印度に大市場を有するものにして、之が保護増殖は最も注意を要するものなり。

加州の人口問題は亦大に吾人の研究を要するものなり。その人口は大凡一、五〇〇、〇〇〇人にして、其中桑港に居住するもの三五〇、〇〇〇人。我日本の面積全體より殆んどその五分一大なる地方に、斯る少數の人口を有するは、寧ろ過少に失すと稱すべきものにして、常に過剰の人口に困却する亞細亞諸國は大に其移民を輸送し、各種の事業に従事せしむべきは當然の策なり。東洋移民は此地に於て既に鐵道工事、鑛山採掘、土地耕作等に従事し、白人の爲に動きて、國富増進の上に少なからざる貢献をなしつつあり。然れども移民の數逐年増加し、別に一勢力を形成するに至りしより、漸く白人の厭惡する所となり、有色人種排斥の聲は合衆國の輿論を惹起し、國會をして遂に支那人排斥案を可決せしむるに至れり。近年又カリフォルニア

政治家の間は排日論を主張するもの漸く多く、屢日米兩國の國議に上り、兩國爲政者の頭腦を悩ましたること少からずと雖も、未だ其根本的解決を得たるものにあらず。黃白兩人種の競争は嘗にカリフォルニアに於て行はるゝのみにあらず、カナダに於て、ニューゼランドに於て、濠太利に於て、其他白人の優越權を有する諸殖民地に於て、到る處に行はれつゝある明白なる事實なり。一方亞細亞に於ては其過剩の國民の處置に苦み他方白人の新開地に於ては其門戸を閉鎖して、彼等の侵入を防止せんとす。今や白人の並米利加白人の濠太利白人の亞弗利加の聲は至る所に叫ばれつゝあり。然れども世界は白人の世界にあらず、黃人の世界にあらず、世界人類の世界なるべし。太平洋は人爲的障壁を以て異人種の交通を遮斷するには餘りに廣大なり。經濟の潮流は世界物産の産額によつて決せらる。如何に人種的厭惡の弊風行はるも山河海洋の現在の如く存する限りは到底此世界的夫勢に抵抗する能はざるものなるべし。見よ現に太平洋は世界の自由貿易場なり。列國の船舶は各其國旗を翻し、東往西來、忙はしく其靜平なる海

諸島の人

太平洋沿岸

ウジツトサ

シヤトル

タコマ

桑港

面を航行しつゝあるは、則ち之が眞理を證明するものに非ずして何ぞ。カリフォルニア州、オレゴン州は、カリフォルニア州と共に合衆國の太平洋沿岸を形成するものにして、同じく米人の進取的手腕を試みる地域なり。北方英領コロンビヤに接すれども、コロンビヤと異なり其富及び人口に於て急速の増加をなせしむるあり。沿岸にプジツトサウナあり。世界有数の良港にして、港灣深く陸地に侵入し、灣内數ヶ所は其沿岸に生ずる所の樹木に船舶を繋留せしむるを得べしと稱せらる。シヤトルも亦重要なる港灣にして、英領ヴァンクーヴァーに對する競争港なり。タコマは盛大なる造船所を有し、盛んに船艦を建造せり。造船事業は合衆國太平洋沿岸の重要な事業にして、其山林より産出する堅材は此事業をして益盛大ならしむるものなるべし。海陸交通の便を以て大都會構成の一大要素なりとせば、桑港は則ち好地位を占むるものと謂ふべし。陸に於ては米大陸を横斷する幾多の鐵道は皆此都會に集まり、海に於てはシドニー、横濱、漢堡に到る直航路あり、布哇、

ノル、を経て數多の太平洋諸島に到る汽船航路あり。マニラ輸送の貨物は常に香港に入り、香港より更に其行先地に轉送せらるゝものなるが、斯る不便は到底米人の長く耐ふる能はざる所なるべきを以て、久しからずして桑港馬尼喇間の直接航路また開通せらるべし。數年前桑港ホノル、間の海底電信は既にマニラに延長せられ、米亞の連絡に一新紀元を開きたるは吾人の記憶する所なり。大船舶の建造益盛んにして大洋航海の事業更に頻繁を加へんとする今日、斯る海陸交通の便を有する桑港は、必ず世界有數の大都會となるべきは輪を俟たざるなり。

以上は太平洋沿岸に於ける都市發達の大要なるが、其一般地理を記載すれば、カリフォルニアは殊に風景に富み、其ヨアマイトツアレイの自然景はナイヤガラの大瀑布に次く勝地と稱せらる。シヤスタ山脈及び沿海山脈の白雪皚々たる連峰は旅人の眼目を新にし、ワシントン州の松と檜の山林は第二の蘇國を現出し、ブジットサウンドの山紫水明は世上既に賞評ある所なり。

パナマ地峽は南北亞米利加の交合地點にして、其最も狭き所僅かに三五哩之を切斷して東西兩洋の通路を開かんとするは、其發見當時より文明國民の腦裡に浮べる所にして、其後幾世紀間諸國の問題となり、多くの政治家の思慮を盡し、多くの技師の技能を試みたる所なり。現今合衆國の實地着手しつゝあるパナマ運河開鑿事業は、合衆國の大事業にして實に世界海運史上特筆大書すべき企圖なり。合衆國の巨資を投じてパナマ運河開鑿の事業を開始する以前、地峽開鑿の地點として撰定せられたるはパナマ、ニカラガ及びピリアンチーベック汽船鐵道開通計劃なるが、汽船鐵道は數多の専門技師によりて、其實行し得べきを保證せられたるものなれども、甚しく世人の注意を惹く能はず、今は殆んど忘却せらるゝに至れり。合衆國の最も力を盡したるは前二者の取捨決定にして、利害關係の廣大なる、容易に國論の歸一を見る能はざりき。加之クレイトン條約は久しく其開鑿事業の進路に立塞がりたりしが、今や既に棄却せられて、運河開鑿の權は全く合衆國の一手に歸せり。

ニカラガ及  
パナマ運河  
の優劣

太平洋の優越者

三四

ニカラガとパナマの二水路の優劣比較に就ては世上幾多の議論ありしが、最初合衆國の輿論はニカラガ説を利となせり。ニカラガはパナマに比し、一時工事の困難を感じ、從て其經費の如きも遙かに後者を凌ぐと雖ども、一旦竣成の曉には、雨水汎濫の患なく、且つ其通路に當るニカラガ州の政治状態合衆國に取りて甚だ都合好きものありしを以て、結局利害相償ふべしとの意見なりしなり。蓋しパナマ運河の開鑿權は當時既に佛國運河會社の掌中に在りて、容易く之を買收し得ざりし條件は、合衆國をして之に對抗せんが爲めに殊更に別水路を求むるの止むなきに至らしめ、遂にニカラガの撰定を容易ならしめたる一原因なりしなるべし。然るに佛國パナマ運河會社の開鑿事業失敗は、偶合衆國の運河開鑿方針を變更するに至らしめ、遂に前期大統領ルーズベルト氏の時代に於て、佛國會社よりパナマ運河の開鑿權を譲り受けたり。米人特有の企業心と其熱心なる努力とに依り、パナマ地峽開鑿は着々歩を進め、一九一五年を以て工事の竣成を世界に發表するの機運に至れり。蓋しパナマ運河開鑿の成功は、蘇士運河と共に赤道

パナマ運河  
の世界に及  
ぼす影響

パナマ運河  
の日本に及  
ぼす影響

航路の完成を意味し、世界の通商貿易に空前の便宜を興ふるものにして、合衆國は之を以て南北亞米利加の太平洋沿岸諸港に近接し、進んで南海諸島或はニューゼランドの貿易を旺盛ならしむる事を得べし。此運河は又日本、支那、埃太利、馬來諸國に達する航路を短縮し、大西洋沿岸の都市をして直ちに東洋貿易に従事せしむる事を得べし。隨て合衆國の各種の製造工業は更に勃興し、綿小麥鐵等の産額益増加し、造船事業及び海軍の勢力は優に面目を一新するものあらん。パナマ運河の開通は實に世界海運史上の革新なり。世界の貿易は之に依て一大變動を來すべし。日本の之が爲めに受くべき影響も亦大に講究を要するものなるべし。世界航路の三大幹線と稱すべきものは、則ち歐洲より東亞に到るもの、歐洲より米大陸大西洋沿岸に到るもの、及び米大陸太平洋沿岸より東亞に到るものなり。而して其貿易關係を見る時は、歐洲東亞間に於ては、常に歐洲より東亞に向つて輸出超過を示し、米國歐洲間に於ては、米大陸より歐洲諸國に向つて輸出超過を示す。即ち世界の貨物は常に西より東に向つて運搬されつゝあり。歐

第三章 合衆國の膨張

三五

洲より蘇士運河を経て日本支那に來る汽船は、來航には貨物を満載し來るも、歸航には半ば船腹を空うする狀況なり。米歐間の貿易は輸出輸入殆んど相半せり。故に今後の海運業者は、パナマ運河開通と共に歐洲より東亞に來る汽船を空しく復航せしむるの愚を學ばず、米國に迂回して同地の食料品原料品を塔載して歸航するや必せり。斯の如くにしてパナマ運河通航は益其數を増すに至るべし。パナマ運河の開通により東洋貿易上當然生ずべき他の變動は、米國の距離短縮と運賃低減の有力なる武器を以て、益亞細亞諸國に來入し、從來の競争國を壓倒する事あるべし。現今太西洋沿岸の米國貨物は、大陸横斷の鐵道によりてシヤトル或はサンフランシスコに到り、其處より船舶に轉載せられて更に東洋に輸送せらるゝものなれば、運賃の増大と種々の不便とを忍ばざるべからず。然れども運河開通後は全く斯る障害は排除せられて、米國貨物の活動大に刮目すべきものあるべし。米貨の東洋に侵入し來るは、則ち太平洋貿易の隆昌を招く所以にして、之が恩惠を被る諸國は數多あるべしと雖も、之が爲めに東洋諸國に於ける

商業的競争は益激甚となるべきを以て、日本たるものも一層の用意と努力を要すべきは勿論なり。

太平洋の中間に位して米亞兩大陸の中繼所たる任務を果しつゝあるものは、布哇島のホノル、府なり。布哇諸島はポリネシヤンと稱する歴史以前のロウカシヤン族即現時のカナカ族の居住する所にして、太平洋諸國中最も興味ある島國なり。初めホノル、市の米亞兩大陸の中繼所として開港せられし以來、歐米の貿易者宣教師等陸續渡航し來り、土民政治に干渉して種々の紛争を惹起せり。歐米人は自國の宗教文明を輸入し、改革の實を急にせんと欲したれども成らず。土民と移住民との間に政治的紛争止む時なかりしが、米國政府は遂に此間に乘じ、王政を廢して合衆國のテリトリイとなし、共和國の一部に編入するに至れり。而して米國市民權は、凡ての白人アフリカ人及び合衆國の主權に來たる以前に布哇の市民權を有したりし所の布哇種族の全部に附與せられたれども、日本人及び支那人は此特權を得る能はず。然るに布哇人口の大部分を占むるものは支那人及び日

ホノル、府

布哇島のホノル、府

ホノル、府

ホノル、府

米國の市民

布哇島の産物

本人にして、彼等は土地の耕作に従事し、其他島嶼の發展を助くるもの甚だ大なり。此地に於ける歐米旅客の絶ざる出入はホノル、市をして全く西洋化せしめ、其鬱蒼たる樹林美麗なる草花は單調なる大洋航海に厭きたる旅客の目を慰むるに足る。土地豊饒氣候中和土民善良なる布哇島は眞に太平洋上の一樂園なり。

カナカ土人

布哇島の重要な産物は砂糖及び米にして、砂糖の大部分は合衆國に輸送せらる。野菜其他の食料品は甚だ僅少にして島民の需用を充たす能はざるを以て、野菜と菓物は多くカリフォルニアの雜詰を以て補充せらる。カナカ土人は性放縱にして勞働を好まず、殊に他國人の下に勞役するは彼等の最も欲せざる所にして、布哇の外國人勞働者の移住を要するは全く之に原因するものなり。

山林保護

山林保護は布哇の最も緊要なる事業にして、之が山林の荒廢は忽ち旱魃を招き、全島を不毛の地と化せしむる患あり。近時合衆國は太平洋に於ける勢力の膨脹と共に布哇島の防備を嚴にしつゝあり。

眞珠灣の築港

眞珠灣の築港は、蓋しパナマ運河の開通と共に合衆國の海軍をして益優勢

サモア島

ならしむるものならず。桑港よりシドニー、ニューヨーク、其他の南太平洋諸港に達する長航路内に横はりて、其倦怠せる旅人の心目を一新するものはサモア諸島なり。是等の諸島中、サモア、トングラ及びフィジーは合衆國に屬し、トングラには規模宏大なる軍港を有す。サヴァイ島及びアボラ島は一八九九年以來獨乙の有に歸し、其他の諸島は英國の所領するものなり。アピヤはサモア諸島の首府にして、全く歐洲的都會なり。土民は西歐の文明を吸收し、多く基督教に歸依したりと雖も、元來驕昧なる國民の急に複雑なる文明に接觸したるものなるを以て、彼等は充分に歐米の文明を消化する能はず、其進歩の途中數多の困難を來たし、殊にチモテラ族の如きは固定したる政治を欠き、久しく紛亂の裡にあたりしが、外國冒險者此間に侵入し來りて種々の機略を弄し、政權の爭奪を企てたるを以て紛亂更に甚だしく、遂に合衆國政府の干渉する所となり、島内の事情初めて改まり、今は全く組織的政府の下に政治を行ふに至れり。

コロンボの軍港

合衆國凡米主義より帝  
國主義にす

し其宏大なる埠頭、石炭積場、政府の建物等、大に見るべきものあり。輸出  
品はゴブラとココナツトなれども、サモアの寧ろ重要視さるゝものは、優良  
なる石炭を供給して遠洋航海の船舶に休養と修繕を興ふる事なるべし。  
合衆國の對外國是の最も現著なる變動を來たしたるは最近拾年間の事に  
屬す。一八九三年に布哇を領し、一九〇一年に比律賓を併せたる合衆國は、  
從來の凡米主義より一轉して帝國主義となり、東方亞細亞及び南洋諸州と  
密接の關係を有するに至るべきは理の當りに然るべき事にして、パナマ運  
河開鑿竣成と共に、此關係は益甚だしかるべし。米國は其無盡の富源と自  
由進取の氣に富める國民とを以て農工業に著大なる發展をなし、殊に工業  
の發展は殆んど世界を壓倒するものあり。近來獨乙の工業大に進歩し、其  
製造品を遠く南阿弗利加東洋諸國の市場に輸出するを以て必然の勢とな  
さば、之れより一層大仕掛なる米國の工業も亦同様の勢力に到着しつつあ  
るは自然の理數なり。米國が近來支那に着目し四億の民衆を相手として  
自國製品の販路を求めつゝあるは、則ち此理數に基くものなり。日本及び

サトウ

合衆國憲法  
上の困難

其他東洋に關係を有する諸國は、正に米國の對清政策を判知し、之に向つて  
正當なる競争をなさざるべからず。  
合衆國の憲法は重に其國民の市民權を保護する爲めに規定せられたる  
ものなり。規定の當初その運用は甚だ單簡にして國政施行上何等の困難  
なかりしが、其後黑人を輸入して漸次領土を擴張し、近時海外に屬國を所領  
し、數多の異種族を含有するに至つて、其憲法問題は甚だしく複雑となり、之  
が適當の解釋に苦しむの狀態に立ち至れり。換言すれば、合衆國は其海外  
にある文明程度の低級なる國民にも、同一憲法の下に同一の市民權を附與  
すべきや否の問題に苦しむものゝ如し。合衆國は、此問題の解決として、所  
定の聯邦州以外別にテリトリイなるものを形成せり。テリトリイは其國  
情の既設聯合州の程度に進歩するを俟つ新州として、憲法上充分の權利を  
附與せらるゝものにして、既設聯合州とテリトリイとの差別は、聯合州は其知  
事裁判官等は一般人民の投票を以て撰舉せらるれども、テリトリイは其主要  
官吏は大統領の任命に關るものなり。一方自治政治を許し數多の法律の



制定權を認むと雖も、或る重要な法律は聯邦政府の權威を以て變更せられ、或は協定せらるるものなり。

コネチカットは即ちテロトりにして、キネティックは半テロトリン半聯合州の變體を表はし、アラバは所謂英國の委任殖民地の如く、何等の立法議會の形體なく、單に總督の統御に關するものなり。合衆國憲法の改正は、聯合州三分二以上の多數を以て初めて行はるるものにして、今日の如く州權の勢力中央政府を壓し、大統領の施政多く民意によつて決せらるる限り、之が改正は容易の業にあらざるべし。現時合衆國の領土漸次膨脹し、海外に幾多の殖民地を有するに當つて、或は之をテロトリンとなして、其自治政治に幾分の制限を加ふ、或は之を一種の委任殖民地となして、大部の政權を中央政府に收むるが如きは、則ち其憲法の解釋を困難ならしむるものにして、今後共和國の發展と共に憲法上の困難は益大なるものあるべきや必せり。

#### 第四章 西班牙の比律賓及び合衆

### 國の比律賓

比律賓の地勢——初めて比律賓に上陸せし歐羅巴人——最も錯雜なる人種——テロトリン族の奇習——西班牙人支那人日本人との雜種——オーガステニヤン僧徒——西班牙の政治組織——西班牙時代の警察隊——司法行政の分立——僧徒の政治上の勢力——一八六九年の亂米軍馬尼刺に入る——米國比律賓を占領す——米國對比政策——政治組織——西班牙人の比律賓に及ぼせし影響——合衆國の比律賓教育——比律賓西班牙僧侶時代の教育——米人アソトキンス氏の記事

通常比律賓群島と稱せらるるものは、其數六百より千五百の間に算せらるる無數の島嶼より成立するものにして、其僻遠の小島中には人跡未だ到達せざるものあり。群島中最大なるものはルソンにして、面積四萬七千三百三十八平方哩。次はミンドナオにして、三萬六千二百三十七平方哩。其他五千平方哩より百平方哩に至る島嶼二十四個を含有せり。最も早く比律賓に航海したる歐羅巴人はマゼランにして、彼は先づセブ島に上陸し、直ちに土民の教化に努めたりしが不幸にして中絶するの已むなきに至れり。西班牙のレガスベ、其後マニラに上陸し、オーガステイン派の僧徒

比律賓

比律賓に初めて上陸したる歐羅巴人

世界人種中  
最も錯雑せ  
る人種

インドネシ  
ア族  
ネグロトス

太平洋の優越者  
と協力して地方の征服を成就し、西班牙國の版圖に編入せり。比律賓の土人は世界人種中最も錯雑せるものにして殆んど總べての人種の血液を混濻せり。是れ此群島が亞細亞大陸に接近し附近の島國と密接なる歴史的關係を有したるに由るものにして、前馬來族の大移動は比律賓に半ユーカシヤン族を生ぜしめ、日本及び支那との接近はモンゴル族の侵入を示し、マタラのバタック族、ボルネオのダイヤク族が其西南部より侵入せる亦殆んど疑ふべからず。臺灣の土族も亦比律賓人と其祖先を同するものなる事は、人種學者の一致する所なり。インドネシヤンは比律賓土族中最も勢力あるものにして、其數二十五萬、重にシンダナオに住す。ネグロトスは群島最古の土民にして、當時ルロズン、パチイミンダナオ諸島の山地に住し、漸次衰亡に傾きつゝあり。彼等は阿弗利加の黑人に類似し、皮膚黒く唇突出し、毛髮縮れ脚蹠扁平にして、下腹部隆起せり。武器は馬來族より傳來したるものにして、弓矢短刀を用ゆ。彼等は農作の法を知らず、濠太利の土人の如く草根木皮爬虫の類を食す。彼等の宗教は最も元始的にして、寺院を

テンキヤン族

太陽崇拜族



族ンヤギンテのンピリ

設けず、又何等禮拜の目的物をも有する事なし。テンキヤン族は多くアブラ島及ムルロズン島の沿岸に住し、支那に接近せるを以て支那人の血液を混入せり。彼等は農作に従事し、牛馬を飼養し、一夫一婦の制を定め、文身の風盛んなり。此種族中、ベンゲット山地方に住するものは太陽崇拜者にして、手甲に太陽の文身を施す。人首貯藏は彼等の傳習にして、今日進歩したる部落間には此惡風漸く廢絶せられたりと雖も、山間僻地の土族中には今尙此の風を保存するを見る。佛

テンギヤン  
族の奇習

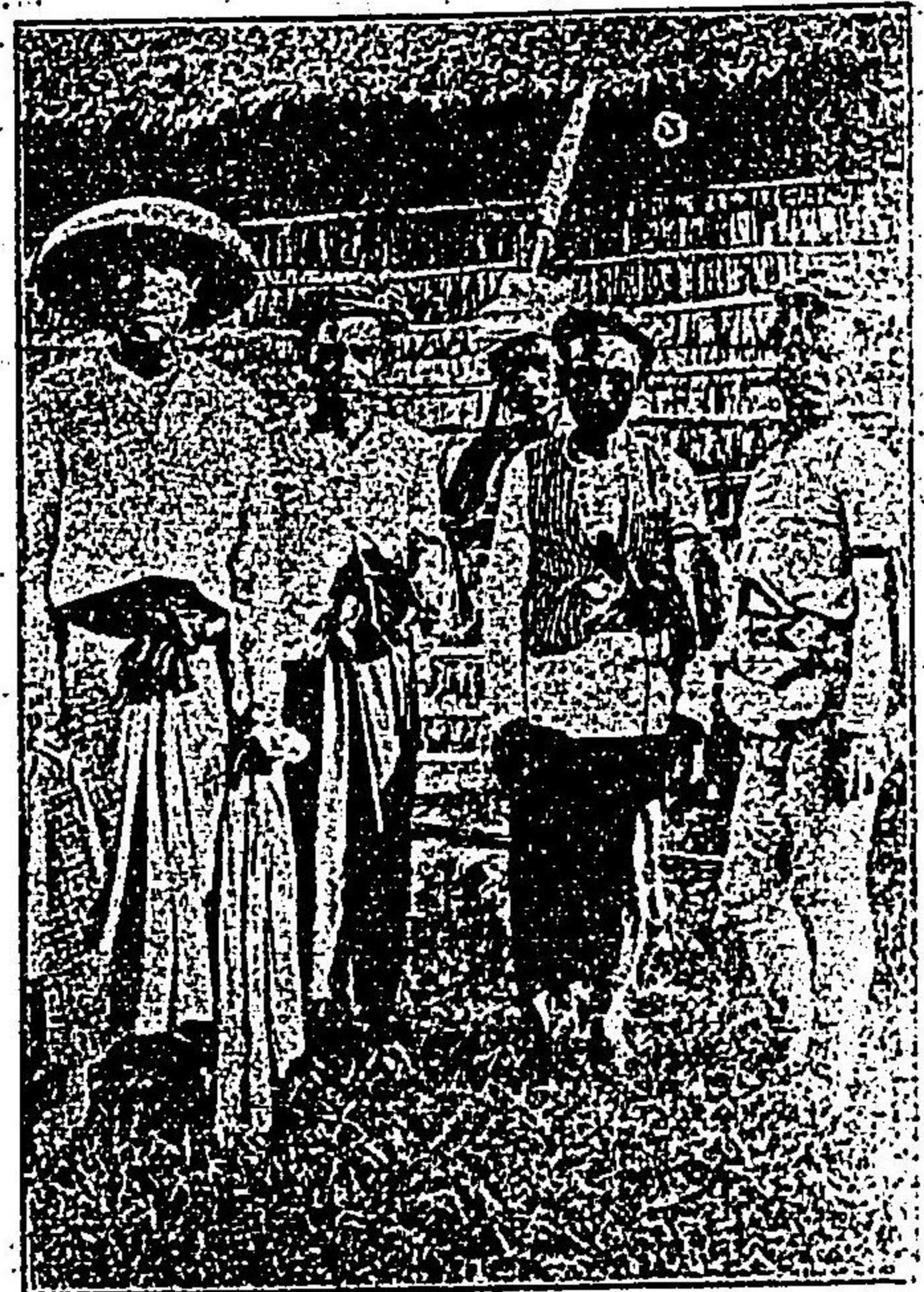
太平洋の優越者

四六

蘭西の旅行者ギロテル氏は、テンギヤン族を以て全くダイヤリ族の分派なりとせり。彼等の高く樹間に櫓を造り、其上より敵に對して石を投じ、或は敵の頭を斬り、腦髓に酒を混じて飲むが如きは、前馬來族一般の特性を傳承せるものにして、其陶器の瓶を珍重し、葬祭の儀式に使用する習慣は、支那人より傳播せるものなるべし。テンギヤン族の間に陶器瓶の尊重する、所以は、彼等は祖先の靈魂其中に鎮座するものと迷信するを以てなり。群島の南部にマロス族と稱する蕃族あり。熱心なる回教徒にして、彼等も亦馬來族の一分派に屬し、前馬來族移動時代より遙か後年に於て、ボルネオ及びセレベスより渡來したるものなり。常にスリユー群島及びミンダナオ島に居住して有力なる種族となり、ボルネオの北部を征服せり。彼等は馬來族中最も慍悍なる種族にして、常に海賊を業とし、最も頑強に西班牙の僧徒軍に對抗したるものなり。比律賓が合衆國の領土となりて以來、彼等は米國の仁政を喜び、幾分從來の性行を改めたりと雖も、尙ほ統禦上最も困難なる部族と稱せらる。マロス族には一夫多妻と奴隸賣買の惡風存す。此習

マロス族

西班牙人  
支那人  
日本人  
との混血種



ルビンのモロス族

俗は其根義を回教の教理に胚胎したるものなるを以て、之が矯正は容易の業にあらざるべし。

以上列記したるが如く、比律賓人は元來馬來族の一分派なれども、漸次其種族にテグリトス、インドネ

シヤン、支那人、日本人、歐羅巴人等の血液を混濁したる雜種となれり。西班牙人、支那人、日本人の混血種はメステゾーと稱せられ、普通の比律賓人の上級に位し、就中西班牙の雜種は白人の血液を有するの故を以て常に貴族の地位を保つ。支那人との雜種は其數五十萬を以て數ふ。主として商人の階級に屬し、他人種に比して知識の發達せるものとして稱せらる。馬來比律賓人は其他の土民を形

第四章 西班牙の比律賓及び合衆國の比律賓 四七

タガル族  
サヤン族

太平洋の優越者

四八

成するものにして、自ら數多の部族に分流せられ、其重要なるものはタガル族とサヤン族なり。彼等は西班牙國の統治以前に於て既に相當の文明に進み、土地を耕し部落政治を建設せり。十七世紀の初葉西班牙探見隊の前驅となりて群島を征服したるものはオーガステニヤンの僧徒にして、中世紀に於ける基督傳道者は常に教會軍を組織し、兵器を以て異教徒を征服し、其降服者に洗禮を施したり。當時比律賓に於ける西班牙の僧徒の勢力は實に廣大なるものにして、彼等は實に西班牙帝國の唯一の代表者を以て任し各地に散在せる土人官吏を監視したるのみならず、本國官吏の施政にまで其權勢を恣にしたりき。社會各階級の教育に任ずる教者の任免は政府の權限にありしかども、其教者を訓練するものは僧徒なりしを以て、實際僧徒は比律賓教育の使命を制したるものなりき。且つ僧徒は各種の登記權を握り、結婚其他の儀式を行ひて法外の課税を貪り、又徵兵法を定め五人毎に各一人實地服役の義務を規定したりしが、其抽籤權は亦教界長の掌中に把持せられたり。斯くの如く僧侶は、教界内大小の權利を掌握し、其掌

僧徒の暴戻

握したる權利は最も嚴酷に施行せられたるを以て、土民の生命財産は、全く彼等の一言一行に懸かれるものなりき。

比律賓の事態斯の如く逆進し、無謀なる托鉢僧が群島の君主たる實權を握るに至りたるは、一に歐羅巴本國よりの距離甚だしく隔絶したるによるものにして、當時蘇士運河は未だ開鑿せられず、西班牙の官吏又は旅行者は遠く阿弗利加の喜望峰を迂迴し來らざるべからず。西班牙が比律賓を以て、亞米利加の一領土たるメキシコの屬地となし、殆んど三百年間唯間接の監視をなしたるものは則ち之に歸因するものなり。西班牙は毎年一回莊麗なるギャーレオン船を艦装して太平洋の沿岸を縫航し、僅に東西兩洋の事情を疏通せり。英國旗の比律賓に翻へりたるは、一七六二年英西戦争の起りたる時にして、其後一七七四年平和恢復と共に英國は直ちに馬尼喇を徹退せり。一八二〇年メキシコ獨立し、比律賓との關係斷絶したりしより、群島の事情は益々悲境に陥りたり。

比律賓に於ける西班牙の政治組織は、全群島を數多の行政區域に分別し、

西班牙の政  
治組織

各區域に地方長官を置き、地方の状況によりて或は民政を施し或は軍政を行ふ。地方長官は司法行政を兼ね、群島の首腦たる總督に隸屬せり。町村には町村長を置き、地方長官の直接監督に委す。蘇士運河の開鑿は比律賓の政状をして更に困頓たらしめたり。運河開鑿以前と雖も群島の西班牙政府は甚しく腐敗したりしが、運河竣成して本國との交通の便開けしより、歐羅巴の冒險者は續々侵入し來り、政府の重要な地位は金錢を以て賣買せられ、總督の最高地位に至るまで賄賂を以て動さるに至れり。隨て比律賓政府は是等獵官者の爲に新たに官位を設け、或は俸給を増し、國費を濫用して毫も憚る所なく、土民は政府の苛斂酷税に耐へず、時に反旗を翻へして其壓制を免れんとしたれども、不幸にして常に西班牙の征服する所となり、一も成効したることなし。一八六七年には土民兵と西班牙士官より成立せる警察制度を施行して町村の秩序を保たんとしたり。然れども此新警察隊も亦腐敗官吏の一味黨にして、徒に權力を濫用し、殘酷を敢てし、更に土民の不滿を招くのみにして、司法官も亦法律の適用を怠たり、自己の利益に

土民兵と西  
班牙士官よ  
り成立せる  
警察隊

司法行政の  
分離

あらざれば裁判事件の進捗を計らず、爲に未決者にして、數年牢獄に呻吟したるもの甚だ少なからざる有様なりき。其後幾多の改革は實施せられ、一八八六年には司法行政の分離となりたれども、事情毫も變改する所なし。反て之が爲め新官を設置し人民の負擔をして増加せしめたるに過ぎず。西班牙官吏は單に俸給に安んぜず、其主管する所の道路費建築費等の如き公金を横取し、恬として愧づる所なく、時に英明なる總督が此病弊を察し其矯正を行はんとするあるも、勢力の根原を本國に有する僧侶は、直ちにマドリット政府に助言し、斯る總督の更迭を求むるものあり。或は政府の腐敗分子を一掃し官紀の振肅を計らんとすれば、群島の如き官吏は舊慣に則とり一齊に反對を叫ぶあり。况んや多くの總督は常に其官位の高貴に戀々として、群島の幸福よりは自己の地位の安全を計るに汲々たるに於てをや。西班牙の比律賓に於ける三百年間の政治は畢竟不明不良の政治に過ぎずて、ふ誹を免るべからず。比律賓總督の任期は三ヶ年なれども、數多の總督は本國政府の都合により任期以前に招還せられたり。總督以下の官吏も

僧徒の政治  
上の勢力

亦一定の任期を有し更迭移變絶ゆる事なく、僧侶は獨り此間にありて其官職の永久的なるを誇り、益々暴威を逞うせり。彼等は又本國政府に強請して種々の特權を獲得せり。其特權の中最も重要なものは土地の永代所有權にして、自ら地方の大地主となり、法外なる租税を小作人に課し、政府の力を以て之を徴收せしめたり。西班牙の僧侶の中には稀に德望の眞に神の使者たる資格を有するものなきにしもならずと雖も、多くは羅馬教會の出たる托鉢僧にして、彼等特有の驕慢なる性格は、何よりも獻身的勇氣を要する傳道の開拓時代に於て或は必要ならん。然れども民心漸く安定し、熱狂的奮進よりは寧ろ高潔なる良心と制慾とを要する傳道の後期に於ては、彼等の行動は全く不適當にして、徒らに邦國の發達を阻害するに止まるものなり。既に記載せし如く、比律賓土人は官吏の壓制僧侶の暴虐に耐へず、幾度か奮起して政府に抵抗を試みたりと雖も、彼等は常に確乎たる目的を有せざる所謂烏合の衆なりしを以て容易に征服せられたり。此間に於て比較的頑強なる抵抗をなしたるものはタガル族及びバサアヤン族なり

一八六九年の

チヌーヴニ  
ニラ提督の  
マニラ提督の

しが、彼等も亦遂に鎮壓せられ、政治上格別の自由を得ずして止みたり。最後の暴動として最も大規模の反亂は、有名なるエミリオ、アギナルドの率ひたるものにして、一八六九年に始まり十ヶ年間比律賓の上下を震動せしめたり。此禍亂中數多の僧侶は或は獄に投ぜられ、或は殺戮せられたり。西班牙は新に軍隊を増加し、防戦大に力めたるも、反亂益々擴大し、政府は遂にアギナルドに約するに比律賓全土より僧侶逐放の議を以てするに至れり。アギナルド之を許し、一八九七年他の首領と共に少時香港に撤退せり。然れども西班牙は事情の纏綿容易に僧侶の逐放を決行する能はず。アギナルドは更に兵器を購入し、以前よりも一層激烈なる抗争を試みたり。一八九八年三月、西班牙の數個聯隊は暴徒に組し、政府軍の形勢甚だ非なるものありしが、時恰も米西戦争の起るあり、同年五月合衆國はチヌーヴニ提督をしてマニラ灣を攻撃せしむ。西班牙艦隊全滅して比律賓の情勢は一轉じ將さに合衆國の手中に歸せんとする時、米國は巧にアギナルドを操縦し、比律賓軍の指揮者として西班牙軍に對抗せしめ、不取敢執權政府を樹立せ

しめたり。八月亞米利加軍隊は馬尼刺に入り、西班牙軍の餘勢を制し、同年十二月殖民政府を開始せり。既に殖民政府を建設し合衆國の遂に比律賓を去るの意志なき事表白せられしより、比律賓の狀勢は更に一變し、前に西班牙に反抗したる暴徒は其銳鋒を合衆國に向け、一八九九年二月四日公然米比戦争の宣布となる。同年暴徒全く鎮定し、比律賓は全く米國の所領となる。

暴徒の鎮定と共に、或は寧ろ其鎮定以前より、合衆國は比律賓に民政廳を設立し、土民をして可成早く其政治に參與せしめんとせり。合衆國をして斯の如く征服國に對する態度を寛大ならしめたるものは、全く本國に於ける多數政黨の言議の壓抑によるものにして、米國政治家は比律賓の所領を以て非立憲の所業となし、土民に自由を與ふるにあらざれば、共和國傳來の名譽は爲めに埋没すべしとなしたるを以てなり。合衆國は其憲法上外國領土の所有に關し適當なる理由を發見する能はず。然も折角獲得したる太平洋の策源地を他外國の手中に委棄するを欲せず、合衆國は實に此疑惑

米國比律賓を占領す

米國の比律賓を統治の方針

政治組織

の天秤に跨がり、其法馬の加減を鹽梅するに甚だ困難を感じたるものなり。米國比律賓の政治組織は、重に英國の殖民政治を襲用したるものにして、總督は群島を總理し、米國大統領によつて任命せらる。合衆國は群島を數多の行政地方に區分し、各行政地方長官を置く。地方長官の下には必ず市政あり。市政は其市長と市會議員とを選舉し、市税其他の政務を行ふ。市長は年々三四回首府に集會し、施政の商議をなす。市政は各獨立するものなれども、地方長官其上にありて市吏員の勤怠を監視し、不信のものを轉免せしむる權能を有す。且つ市財は地方財務官の審査を受くるものとす。地方廳は地方長官、財務官、監察官、書記官、檢事長の五名の官吏より組織せらる。地方長官は二ヶ年の任期にして、議政會によつて選舉せらる。米人土人其他相當資格を有するもの之に任ず。財務官は終身官にして米人之に任ず。監察官は亦終身官にして、測量工事の技能を要するを以て、當分米人之に任ず。書記官は副長官を兼ねるものにして、二ヶ年の任期を以て選舉せらる。通常土人を以て之に任ず。檢事長は辯護士の資格を要するもの

にして、米人若しくは土人々に任ず。理論上地方政府は自治の體面を有するものなれども、實際上其財政の主權は米國官吏の手中にあるものなり。財務官は地方税を徵收し、其支出の適否を監督し、市政の費途に容喙し、且つ中央政府の爲め租税を徵收す。故に比律賓の財務官は實際市政府地方政府中央政府の三者に跨がうて、各格別の職權を行ふものなり。合衆國は金銀の出納を直接土人官吏に委ずるは彼等を墮落せしめ、隨つて官紀の紊亂を來たす所以なりとなし、財政の權は常に米國官吏の手中に收めん事に留意せり。地方長官と雖も、其任命後職責を誤り、或は其他職責に相當せざる行爲ありたる時は、中央政府は直ちに之を免職せしむる事を得。斯の如く、合衆國は一方比律賓に自治政治を許容すると同時に、地方其樞要なる點に於て權力を抑制するは、一は土人の愛國心を満足せしめ、他は本國政治家の博愛心を糊塗する所の双股主義の政策によるものにして、斯る政策が永く比律賓の状態に適合するや否やは爲政者の當さに講究すべき事なるべし。比律賓を統治するに當て最も注意を要するものは、其土民の多角的人種

比律賓を統治するに付ての用意

を以て成立し、其言語風習の相違多き事にして、インドニシヤンは今や山地に隱遁し、ネグリスは漸次其數を減じ、群島の全部に勢力を有し政治上多くの關係を有するものは馬來人なり。馬來人は能く談じ能く交はり能く勉むる人種なれども、其親切友愛の情は相手の優者にして敵對し難きを自覺する間のみにして、一旦指揮者の頼るに足らざるを認むる時は、掌を翻すが如く離反して容易に服従せざる國民なり。比律賓の政治運用に於て最も困難なるものは、實に土人の組織的能力の缺乏なり。群島の各部に蔓延せる多數の馬來人中、國民的團體を組成せるものは皆無にして、彼等はたゞ地方的利益を事とし、他部落の進歩を考慮せず、性質狡猾にして常に懦弱なる生活を營む。要するに馬來人は被治的種族にして、到底自主獨立の政治を行ふ質にあらざるべきか。比律賓島に侵入して別に強勢なる種族を形成せるものは支那人と馬來人との雜種にして、此雜種は土民中最も統御し難き種族なり。彼等は馬來人の情弱と支那人の保守固陋とを併有するものなり。



比律賓人の  
西班人への  
及ぼす影響

太平洋の優越者

五八

比律賓人の性格上に更に顯著なる變化を及ぼしたるものは西班牙人にして、西班牙人は唯に其文明宗教を輸入したるのみならず、比律賓人と雜婚して、其拉丁の血液を土人に分與したり。比律賓人が虚飾を愛し、巧辯を好み、實行を疎んずるは、拉丁種族の抽象的文明の影響を受けたるに由る。群島大小の都會には所謂村夫子なるものありて、自ら大政治家を以て任じ、國政の可否を論じ、或は大哲學者となりて宇宙の深玄を説く。西班牙は猜疑の國なり。官民離反し、朋黨各利を構ふる國民が、焉んぞ殖民地の義勇奉公の精神を鼓吹する事を得んや。比律賓人の團結力なく、愛國心なく、淺薄にして、虚飾を愛し、情弱にして、巧辨を好むは、西班牙三百年の階政與つて大に力あるものなり。

思ふに合衆國が比律賓を所領し、之を支配するに至りたるは、例へば或る頑蒙なる少年を貰受けて、教養の任に當れるが如きものなり。政治法律の美服を與へて、外形の美を装はんよりは、公正なる政治教育を施して、偏屈せる傾向を矯正せざるべからず。合衆國の近來土民教育に力を盡し、群島の

合衆國は教  
育を重んず

西班牙の僧  
侶時代の教  
育

重要な地に師範學校を設立し、切りに普通教育の普及を計りつゝあるは、蓋し此邊の消息を考慮したる舉なるべし。合衆國は唯に師範學校を設立して土人教員の養成に努めつゝあるのみならず、其他各種の實業學校を開始し、農工業の發達を計りつゝあり。又下は小學校より上は高等専門學校に至るまで、英語教育を奨励し、國語の統一を計りつゝあり。久しく西班牙の舊式教育に浸潤したる頑冥なる性狀の改造は、容易の業にあらざるべく、特に急速に高等教育を授くるは、果して良好なる殖民地教育策なるべきか。疑なき能はず。元來比律賓人は、伶俐にして、感受性に富みたるものなるを以て、或は漸次新教育の價值を認め、進んで時勢の推移に適合するに至るや、も知る可らず。

昔時西班牙僧侶の實施したる教育は、實に今日の比律賓人の性行を形造りたるものなるが、彼等は別に學校を建設せず、教師の私宅若しくは僧庵の物置或は厩を以て教室に充て、教師は多く無識の托鉢僧にして、一人につき大凡四千の兒童を教ふ。俸給は當時西班牙官吏の厚録を貪るに比して甚

だ薄く、女子は十二弗男子は二十弗メキシコ弗に過ぎず。故に彼等は自然教科書其他の收利を騙取し、以て私慾を充たせり。授業料は貧富の程度により等差あり、富裕なる子弟は特別の待遇を受けたり。初等教育は三歳に始まり六歳に終り、教科目は聖經の間答、讀書、習字にして、或は算術の初歩を授く。女子には刺繡と編物を課す。初等學校の上にある教會學校の教科目は哲學、倫理、修辭學、地理、天文等なりき。今比律賓教育の重要な地位にありて廣く土民の状況を研究したる米人アットキンソン氏の記事を籍り、西班牙教育の當時の状況を紹介すべし。『西班牙の比律賓兒童の入學早々手にする教科書は、天の牧者と稱する四十頁餘の小學讀本にして、此小冊子は初めに西班牙語の字母と音符等を記し、終りに宗教道德に關する諺話と簡單なる祈禱文詩文を收む。書中教科事項に關係なき粗拙なる二三の木版畫を挿入せり。次に學習する教科書は、教訓と題する百頁餘の讀本にして、其最初の部分は天の牧者の記事を反復せしものなり。次に羅馬教會の祈禱文、宗教上の訓話、耶穌の復活の歌、創世紀よりエルサレムの滅亡に至る歴

米人アット  
キンソン  
氏の

史の概要を説き、中半より實用知識と題し、日常の仕事、時間の配當、幾何畫、天體地球の説明、比律賓西班牙の歴史等、大凡四十頁を費やす。自然界の三大別と題するもの數頁、小兒の衛生と題するもの二頁、最後に羅馬教會の祈禱禮拜の簡易なる説明を加へたり。以上二冊の教科書は比律賓兒童の學問と稱すべきもの、全部にして、實に一般比律賓人の國民教育を形成したるものなりき。教室には教具なく、教師には教案なく、唯鸚鵡的に章句の暗誦を勉むるのみにして、比律賓の小學兒童は三歳より六歳に至る三年の日月は、蛙鳴蟬噪を以て消失し、大多數は唯之を以て學校を退き、以上の教育を受くる事なし。極少數者は専門學校に入り、高等教育を受くるものありと雖も、其高等教育なるものは哲學、倫理學、修辭學等の抽象的學問にして、數學物理解化學等の實際的學術は全く疎外せられたるものなり。要するに西班牙の比律賓教育は羅馬教の偏執固陋の宗教的訓育にして、遠く近代文明の實際的教育を離れたるものなり。合衆國は其憲法上宗教の自由を許すを以て、比律賓の宗教に於ても何等の干涉なしと雖も、日曜學校其他の特殊學校

を奨励し、鋭意新教の傳播に勉めつゝあるものゝ如し。モロロ族は最も頑迷なる回教徒にして、奴隸賣買一夫多妻の惡風、今尚ほ彼等の間に行はれつゝあるを以て、合衆國は唯に宗教上のみならず、政治上に於ても、特別の取扱をなし、土民長に政權を附與し、一種の會長政治を施行せり。未開國の誘導は法律規則の善美なるものよりも、其國政に任ずる所の爲政者の猷身的奉公に俟たざるべからず。今後比律賓の發展如何は大に吾人の注目に價するものなり。

### 第五章 比律賓及び比律賓人

比律賓人の常居——比律賓の風景——比律賓の市場——比律賓人と文明教育——馬尼刺——比律賓人の性格——比律賓に於ける支那人——比律賓の海運

前章に記載したる如く比律賓は無數の島嶼より成立し、其長さ南北殆んど一千哩、東西其最も廣き部分に於て六百哩あり。人口は八百萬餘にして、數多の部族に分別せられ、各異なる習俗を有す。就中マダグレット族は多く山

#### 比律賓人の日常生活

地に住し、漸次衰亡し行く人種なり。インドネシヤンは土族中最も慥悍なる種族なれども、團體的行動をなすものにあらず。馬來族は殆んど群島の全部に蔓延す。合衆國の統治上苦心するものは、則ち此種族なり。馬來族の主なるものは群島の北部に住するタカル族と、南部に住するガイサヤン族にして、其容貌風俗に於て大差なしと雖も、其言語性格信仰に於ては自ら差別あり。彼等は早くより西班牙人に接し、最も深く拉丁文明の影響を被りたるものなり。

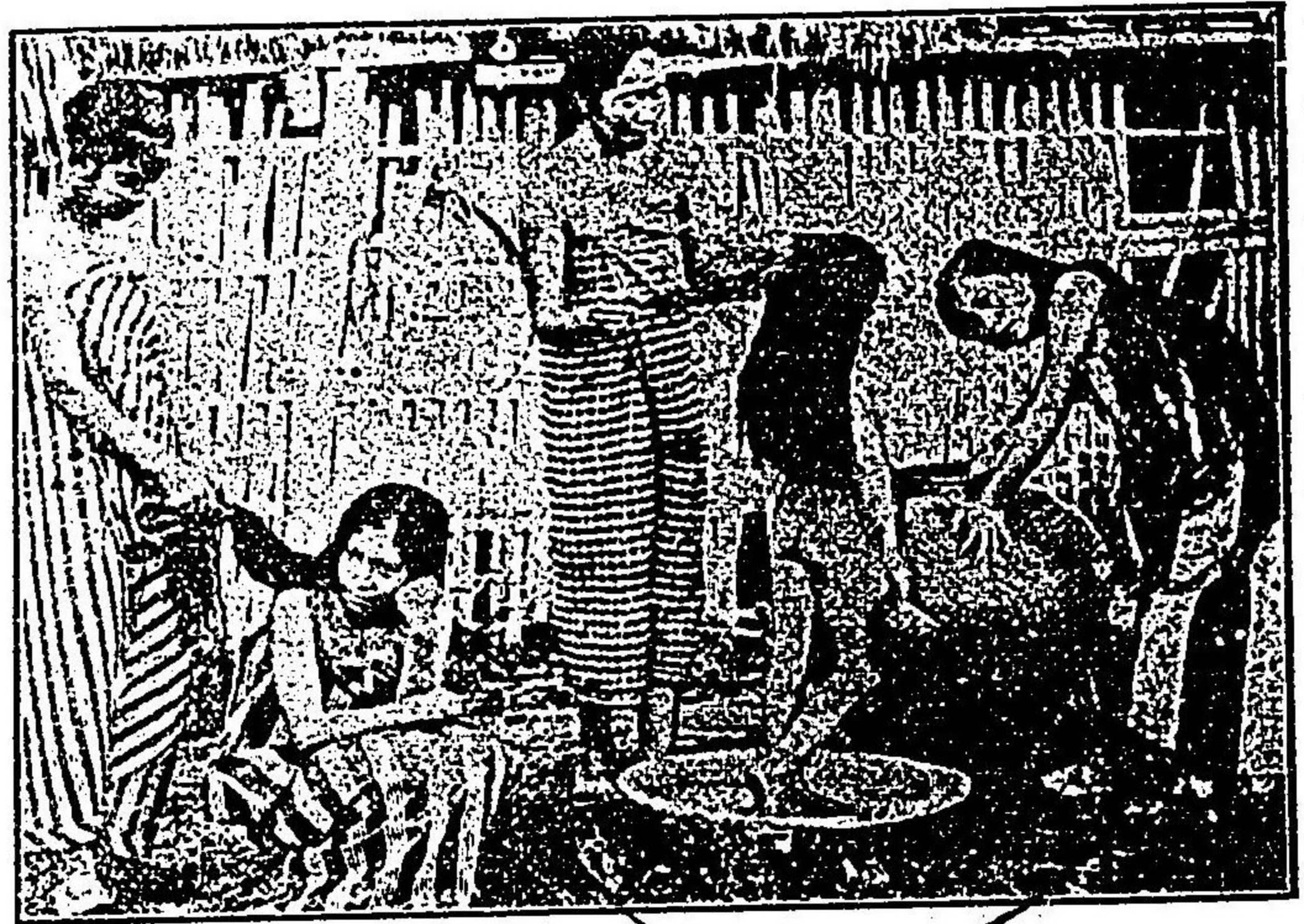
#### 比律賓人の闘雞

比律賓人の日常生活は寧ろ柔隋なるものにして、一般に仕事を厭ひ、無爲空談に時日を過ぐす傾きあり。勿論一部の士民は相當に勤勉して生活費を得る必要ありと雖も、少しも餘裕の生ずる時は、直ちに業務を廢し、遊惰に耽る。若し女子が煙草會社に働き、或は刺繡業を勤めて家族を支持する時は、男子は則ち遊人となり、雞を飼養して之を格闘せしむるを以て無上の樂となす。闘雞は比律賓に於て最も盛んに行はるゝ遊戯にして、大小の都會は必ず闘雞場を設け、是等遊民の畜養せる闘雞を集め、種々の賭物を以て其

枝を闘はしむ。闘雞場は常に入場料を徴し、公衆の觀覽に供す。闘雞は一種の賭博にして、之が爲め屢家財を盪盡するものあれども、習慣の久しき容易に之を禁止する能はず。妻女が孜々として働き出したる金錢を以て闘雞を飼ひ、數月の後晴場に引出し死に至るまで格闘せしめ、若し敗北して白羽根を表はすが如き事あらば、其持主は之を以て大なる恥辱となし、憤懣の餘り直ちに之を絞殺する事あり。比律賓人は亦音樂の愛好者にして、都鄙至る所樂隊を編成し、樂手は常に所定の制服を着け、種々の樂譜を吹奏す。一年三百六十五日の中三百日以上は祝祭日にして、朝夕歌舞音曲を事とし、人生儀式中最も嚴肅なるべき葬式に於てすら或種の音曲を奏し、談笑の中に過了るの有様なり。比律賓人は確に闘雞と音樂とを以て世界の最も氣樂なる國民の一なるべし。上流の婦人は勿論中下流社會の細君達に至るまで能ふべくんば長煙管を咬へ雜談空話に時日を移す。比律賓の家政は頗る蕪雜なるものにして、育兒法料理法酒筵應對の法の如きは何の關知する所にあらず、唯朝夕化粧を凝らし男子に媚ぶるを以て唯一の業とする

祝祭日

比律賓の風景



比律賓の化粧

のみ。其得意の黒髪を美しく結び、色の細顔に脂彩を凝らし、夕景涼風の爽立つを俟つて外出する時の優形は到底日中陋屋に臥居して自惰落の生活をなし來りたる婦女子とは思寄らざる事なるべし。

試に今比律賓の事情を更に明かにする目的を以て、吾人をして便船を籍り、群島近海の水波激瀾たる間を航行しつゝありと想像せしめよ。大小の島嶼は眼前に浮び、或ものは綠樹青草水涯に達し、或ものは奇巖突亢山壁相重なり、其山嶺遠く紫藍を染めて白雲近く裾野に棚引く光景、或は水線深く

灣入し樹林鬱蒼たる邊に鶯色の民舎棕栢樹の間に隠見するもの、或は曾て西班牙の威風を四隣に放ちたる白色の會堂が獨り群屋を抜き巍然として市街の中央に屹立するもの、何れが群島の美を發揮せざるものあらざる。熱帶國なる比律賓の光景は確に世界奇勝の一たるを失はず。更に吾人をして進んで是等海港村の一に上陸し、少しく内地に入りて、昔し西班牙官憲の其權威を逞うしたる地方政廳の所在地を通觀せしめよ。斯る都會は大概河流を以て海港市に通じ、河流に沿うて粗惡なる道路有り、寒素なる埠頭は數多の土人船を繋ぎ、鶯色の土人其間に佇立し、道路の兩側には棕栢樹或は竹林繁茂し、渺茫たる海面遠く其間地より望見せらるべし。此妙味ある道路を進み、漸く都會に近くに從ひ、不規律なる田圃樹林の間に開かれ、土民の茅屋其處彼處に現はる。此間群島の霞の如く集まりて吾人の眼を掠むる者あり。市街の外廓に至れば土民の茅屋漸く多く、檳榔子其他の菓實を商へり。聽て市街に來れば木造石造の家屋道路の兩側に軒を列ね、西班牙式建築圓窓白壁は土人の茅屋と趣を異にす。西班牙の家屋は四方閉塞し、

普通熱帶諸國に見る所の白人家屋と異り、廣潤なる窓戸廊下を有せず、外觀恰も華麗なる牢獄の如し。群衆の間、嶄然として異彩を放つものは、勿論會堂なるが、其外觀の宏麗なるに似ず、内部の構造裝飾等は甚だ粗劣にして、一も見るべきものなし。况んや時代の經過と共に曾て輪奐の美を備へたる壁柱も今や多く缺損磨滅し、修繕建築の施すものなく、唯往昔の西班牙僧侶の權柄を偲ぶ所の大伽藍たるに過ぎず。西班牙僧侶の住宅たる僧庵も、亦比律賓都市の名物の一にして、彼等は多く丘陵の中腹を占領し、石門石階石廊を以て築かれ、數多の民屋を瞰下し、遠く棕栢樹の點綴する珊瑚礁を眺め、白帆の漁船靜かに其間を縫行する光景は熱帶國の景勝を一目の中に鍾めたるの概あり。

比律賓の諸都府は大概劇場を有す。劇場の構造は圓形にして舞臺棧敷奏樂場等全く歐米の模型に則とりたるものなり。僻遠の都市には竹木のみを以て建造せられたる劇場あり。西班牙統治の頃、伊太利亞の旅役者屢々群島に來り、其大都會に於て興行せり。比律賓に歐羅巴風の音樂の流行

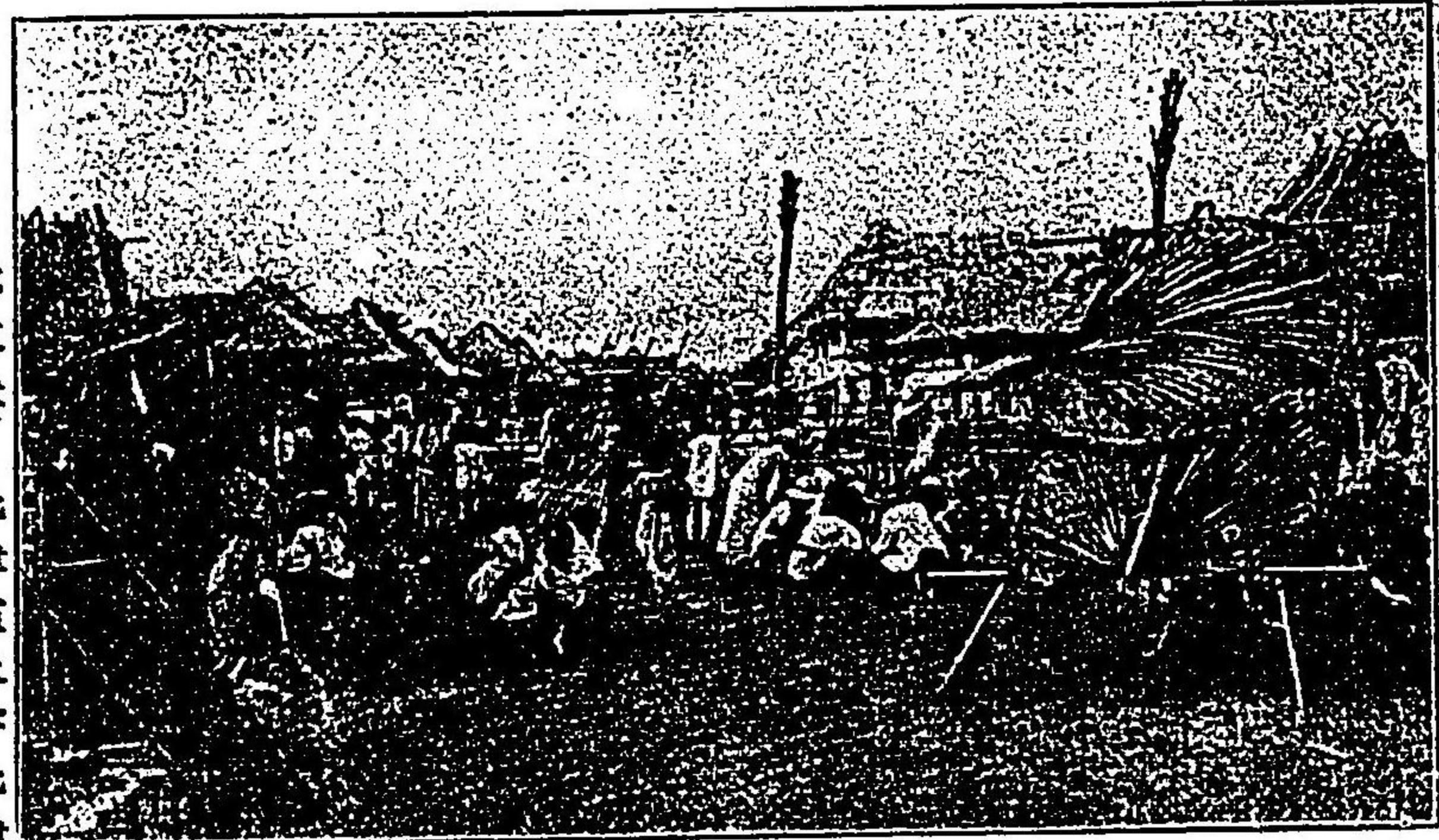
比律賓の市場

するは主に之れに歸因するものなり。  
 比律賓の市場は常に竹柵を以て圍まれ、場内全く屋根を以て蔽はる。商賣品は種々の食物家具等にして、サロン、カシマス、ビーナ等の織布は美事に陳列せられ、土民の顧客の來つて買求するを俟つ。場内に店地を得る能はざる小商人は場外に露店を開く。故に市場の内外は四方より群集し來る土民を以て充され、市街の最も雜沓せる地域となれり。民家には大概織機の設備あれば綿布の賣買は殊に盛なり。バナ、或はコナットの葉より製したる糸筋も亦市場の一隅に飾られ、土民は之を買取り、家に持歸りて種々の色合に染め、美麗なる衣裳を製す。

土人の室内飾

中流以上の土民の家具はビヤノ椅子、卓子等にして、聖母マリアの肖像は必ず客室の一隅に配置せらる。中流以下の民家に於ては家具と稱すべきものは僅かに寢臺及び手織機にして、寢臺は木製にて其上にプタテと稱する莫蔭を敷く。家の後部は臺所にして、通常土間なり。臺所は火炊場にして同時に食堂なり。比律賓人は戶外生活を好み、室内にある時も大概窓戶

比律賓國民と文明的教育



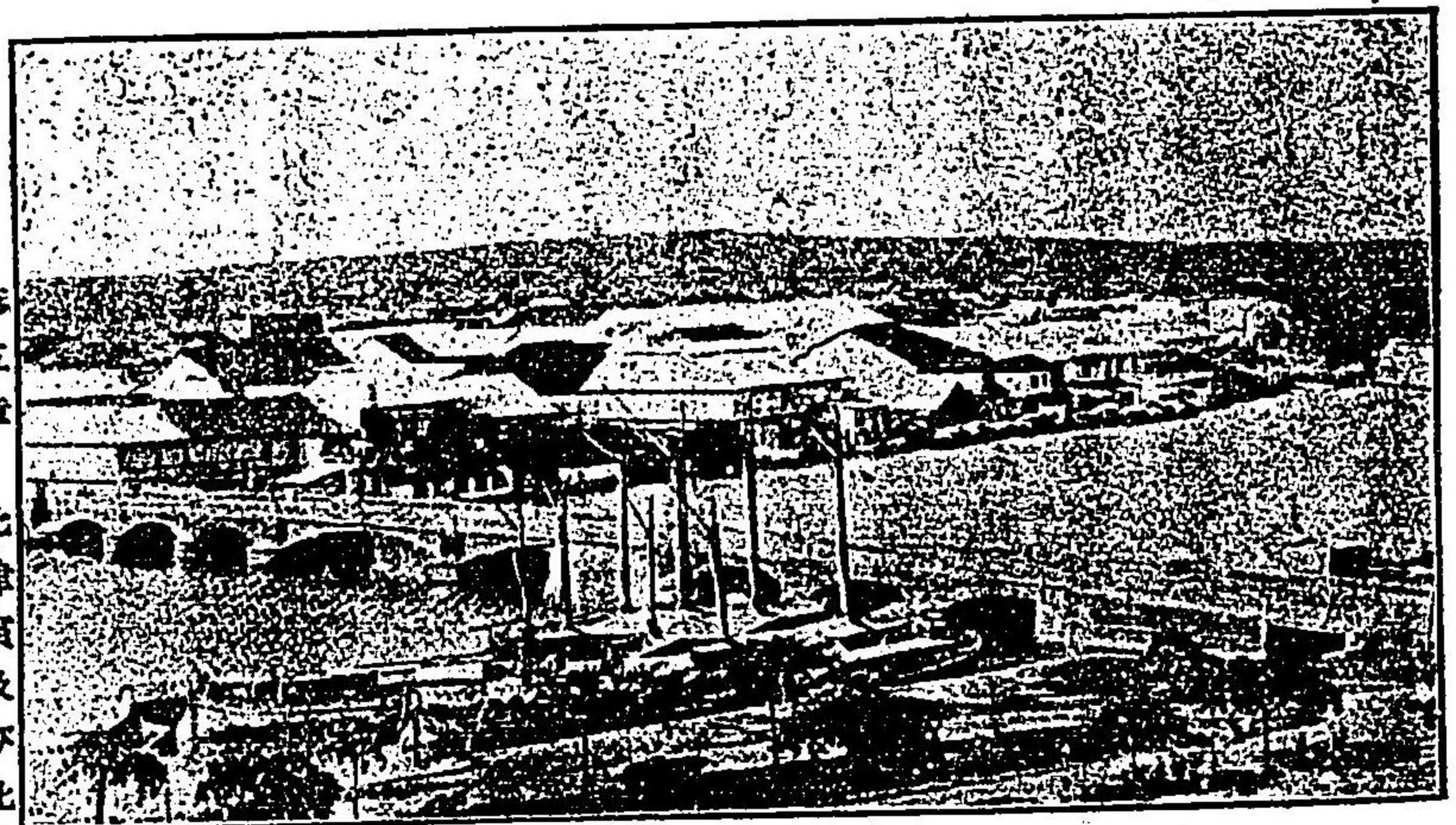
比律賓の市場

際に寄り常に無爲空談に時日を経過す。比律賓に於て一年の大半は祭日にして、祭日には華麗なる布幟を窓に掛け、庭前に棕櫚樹を植ゑ、其上に球燈小旗を連らぬ、復活祭又は外國大官の來訪ある時は、竹の大縁門を街頭に建て、紅白の祝紙は空中に飛び、市街は球燈色旗、棕櫚の葉を以て充され、全部歡喜に酔ふが如き觀あり。  
 比律賓國民に文明的教育を施すに當つて、先づ一考すべきものは、土人の身體の發育状態なり。比律賓人は概して其體格他の馬來同種族に及ばず。殊に女子の胸部狭小にして四肢の纖

馬尼喇

弱なる到底近代的文明の活動に耐ゆる子孫を産する質にあらざるべし。然れども彼等は社界上相當の地位を保つ女子にして、商工業に身を立て、或は地主となり、男子に譲らざる名聲を走らすもの決して稀有の事にあらず。是れ比律賓の女子は男子よりも容易に西班牙僧侶に近づき、彼等の寵遇を受け、法律上特殊の保護を受けたる影響なるべし。

馬尼喇は比律賓の首都にして、群島中最も繁盛なる都會なり。西班牙統治時代に於て、外國分子として其地に居留せしものは銀行員、鐵道員、其他貿易商を合せ僅かに數十名の英人に過ぎざりしが、一八九〇年合衆國政府の代つて比律賓を支配するに至りてや、從來の閑靜なる都會は忽ち活氣滿々たる巷と化し、道路は改造せられ、埠頭は修築せられ、幾十の外國船は常に其港灣に横はり、壯麗なるホテルは新たに築造せられ、陋隘なる民舎は華麗なる料理店、雜貨店、呉服店と化し、アイスクリーム、ピア菓物店の看板は高く街頭に掲げられ、人馬絡繹、機聲輪響、器々として四邊に響く。城街は馬尼喇の中樞にして、合衆國の官廳は多く此處に存し、以前のバラジョー宮は今の



第五章 比律賓及び比律賓人

總督府に假用せられ、其廣大なる庭間は幾多の事務所、區劃せられ、タイプライター、の音、憂々戶外に洩れ、カーキ色の制服を着けたる米國官吏は、大理石の階段を忙はしく昇降す。

比律賓は地震國なるを以て、宏壯なる建築物を見る能はずと雖も、馬尼喇の城街にあるジエズイット教の會堂は、獨り巍然として民屋を抜く。此建築物の内外的裝飾は、すべて西班牙僧侶の意匠を凝らし、比律賓人の技巧を盡したるものにして、其圓窓、支柱、磚壁、障壁の畫像、祭壇の威嚴、金紗、燭光を、るに西班牙僧侶の權勢を偲ばしむ。此他馬尼喇に於て最

も人目を驚かすものは、其共同墓地なるべし。共同墓地は圓形にして、内外二重の土壁を以て圍まる。其壁の厚さ始んど六尺、無數の小孔蜂の巢の如く其外壁に穿たる。土民の棺は其孔口に押入れられ其儘五ヶ年間安置せらる。五ヶ年の後ち納金を果して之を内壁に納むるものなるが、若此納金を果す能はざる時は死屍は直ちに取り出されて墓地の後部にある空地に投棄せらる。されば累々たる骸骨の人をして悚然たらしむるものあり。

馬尼喇は群島中最も暑熱の強烈なる所にして四、五、六の三ヶ月は殊に甚だし。而して六月より九月迄は群島の雨期にして最も不快なる時候なり。九月より四月に至る間は氣候漸く定まり、温帯地方の快適なしと雖も而も暑熱甚だしく身に迫まらず。夕景の美に又夜涼の掬すべきものあり。元來熱帯地にして暑氣強烈なれども、涼風常に海岸に起り樹梢を動すものあるを以て、若し家屋の構造を改良し通風の用意を施す時は必ずしも耐へ難き地にあらざるべし。且つ馬尼喇の最も恐るべきは疫病の流行なれども、合衆國政府は良水の供給溝渠の建設等鋭意土地の衛生法を講じつゝある

## 馬尼喇の氣候

を以て久しからずして健康地となるべし。

馬來種族は遊惰の國民なり。而して比律賓人は馬來種族中最も顯著に此性格を發現したるものなり。彼等は勞働を好まず常に放逸に耽るを以て、忍耐勤勉なる支那人は彼等に代はつてすべての勞役に服し、群島の大勢力を形成せり。合衆國は支那移民の勢力を虞れ可成土民を使役して道路鐵道橋梁等の公共事業を成就せんと欲すれども、彼等性來の惰弱は到底責任ある事業に従事せしむべきものにあらず。

比律賓人は金を有する間は勞働せず、支那人は金を有して益勤勉なり。曾て或雇主多くの比律賓人の勞働者を得んが爲め普通の賃金を二倍にしたる事ありしが、彼等は僅に半日間働き残る半日間を遊惰に消了せりと云ふ。比律賓人の勞働を厭ふは、一は其本性の惰弱に存するものなれども、他は其體質の虚弱なると西班牙教育の宜しきを得ざりしに由るものなり。西班牙の土民兵を募集し或は土民警察隊を組織したる如きは、彼等をして反つて倨傲ならしめ、普通勞働を卑下する傾向を生ぜしめたるものなり。

## 比律賓人の性格



支那人の一度比律賓に來たるや、直ちに僅少なる勞金を貯蓄し、行商を營み、懸て商店の主人となり、土民の女を娶り、富有なる生計を立つるもの比々皆然らざるなし。支那人中群島屈指の資産を有するもの甚だ少からず、比律賓の女子は同族間の結婚よりも、反つて支那人との結婚を好むものゝ如し。之れ同胞の良人は其妻女を働かし、其賃金により衣食するものなれども、支那人は自ら勤勞し妻女を愛育するが爲めなり。

斯の如く比律賓に於ける支那人は、社會上經濟上重要な勢力にして、此勢力を排斥し比律賓人のみを以て群島の發達を計り得べきや否は甚だ疑問とする所なり。合衆國は其本國に於て支那人移民禁止の法を決議せり。然れども之を比律賓の領土に適用せんとするは容易の業にあらざるべし。群島の資源は未だ明確なる調査を経ざるものなれども、石炭木材金石等有益なる天産物甚だ少からざるものあり、重要な輸出品は亞麻烟草コブラにして、輸入品は綿布絹布雜貨食料品等なり。其貿易額の最も大なるは英國にして、英國は既に二十有餘の商會を馬尼喇に有す。其三大銀行の二

比律賓に於ける支那人

は英人の經營する所なり。群島唯一の鐵道も亦英國の所有にして、其他種々の名義の下に巨多の資本を投入せり。近來獨逸の發展は驚くべきものにして、其香港新嘉坡との貿易の大部分は獨逸人に依て行はるゝものなり。合衆國は勿論其統治國たる特權を利用し今後比律賓の貿易上顯著なる活働をなすに至るべし。

日本は比律賓の外國貿易中其第七位を占むるものにして、一九一一年の輸入高は二百二十四萬弗以上に達し、尙ほ年と共に増加の形勢にあり。門司より輸出せらるゝ石炭は濠太利ニールカッスルの石炭と共に比律賓の重要な燃料を成せり。やがて今數年の後には我が撫順炭も亦此競争場裏に突入するものなるべし。

群島間の交通は甚だ不完全なれども、海外交通は其貿易額に比して甚だ進歩せるものあり。馬尼喇香港間には六隻の英國汽船定期航海あり。三週間毎にカルカッタより日本に至る通路に馬尼喇に寄航する汽船あり。日本郵船會社の濠州航路は馬尼喇を経由す。西班牙汽船會社のツランヌ

比律賓に對する日本貿易

アトランティックは毎月一回リヴァプールより西班牙を經由して馬尼喇に至る。合衆國と比律賓を連結する米國汽船の直接航路を早晚開始せらるべし。桑港馬尼喇間の海底電信は既に設定せられ、馬尼喇ケーブアイトにある鎮守府は其北方六十哩のスウーピック灣に移され、壯大なる海軍港は既に建設せられたり。比律賓は合衆國の以て大に太平洋上に雄飛せんとする根據地なるを以て、今後其港灣の改造鐵道の建設等刮目して見るべきものあるべし。

## 第六章 太平洋に於ける大英國

半世紀前の濠太利——濠太利土人——濠太利の政治組織——ニゼラランド——ニゼラランドの土人——新幾内亞——パプアン族——新幾内亞の軍事的地位——獨乙新聞の主眼——英國の新幾内亞占領の目的——蘭領新幾内亞——フェジイ諸島——英國のフェジイ政策其他南太平洋に於ける英國領土

### 濠太利

半世紀前の濠太利

現今太平洋に於ける大英國の勢力を形成するもの數多ありと雖も、濠太利は蓋其最も重要なるものなるべし。濠太利は他の英國領地に比し歴史的威嚴なく、唯最近五六十一年間の齒的發達に過ぎずと雖も、其發展は太平洋の未來に重大なる關係を有し、世界今後の活動は此新大陸の發動如何に俟つもの甚だ大なるものあるべし。

濠太利の西北部に航し新大陸に足跡を印したる最初の英國人はダンビヤ氏なれども、其東部及び東北部の重要地を探見し初めて英國旗を翻へしたるものは、キャプテイン・コック氏なり。濠太利沿岸の實地測量は十九世紀の初頭に始まり、四五十年にして漸く其地形の大要を了知せり。内地探見は一八一三年に始まり、多少の成功を得たれども、大陸の中腹を南北に横斷し、大陸電信の基を開き、瓜哇を通じて走る所の海底電信と共に、濠太利の最遠の地を他強國と連接せしめたるものは、マグドナル・スチューアールト氏なり。スチューアールト氏は一八六一年アドレイトを發し、八ヶ月間荆棘茫茫たる荒野を跋渉し、漸く北部海岸に達せり。キャプテイン・コック氏の東

キャプテイン・コック氏

マグドナル・スチューアールト氏

囚人殖民地

氣候と地勢

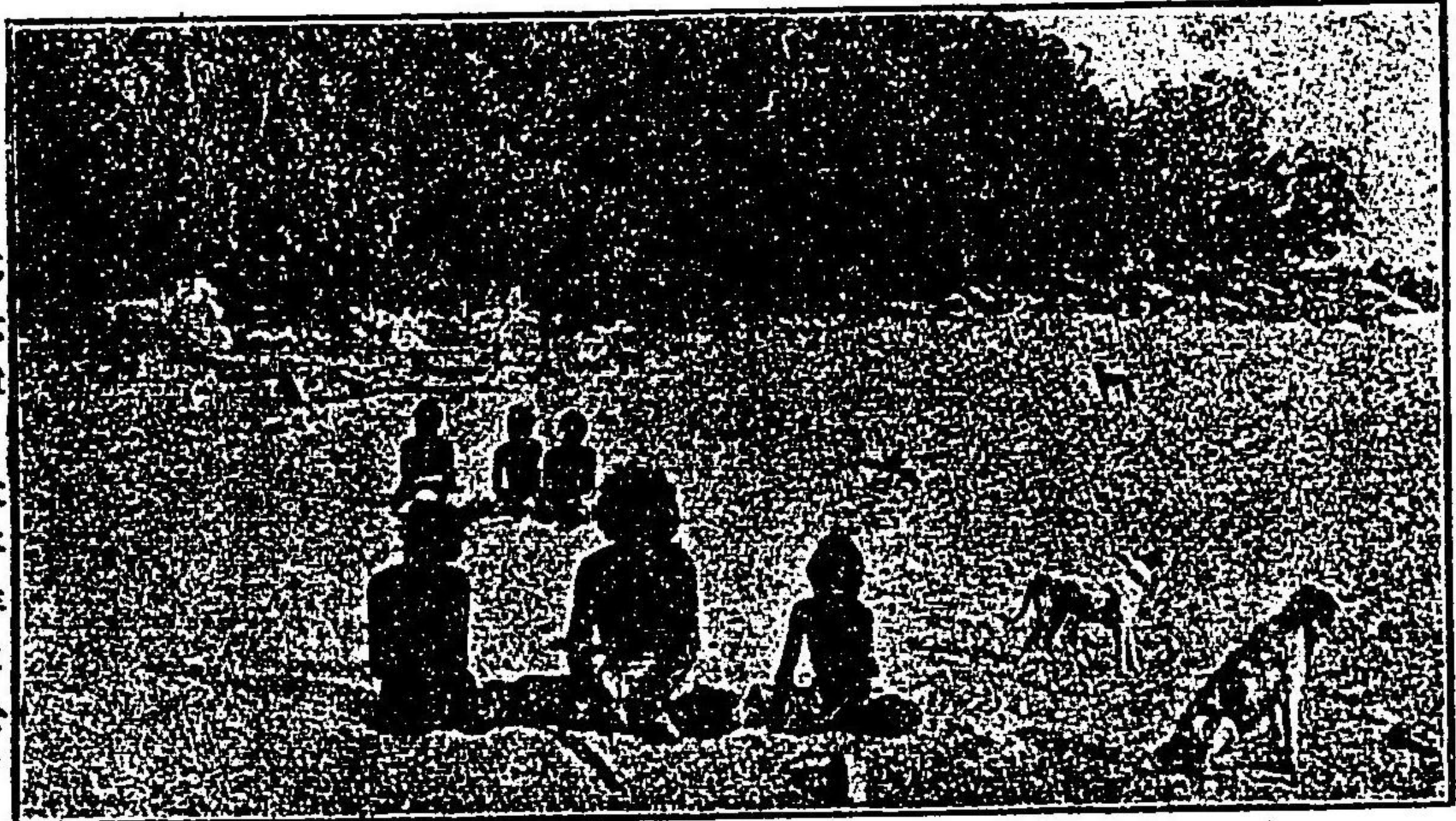
中部より西に横はれる所の廣はるる地方

太平洋の優越者

海岸の發見ありてより、殆んど半世紀間、濠太利はすべて乾燥不毛の地と見做され、何等文明の施設なく、單に本國犯罪者を流刑する所の囚人殖民地となしたるのみなり。濠太利の面積は歐羅巴の五分の四に等しく、氣候は多様にして乾濕交も至り、随つて寒暑の差甚だしく、北部の暑熱は殆んど白人の住居に適せずと雖も、東部南部西部の氣候は快適にして人文發達す。夏は熱度高く上り、冬は寒氣峻烈を極め、山嶺深く雪を以て蔽はる。重疊せる山脈は東海岸に連なり、南方東方に流るゝ河川の分水嶺を成す。西方に流るゝ河流はすべて小流にして數ふるに足るものなし。

大陸の中部より西部に横はれる所の廣漠たる地方は、殆んど通過し難き沙漠にして針草道を遮ぎり、行歩の足を刺し、駱駝の耐忍を以てするも其用を爲す能はず。然れども濠太利の地質的構成は概して井水的作用によりて灌溉を能くする望みあり。運河或は河流の沙漠に吸收せらるゝ地方は、其上流に於て貯水設備をなし、隨時瘠土を潤ほして、牧場または農業の目的に供する事を得べし。

濠太利の土人



オーストラリアの土人の風習

十九世紀の當初歐洲人は濠太利を以て一般に不毛の蠻地となし、絶えず内地より吹き來る熱風、其間に生存する瘴惡なる土人の徘徊は、到底順良なる白人の移住する所にあらずとなし、唯其犯罪人を流刑する所の囚人殖民地となすの外、何等の適用を思はざりき。然れどもアングロ・サクソン人の不撓不屈なる殖民的精神は、絶えず此間に働きて有爲なる團體相腫いて到り、遂に今日の隆盛なる濠洲聯邦を現出するに至りたるものなり。

濠太利の土族は、世界の野蠻人種中最も野蠻なるものにして、如何に低き

程度の蠻人と雖も多少の知識を有すれども、此の種族は土器の製造木石の細工等、一も知る所なく、たゞ野獸の如く山林原野を徘徊する種族なり。彼等の容貌はネグロ種の如くならず、眉毛秀て鼻梁高くして眞直なり。皮膚は黒色なれども他の黒色人種の如く其色甚だしからず。身體は細長なれども肥滿する傾きあり。濠太利土族間に於ける女子の地位は極めて低きものにして、社會上何等の權利を有せず、男子の爲め最も殘忍なる取扱を受くるものなり。然れども彼等には財産の所有權を明かにして他人の權利を侵害せざるの美風有り。その風習中最も恐るべきものは、肉食の蠻習にして、彼等が動物を求めて得ざる時は其小兒を屠つて食となす。菓物鳥獸魚類は彼等の常食にして、其他彼等は草根木皮より昆虫爬虫の類に至るまで、殆んど有らゆる動植物を食す。英國政府は常に彼等を保護し、其教化に勉めたる結果、個人として相當の發達をなしたるものなきにあらざれども、概して不教不馴の蠻族なれば漸次滅亡に赴くの傾きあり。先にも云へる如く、濠太利の歐羅巴移民は十九世紀の上半期に始まり、其大多數は英國の

濠太利の歐  
羅巴移民ニューサウ  
スウェールヴァイクトリ  
ア  
クインスラ  
ド

囚人にして、常に遊牧の生涯を送り、或は海岸の便宜なる地方に小村落を建設し、多少の貿易を營み、當時彼等の數は二万乃至三万と稱せられしが、一八四〇年以降ニューサウスウェールズ洲漸く繁榮なる殖民地となるに隨ひ、其界内に此上の囚徒輸入を欲せず、本國政府に強請して遂に其禁止を成せり。一八五一年バザルストの近傍に於ける金礦の發見は、濠洲大陸の發展史に一新紀元を劃したるものにして、其後歐羅巴の新移民續々侵入し、同年ヱイクトリヤの新殖民地南部に設立せられ、其後八年にしてクインスランド殖民地北部に成立し、東部濠太利の事情益好況を呈せり。是より先き一八三六年南部濠太利殖民會社は南部濠太利殖民地を形成し、初めより囚人の屯在所たるを許さず、西部濠太利は佛蘭西の其地に志あるを知り、急に軍隊及び囚徒より成れる團體を送りたる所にして、前世紀の中頃までは人口甚だ少なく、反つて囚人の輸入を望みたる程なりき。斯の如く濠太利殖民洲は各其事情の革まると共に囚徒の輸入を排し、遂に一八六八年を以て濠太利は全く囚人殖民地たる汚名を除去するに至れり。

濠太利は南阿弗利加及び加利福尼亞と共に世界三大金鑛地の一と稱せらるゝものにして、數多の歐洲の資本と移民とを吸収したるは必然の勢なり。然れども其最も富饒なる財源をなすものは實に牧畜と農業にして、濠太利の富七千八百萬磅の中、牧畜は三千萬磅を占め、農業は二千八百萬磅、鑛業は僅かに二千萬磅に達するに過ぎず。而して此三大財源は各洲一様に分附せられ、それ、平等の發達をなしつつあり。

人口は現時三百五十萬人にして、富の發達と共に益々増殖すべし。ニューサウスウェールズは濠太利の最も古き洲にして、其北部にあるシドニー市は其首都なり。前に風景明媚なる港灣を擁し、後に翠色滴るが如き山壁を負ひ、他方廣漠たる平原には無數の牛羊を放飼し、小丘河邊に連なる葡萄園、果樹園は、市の裝飾にして、其建築物の莊麗なる、其街衢の端整なる、ニューサウスウェールズのシドニー市は確に世界有數の美都會と稱すべきなり。ワイクトリヤは濠太利の最小洲にして、洲内山脈連亘し、豪壯なる火山其間に起り、幽谷谿流は眼界を樂ましめ、曾て英國資本家の企業心の磁石力たり

し金鑛は、今尚ほ此洲の重なる富源なり。材木の産出又夥だしく、農業牧畜も盛なり。メルボルンは其首府にして、大英帝國都會中の第九位にあり。其美麗なる公園、植物園、天文臺、水道は此地の名物にして、教育文學美術の整頓は濠洲第一とせらる。メルボルン大學は其獎學金の富裕を以て聞ゆ。

南部濠太利は、大陸の南北を縦貫する電信線の基を開きたる遠征隊を發したる地にして、他洲よりも比較的經濟の發達せざる新洲に於て、斯る回天の大事業を成功したるは、永く此洲の誇りとする所なり。洲の大部分を蔽ふ所の不毛の地は、人工の井水を以て濕潤せられ、農牧の業漸次發達しつつあり。アデレイトは其首府にして、青々たる一帯の公園を以て圍まれ、此地方の模範的都會なり。クインズランドは半は熱帯に位し、其北部の酷熱は殆んど移民の居住に耐えざるものあれども、海岸線は美麗なる珊瑚島を以て點綴せられ、就中グレートベクリヤ礁は其最も大なるものにして、殆んど其全面に延長す。北海岸は濠州中最も雨量の多き地方にして、茫漠たる大牧場を有す。牧場の西部は際涯なき内地の砂漠に連接する不毛の瘠土に

ブリスベ

パルス市

タスマニヤ

濠太利の政

して、人畜の居住する所にあらず。ブリスベンは其首府なり。西部濠太利の開拓せられたる部分は、僅かに茫漠たる砂漠の一端を邊綴する所の比較的豊饒の地帯にして、天然の富甚だ少なからず。氣候は大陸中最も佳良なりと稱せらる。パルスは其首府にして、清麗なる河岸に位し、道路建築物の見るべきものあり。附近の砂原は春時は華麗なる草花を以て蔽はれ、高原地及び礦山地方は雨量甚だ少なし。雨量の少なきに拘はらず、此地方よりは加奈陀、加利福尼亞に拮抗する木材を産す。タスマニヤは濠洲の仙境なり。其幽雅なる丘谷、其明快なる沿岸、其快適なる氣候は濠洲中之に並ぶものなし。況んや土地の豊饒なる、礦山の夥多なる、今後大に開拓の餘地あるに於てをや。タスマニヤは確に濠洲聯邦の大廣間に、別に離坐敷を供するものと謂ふべし。土民は白人の侵來と共に漸次滅亡して、今や僅かに僻遠の地に其證據を見るのみ。濠太利諸洲は各洲政府を設立し、英國主權の下に責任ある自治體殖民地を形成せり。洲政府は凡て同一模型に組織せられ、英國皇帝によつて任命せられたる知事を有す。知事の下に上下兩議院

タスマニヤ

あり。上院議員は知事の選任にして、下院議員は國民一般の自由選舉に關するものなり。普通選舉は濠洲一般の定規にして、南部濠太利洲の如きは其選舉權を女子に分つ。タスマニヤ洲は獨り財産資格の制限あれども、洲の進歩と共に漸次改正せらるべし。ワイトトリヤは聯邦洲中最も民主主義の發達したる所にして、兩院議員共に民選なり。南部濠太利洲及びタスマニヤ洲は、上院議員に歳費二百磅、下院議員に壹百磅を給す。クインズランズ洲は唯だ下院の議員にのみ三百磅を支出す。西部濠太利洲は兩院議員共無給なり。

而して洲政府の上に聯邦政府あり。其總督は英國皇帝の任命するものにして、洲政府の如く上下二個の議院を有す。上院は六ヶ年の任期を以て各洲の選出する議員より成り、下院議員は人口の比例により選出せられ、最少數を五名とす。選舉法は各洲に存在する法律に據るものにして、別に聯邦議會選舉法を規定せず。聯邦政府議員は各四百磅の歳費を受く。聯邦議會は濠洲政治の最上權なりと雖も、洲政府は各其權利擁護に要する種々

ニュージラ

の法律を有す。例令ば聯邦政府は洲政府の承諾なくして洲を通ずる鐵道を布設し能はざるが如し。近時内國稅及び關稅は聯邦政府の權内に歸し、關稅の統一法を施行せり。但し洲と洲との貿易は自由なり。

ニュージラントは濠太利の東方千二百哩の海洋にありて、別邦國を形成する英國の殖民地にして、一八四〇年英國の有に歸し、爾來天富を開拓し、道路を開き、鐵道を布き、自治制を施し、今日に至りたるものなり。其開國の當時に於ては僅少の宣教師捕鯨者浮浪外人の漂流所にして、ヴィクトリア女帝の登祚の頃は、ニューゼラントは單に濠太利の迷船の避難所として知らるゝのみなりき。一八三九年ルイフィリップの下にある佛國の一會社のニューゼラント占領の志あるを知り、英國は急に移民を輸送して辛うじて其國旗を樹立せるものなり。若し當時英國にして機略茲に出でず、遲疑因循數日を空過したらんには、南太平洋の此仙郷は永く佛國の所領となりしや知るべからず。

氣候地勢

ニューゼラントは氣候溫暖にして雨量好適、順風常に都村を過ぎ、渺茫たる



ニュージーランドの景色

る平野遠く峨々たる連山に接し、美麗なる森林、其間に點綴し、巖谷温泉を涌かし、鍬山あり、牧場あり、農園あり、全島舉げて一大公園を形成す。ウイリントンはその首府にして、オ克兰ドの南端にあり。風光明媚なる海港市なり。

此島は地質上太古より濠太利本土と分在せしことは其動植物の異態充分に之を證す。ニューゼラントの最も奇怪なる動物は毛髮の如き羽毛を有する無翼鳥なり。今日此種の鳥類甚だ稀なりと雖も、化石状態に於て往々發見する事を得べし。是れニュー

ゼラントに於ては哺乳動物稀少にして鳥類は其害を受くる事なく、空中よりも多く地上に棲息せるが故なり。

ニューゼラントの土人は、ポリネシヤンとして知らるゝ太古のヨウガシヤン族の分派にして、一般にマオリス族と稱せらる。永く適順なる氣候と清淨なる國土に居住せしを以て他の野蠻國民に比し優等なる身體と文明を發現せり。彼等は衣服に繡飾を施し、家屋に住し、種々の器具を有す。マオリス族も亦白人の勢力の膨脹と共に漸次衰亡し行く土民にして斯の如く近時ポリネシヤン族の年と共に其數を減少しつつあるは、一は白人の齎來る種々の弊害に中毒し其從來の特質を消失するによる事なれども、其重なる原因は彼等の單純なる生活が到底西歐文明の複雑なる制度に耐へざるに歸因するものなるが如し。

濠洲聯邦の記事に附加して特に記載を要するものは、新幾尼亞なり。新幾尼亞は濠大陸の直南部にある世界第一の大島にして、英、獨、和の三強國之を分有す。バプアン族の故國にして、東方ポリネシヤ族に接し、西方馬來族



ニユーギニアの子女

に交はり、多少此等の血液を混淆せり。彼等の皮膚は、チグロイド族の如く殆んど純黒にして、眉毛の秀明、鼻端の尖長は其特色なり。

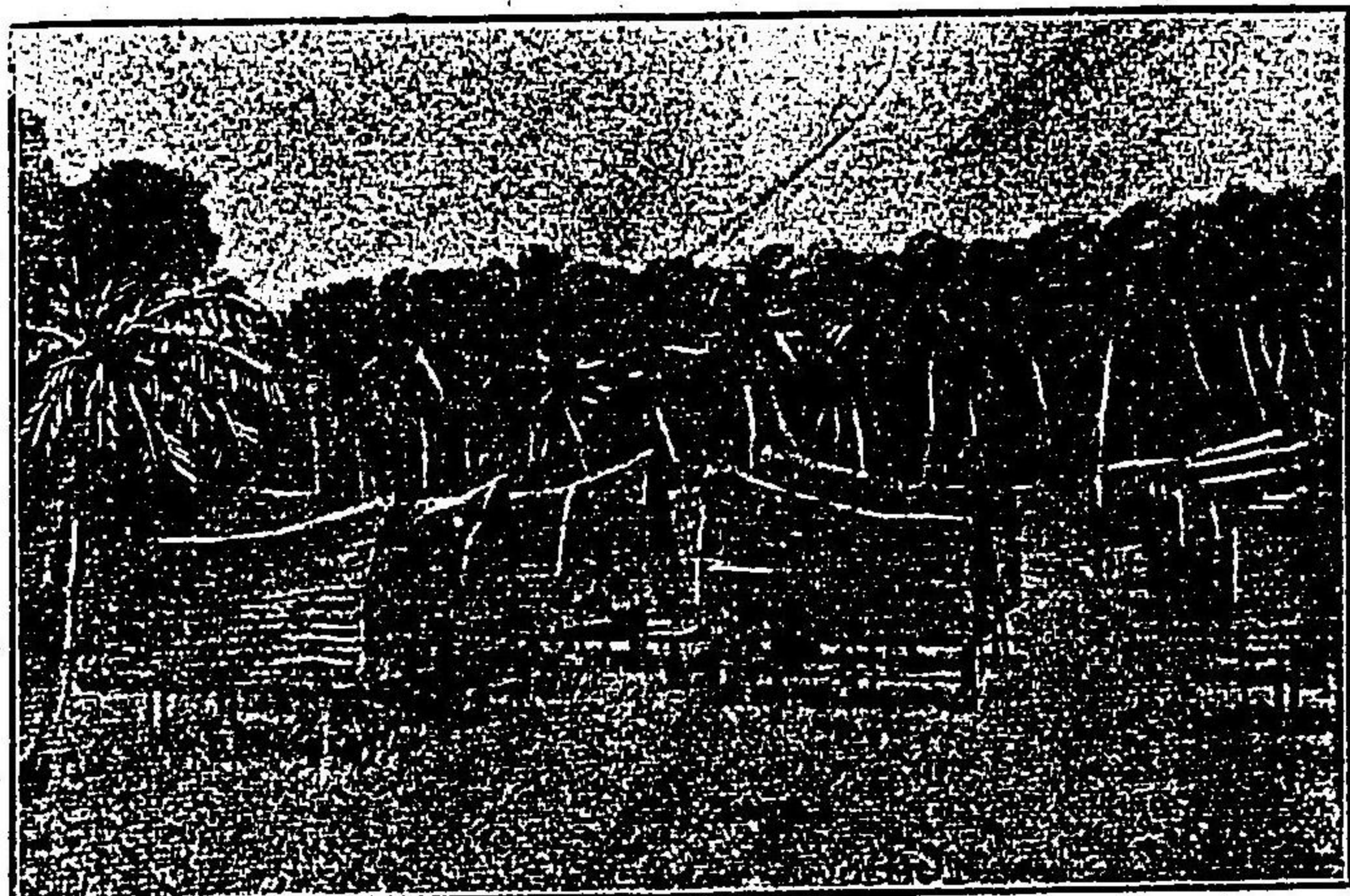
彼等は顔面の裝飾として、鼻孔の軟骨を通して骨片若しくは木片を挿み、其高隆せる鼻梁をして更に奇怪ならしむ。彼等の性情は激し易く、常居騷雜を極め、甚だしく舞踊を好み、身邊を花と珠とを以て飾り、家具偶像に彫刻を施す。バプアン族は粗硬なる毛髪を有し、之を頭上に伸ばし、種々の結束をなす。人食の齷習は今尙ほ行はる。殊に異人種を



厭忌し途中屢々危害を加ふるものあるを以て、外國人の内地を旅行するものは常に相當の護身器を携ふ。彼等は亦頭髮を赤くし、齒牙を染め、男女全く裸體にして、女子の七八歳に達する時は數年間之を木棚の中に圍ひ、妙齡に達するを俟つて隨時之を誘出して肉慾を恣まゝにするが如き蠻風を有せり。パプアン人を勞働者に取立て規定の業務に従事せしめ得べきや否やは未定の問題なり。曾てクヰンズランドは彼等の分派なるニーヘブリデスの土人を輸入し、勞作に従事せしめたる事ありしが、思はしき結果を得る能はざりき。彼等は寧ろ本國に放し置き自由に其農工業に従事せしむるを以て適當と思考せらる。

太平洋の優越者

新義尼亞は山嶽重疊せる山國にして、是等山嶽中には一萬尺乃至一萬三千尺の高きに聳へ、亞細亞のヒマラヤ山脈南亞米利加のアンデス山脈の高山に匹敵するものあり。英領和蘭領獨逸領、各大河流を以て劃せらる。是等の河流は漸次航運の便に供せられつゝあり。新義尼亞の近代歴史の重要なる部分は一八二九年和蘭のトリトン灣殖民地の放棄に始まり、英、獨、佛



ニギン人の合

の競争地となり、英國の最優越權の獲得を以て終る。初め新義尼亞の蠻島漸く歐人の好奇心を動かしてより、佛蘭、英の探險者は屢々其海岸に至り、或は河流を溯り、博物學者ツレン氏は四ヶ月餘其北部地方を探險し、英國、和蘭の宣教師は其南部に進入せり。露、獨逸の科學者も亦隨時此地を跋渉し、其紀行を公にせり。一八八四年、殖民熱其絶頂に達し、獨、佛、各其貪眼を太平洋に向くるに至りしより、濠太利の政治家大に警醒し、大團結を作りて他強國の其隣洲に染手するの危険を唱道せり。而して、獨逸新聞のしきりに新義

ニア全島の占領を主張し、遂に執政者を動かして、實地其北部の殖民を開始するに至り、クキンスランドは獨力談判委員を派出し、大英國の名義の下に其南部の占領に努めたり。クキンスランドの此の行動は濠洲他殖民地の贊助する所となり、茲に全濠大團結の實を擧げ、協同一致を以て本國政府に迫り、速に其意向を確定する事を求めたり。然れども英國は外交關係の大局に省み、容易に決定する所なかりしが、一八八七年、獨逸の北部新義尼亞を獲取するを見るに及んで、遂に其南部新義尼亞の最も濠太利に接近する部分を占領せり。斯の如く英國の新義尼亞占領の目的は表面上外人者に對して土人を擁護するにあれども、其眞實の理由は、濠洲殖民地の強烈なる壓迫遂に避くべからざる事情に立ち至りたるによるものなり。蓋し新義尼亞問題は、ニユーカレドニア問題と共に、濠洲聯邦の同盟を益強固にし、今後盛大なる民主國建造の道を開くに於て大に力あるものなり。

和蘭領新義尼亞は、以前モラッカスの一近島の主領たりし酋長との舊條約に據りて獲得したるものにして、其西方の大部分を分領せり。新義尼亞

英國の新義尼亞占領の目的

和蘭領新義尼亞

新義尼亞の眞の價值



船軍の人士ンアブバ

の和蘭領地は三國領土中最も豊饒なる地方を占め、良港灣を有し、馬來群島との貿易盛なり。獨領新義尼亞は何國の開港場よりも最も遠隔せる山地にして、殖民地と云はんよりは寧ろ獨逸の大平洋に於て雄を張るべき踏石として必要なるものなり。英國の領地は一般に瘴氣深き底地にして、氣候甚だ不健全、其蒸密せる熱氣は殆んど堪え難きものあり。要するに新義尼亞の眞の價值は關係國の軍畧上の地位にして、農商業開拓の希望は甚遠遠なり。然

モレスバイ

れども土地概ね肥沃にして、國中大部分は鬱蒼たる樹林を以て蔽はれ、今後尙多數の礦山を發見する事を得べし。英領新義尼亞の首府はモレスバイにして、良港灣に臨み、其地方に於ける健康地と稱せらる。市街は四邊荒漠の平原中に建てられたるものなるを以て外觀甚だ揚らず、氣船の定期航路は、シトニイよりモレスバイ港に到り、モロモニ島を経て歸航するもののみにして、其輸出入の總額は僅かに十萬磅なり。

フィジー諸島

濠太利及びニエーランドに亞ぎて太平洋上英國の最も重要なる領土はフィジー諸島と稱せらるゝ所の群島なるべし。此群島は、初めノルコク島より脱走したる囚人の移住せし所にして、其後數多の人此地に侵入し、漸次事態を改め、今日に至りたる所なり。フィジー島は美麗なる熱帶國にして雨量多く氣候健全、土地豊饒にして、バプアンの分族は其土人なり。フィジー島のバプアン族は其日常生活に於て多少進歩の形跡ありと雖も、其生命を輕んじ殺伐の風の行はるゝは同族人種中最も甚だしきものなり。彼等は未來の信念強く、今日の身體は其まゝ、未來に生き、病弱なる身體は永

フィジー島土人の奇習

英國の土人  
に對する態度

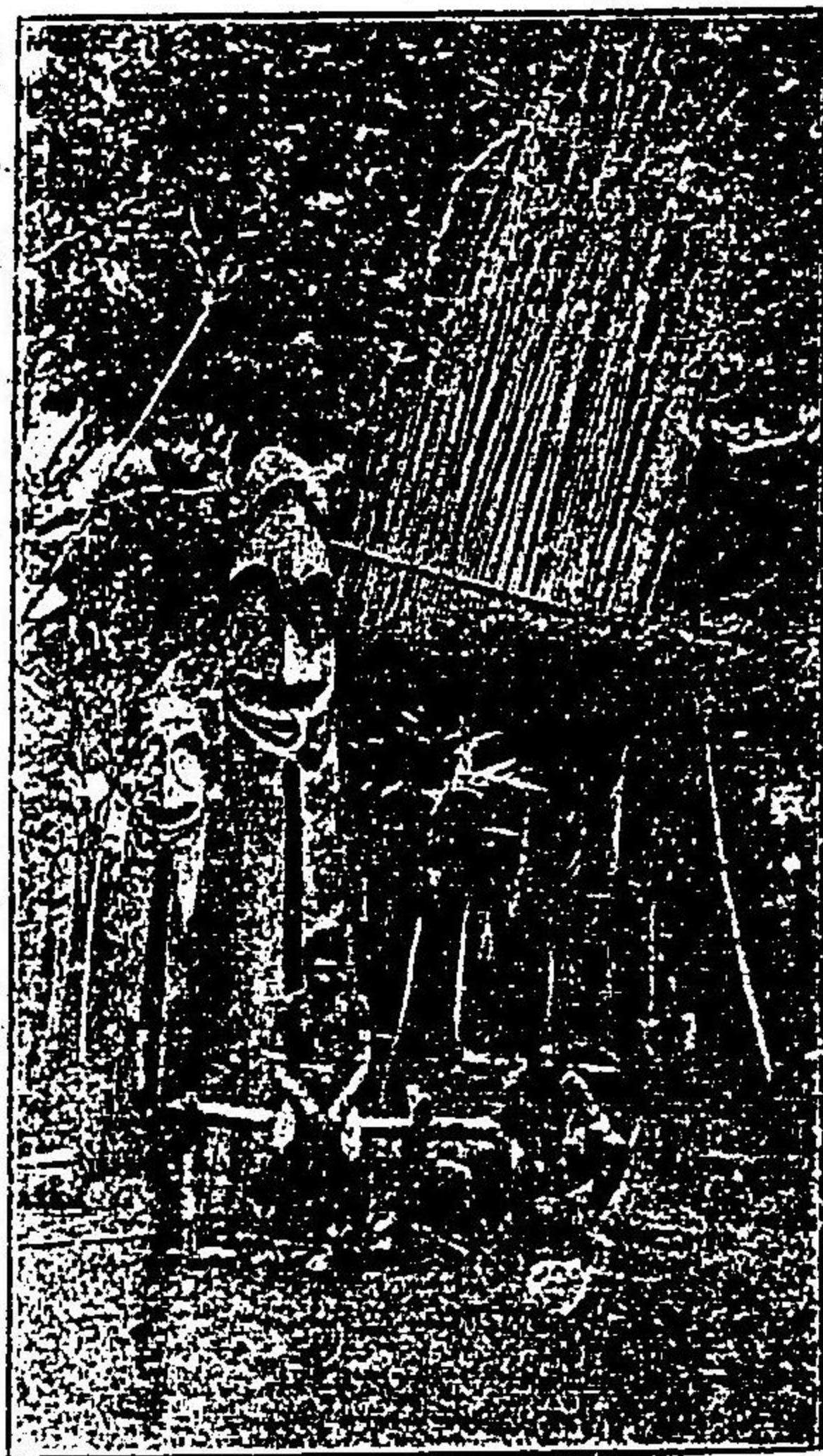


フィジー島の雜種民の居

く病弱にして、健康體は未來に於ても健全なりと信ず。故に疾病により或は老衰して死するよりは、寧ろ強健なる身體を以て埋葬されん事を望む。土人の信念の強き斯の如くなるに拘はらず、フィジー島の基督教傳播は甚だ迅速にして、今や土民は形式上基督教徒となり、讀書算術を學び、從前の蠻習漸次全島より脱去しつつあるを見る。フィジー島の基督教徒は重にトンガ人の勢力によるものにして、トンガ人は他のバゴアン族を征服し、威勢を逞うしたる事ありしを以て、其勢力今尙ほ彼等の間に存し、常に征服者として尊敬せらる。英國は則ち此勢力あるトンガ人を用ひて基督教の教師となし、同族者の教化を計りたり。英

國が殖民事業に於て常に多大の成功をなし、世界の各方面に重要な勢力を有するは、斯る用意ある政策を施行するによるものなり。基督教傳道上に於て最も有力なりし階段は、フィジー王の改宗にして、王の改宗前は數多の土民中より肉附の最も豊なるものを貢獻せしめ、之を屠りて食膳に供する如き恐るべき弊習を有せり。然れども今や彼等は歐米人に親み好んで新文明を採用し、新道徳に支配さるゝに至れり。一八五六年、フィジー王は其國を擧げて大英國に手渡しせん事を求めたり。其後島内の政治左往右進幾多の變動を生じ、之が統御上白人の政權擴張の要益々多きを加へ、一八七四年英國は遂に其島國を譲り受け、委任政府を形成せり。フィジー島の總督は亦西部太平洋の委任大使を兼ね、英國政府はフィジー島に一種の耕作法を施し、酋長の監督の下に土民をして土地の耕作に従事せしめ來りたるが、其成績頗る佳良にして、傳道事業の開運と共に、フィジー人を他の同族種に比し優等なる地位に達せしめ得たり。然れども歐羅巴の文明は野蠻人の生活に適合するものにあらず。改良されたる家屋、衣服、食物は反つて

其外の南太平洋に於ける英國領土



波太の人士アアバ

土人の健康を害し、往時都村に充滿したる人口は漸次減少し、フィジー島は今や反つて労働者を他國より輸入するの必要あるに至れり。輸入労働者は常に印度人とポリネシヤンの契約移民にして、印度人の労働者は初め五年間の契約を以て備はれ、更に五年間其島内に滞留するを要す。ポリネシヤの労働者は三ヶ年契約にして、それ以上滞住の義務なし。フィジー島の重要な産物は砂糖にして、其貿易の大部分はシドニー及びニュージーランドとの間に行はる。

其他南太平洋の英國領土は、新義尼亞の東部に横はれるソロモン諸島及びフィジー島を中心として、其東部西部に群在する諸島なり。フィジー島

とニューサウスウェールズ洲の中間に横はれる二個の群島の中、ニューヘ  
 ブライデス島は英佛聯合の所管にして、ニューカレドニヤは全部佛蘭西の領  
 地なり。佛蘭西は此他ソサイテイアイランド及びオストラルアイランド  
 として知らるゝ處の數多の群島を有せり。英國領土の最も東方に隔在し  
 て最も多く人口に膾炙するものは、ピットケルンとイースターアイランド  
 にしてピットケルンは曾て英國軍艦バオンテイ號の謀反人の上陸した  
 る所にして、同謀者の一人なるジョン・アダム其同輩の全く死亡したる後、自  
 ら責任を感じ、鋭意土人の教化に努め美風ある部落を作り、太平洋の一孤島  
 に於て酒煙草疾病罪惡を知らざる樂園を現出したりといふ小説的説話を  
 以て有名なり。ピットケルン島は今尚ほ酒煙草の輸入を禁じ、隨時碇泊  
 する汽船の一般乗込員の上陸を許さず、僅かに船長以下重要な船員を慎  
 重に接見するのみなりと云ふ。イースターアイランドは既に記載せる如  
 く、數多の古跡を有し、其島内に現存する石像は文明人の等しく驚嘆する所  
 なり。

濠太利の最  
 も重要な  
 政治問題  
 ニューゼラ  
 ンドの獨立

以上は十八世紀以降今日に至る南太平洋に於ける歴史の概要にして、歐  
 米列強の此方面に於ける活動の如何に激甚なるや、容易に察知する事を得  
 べし。

### 第七章 濠太利(續き)

濠太利の重要な政治問題——ニューゼランドの獨立——人口問題——貿易——運  
 輸交通——大陸横貫鐵道——海底電線——濠太利人の國民思想の發達——英國對濠  
 政策——濠太利の社會問題

濠太利の最も重要な政治問題は、ニューゼランドの獨立状態にあり。  
 ニューゼランドが濠太利聯邦の大廓を離れて別に獨立の政治を支持する  
 は、其社會組織の相違と地理的地位の遠隔に歸因するものなれども、政治的  
 合同の困難も亦其理由の一ならざるべからず。ニューゼランドは聯邦に  
 合同して得る所少なく、損する所多し。其行政立法、經濟郵便、電信農業、工業  
 商業、勞働に於て、ニューゼランドは殆んど獨立自營にして、聯邦の援助を受

くる事更になし。且つニューゼランドの如き新興國に於ては、有力なる人物甚だ少なく、其少なき人物より議員を選擧して聯邦議會に出席せしめ、六ヶ月間本國より不在ならしむるは、國家の大才を活動の陣地より手離す所以にして、實際自國の不利を來たすものと謂はざる可からず。ニューゼランドは軍事上孤獨の位地に在るを以て、一朝有事の際は忽ち他國の侵畧を免れざるが如き觀あるも、彼等は本國政府の直接の保護を信じ、大英國の海上權今日の如く優勢なる限り、殊更に自國の艦隊を作り、國家の負擔を重からしむるは策の得たるものにあらずとなせり。且つニューゼランドが他強國の攻撃を受くる場合には、濠洲聯邦は自己利益の防衛上、必ず同族國の危難を救ふべき手段を取るに至るや必せり。若し之を以て利己主義政策となすものあらば、ニューゼランドは喜んで帝國海軍費の相當額を負擔し、戰時に於ては出來得る限り其軍費の幾分を支辨すべしと聲言せり。近年聯邦議會を通過したる保護關稅法は、ニューゼランドの大に不利とする所にして、由來數多の政治問題に於て各其意見を異にしたる聯邦洲は、關稅問

題に就て一致し、聯邦以外の國に對して保護關稅を制定したる事は、其貿易を多くシドニーに求むるニューゼランドに取りて大なる痛捧なるべし。然れどもニューサウスウェールズ洲には多數の自由貿易論者を有し、且つ大英國殖民政策の根本主義は、世界の殖民地を開放して各自の競争に委するにあるを以て、政局の變轉と共に保護關稅法は撤回せられ、再び自由貿易の利益を受くる時來るべし。

濠洲の政治家の心慮を惱ます所の第二の問題は、勞働問題なり。一方には廣漠たる平野、豊富なる鑛山を有し、勤勉なる勞働者の來て之が開拓を要すること最も大なるものあり。他方に支那移民の大群の手を空うして鑿利の原地を翹望するあり。濠洲は須らく其自然の利源を開き、人口過多に苦みつゝある國民に奉ずる所なかるべからず。然れども濠太利人は濠太利を以て白人の濠太利となし、有色人の入國を好まず、況や支那人の到る所に區界を作り、阿片窟を開き、賭博場を設け、醜劣汚惡の生活を敢てして恥ざるを見るや、外國移民中最も嫌惡すべきものとなし、極力其移住を拒めり。

濠太利の人口問題

日本人も亦決して濠太利人の所望するものにあらず。日本人は愛國心を有し時に氣概を現はし、雇主に對して絶対服従をなさざるものあるを以て、彼等の感情を害する事少なからず。然れどもクインスランドは既に記述したるが如く氣候甚だ暑くして白人の勞働に適せず、有色人の勞働を俟つて初めて開拓せらるべきものなり。故に支那人、日本人、印度人、ポリネシヤ人の此地にあるもの既に二万を以て數へらる。濠太利の排外熱は昔に有色人種に限るのみならず、同色人種の移住に於ても多少の制限を加へんと欲するものにして、近年其勞働派の提出せる一法案の如きは、英本國の監督者、或は新教の宣教師の入國さへも、契約の下に就職するを拒絶せんとしたることあり。

太平洋諸島勞働案は、免許移民に限りて入國を許すものにして、一九〇六年十二月三十一日以後其從來の契約を廢棄し、嚴に濠太利の全土より彼等の多數を送還せり。支那、日本の移民に對しては既に嚴格なる制限法規定せられ、同じく英國臣民の一部たる印度人に對しても、教育試験の方法を採

るに至れり。排外熱は南部諸洲に於て最も強く、北部クインスランドは反つて移民制限に苦しむものゝ如し。南部諸洲は白人勞働を主張し、北部は有色人勞働を拒まず。濠太利の政治意見の相違數多ある中に於て、勞働問題は確に聯邦洲の連合を危殆ならしむるものゝ一なり。濠太利の貿易は、五十年前までは僅かに九〇〇〇〇〇〇〇〇〇磅内外に過ぎざりしが、一八九九年に於て其額一六〇〇〇〇〇〇〇〇〇磅に増加し、其人口に比例すれば世界第一と稱せらるゝ所の白耳義の次に位するに至れり。濠洲の外國貿易中、最も大なる配分を有するものは大英國にして、獨逸、佛蘭西、白耳義、合衆國、順次其後に來る。英國の貿易は六千參百万磅にして、其他の諸國は總計二千五百萬磅なり。二十年前に於ては濠洲の歐羅巴貿易は殆んど全部大英國の掌握するものなりしが、其後漸次他の歐洲諸國との直接の商業的關係を生じて、年々其額を増加する傾向あり。輸入國の最も重要なるものは英帝國にして、總計三千万磅。合衆國は五百万磅。獨逸は二百万磅。佛蘭西及びニールカレドニヤは五十萬磅。其他白耳義、瑞典、爪哇、支那、日本南洋洲よりも

外國汽船交通

小額の輸入あり。輸出國も亦英帝國を第一となす。英本國に至るもの三千六百万磅。印度錫蘭に三百万磅。ケイプコロニーに百五十万磅。加奈陀、フィジー、香港に小額の輸出あり。外國輸出額は佛蘭西ニユーカレドニヤを合せて殆んど四百万磅。獨逸に二百万磅。白耳義に二百万磅。合衆國に三百万磅。其他伊太利、南海島諸洲、支那、日本等に至るもの若干なり。

外國汽船交通史上最も早きものは、一八八三年に起りたる佛國の「マザテームス」にして、獨逸の北ロイド會社は一八八七年より其濠洲航路を開始し、次いで其他の獨逸船は濠太利の綿羊輸出港とアントヘルプ、漢堡、タニカルク港を連接せり。其の後數年にして白耳義も亦此競争圈内に入り、濠歐の交通を助く。最近の競争者は日本郵船會社にして、日本の諸港より馬尼喇を経てシドニー、メルボルンに到るものなり。英國の關する定期船には、加奈陀、太平洋鐵道會社の毎月航路の汽船あり、英國、印度、新嘉坡、香港よりの航路あり、合衆國の定期船は毎月一回桑港、シドニー間を航行す。大船巨舶主義は近時海運史上の一大傾向なるが、殊に濠洲航路の船舶に於

て其然るを見る。濠洲の綿羊市場として最も重要なものは、印度、支那、日本、西比利西、滿洲、東部太平洋諸島にして、印度錫蘭との茶の貿易は近時大に増進せり。

支那、香港との貿易に於て輸入は六十万磅輸出は七十万磅なり。南太平洋諸島の貿易は重に「フィジー」と「ニューカレドニア」なるが、濠太利は其製造品を輸出し、南太平洋諸島は其原料を供給するものなり。然れども「ニューカレドニア」の交易は佛蘭西の禁止的關稅の施行あるが爲に漸次減少の傾向にあり。「ニューゼニヤ」の貿易は甚だ幼稚なるものにして、蘭領東印度及びボルネオとの通商に至りては殆んど皆無と云ふべきなり。綿羊は今尚ほ濠太利貿易の重要なものにして、「ニューサウスウヰールズ」は一千万磅、「ニューゼラニド」は四百万磅、「ヴィクトリア」及び「クインズランド」は各三百万磅以上を輸出す。今後パナマ運河の開通と共に、南北亞米利加と南太平洋諸島との連絡を近接し、其亞細亞方面に傾注せる貿易を更に亞米利加太平洋沿岸に擴張する時は、濠米の商業的關係益親密となり、濠洲聯邦の發



達刮目して見るべきものあるべし。

濠太利の開化と共に益々必要を感ずるものは其東海岸と西海岸を連絡する所の大陸横貫鐵道なり。此横貫鐵道の建設によりて最も利益を受くるものはサウスウエールズ洲のシドニー港にして、シドニーは世界有数の良港として、濠洲東海岸に於ける唯一の排出口たるべし。之に反し南濠太利のアデレード港は、西濠太利のバースよりシドニーに到る鐵道の布設と共に従來の南部航路の集中點たる價值を減じ、殆んど其存在の理由を失するに至るべし。斯の如く濠太利の横貫鐵道は、洲の利益關係上、各異なる意見を惹起し、且つ聯邦洲は聯邦政府に對し、其地を通過する鐵道布設に關する許否の權を有する時に於て、南濠太利は相當の損害賠償の條件なくして大陸横貫鐵道の建設を許諾するに至るやも知るべからず。横斷鐵道の建設上甚だ掛念すべきものは、給水の欠乏なるが、工事の困難は必ずしも打勝つ能はざるものにあらざるべし。大陸鐵道の眞の困難は政治的困難にして、今後此問題は移民問題と共に濠洲政治家の最も慎重なる研究を要する

ものなるべし。現時濠大陸の鐵道延長は一萬五千哩にして、ニューゼalandは二千三百哩を有し、年々急速の進歩をなしつつあり。

濠太利は他の大陸に連接する二個の海底電線を有す。東洋電信會社イースト・アジアン・ケーブル・カンパニーの企畫する所にして、一は印度洋を通じモリシマスロードリグイズ、キラン島を経て西部濠太利のフリマンデルに達するもの。他はフアニング島を経てヴァンクパーよりフイジイノルフオク島に至り、之れより分岐して二線となり、其の一線はクインズランドなるブリスベン附近のサウスポートに走り、他の一線はニュージランドのノールズアイランドの北端に至るものなり。此海底電線は世界の最長線にして、ヴァンクパーよりフアニング島まで三千六百哩、其最も深き所は三千二百尋と稱せらる。英國は既にニューゼaland、濠太利、印度、南亞弗利加、南亞米利加に數多の陸上電信を有す。之れに加奈陀の大陸線を加へ、前記の海底電線と連結する時は、倫敦、濠太利間の延長一萬五千哩となり、すべて同一郵便局の管理の下に來るものなり。英國は尙ほ進んで亞細亞、亞弗利加に分線を發し、通信機關をして益々完備

ならしめんとす。英國殖民政治の壯圖想ふべきなり。  
濠太利人は英人の一分派にして、現に英國統治の下にあり。然れども彼等は近時大に國民的自由を欲し、濠太利は濠太利人の濠太利にして、英國の濠太利にあらずと云ふ觀念を抱くもの益多きを見る。彼の本國に對して保護關稅を制定し、移民の制限を叫ぶが如き、則ち此徵候を例證するものなり。英國は世界の各地に殖民地を有すれども、其統治の組織は概ね其軌を一にせざるべからず。一部に厚くして一部を輕ろんずる如きは、當さに大殖民國の忌避すべき事なり。英國が常に濠太利の血氣の政論に適合せず、屢々其緩慢を非議する、如きは多く之に歸因するものなり。濠太利の最も顯著なる政策の一は、其聯邦國より有色人種を排斥し、同時に其附近の島國を併合すると云ふにあり。例へば新義尼亞の分割、フィジー島の干渉、ニエトヘブライデスの惡政に對する抗議の如きは、則ち此の精神を事實に現はしたるものなり。佛國のニエトヘブライデス及ニエカランドニヤの所領は、フィジー島の英國の治下に存して、これが策政の地位にある限り、必ずし

も軍略上緊要のものにあらざるべし。新義尼亞は軍略上緊要の地位なれども、獨逸の自ら其北部に局限し甚だしく聯邦の利益と衝突せざる限りは、濠太利は必ずしも異議を挟むものにあらず。然れども若し獨逸にして現在の地位に甘んぜず一朝太平洋の勢力を擴張して南太平洋上に海軍根據地の設定を企圖せんとするが如き事あらば、全濠洲は翕然として之に赴き、極力排斥の舉に出づべし。濠太利のモンロー主義は最早公然の秘密なり。其排外自主の政策は未だ國家的正章を帯びたるものにあらずと雖も、其精神の彼等の心底に潜伏せるは到底疑ふべからざる事實なり。英國は須らく此情勢を掛念し、豫め之に備ふる所なかるべからず。濠太利の如く延長せる海岸線を有する國家に於て、海防の緊要なるは更に架説するを要せず。其良港灣を有し石炭の供給充分なるは、海軍力の發達を助成せしむるものにして、若し新興國が其目的を達して覇權を南太平洋上に振ふ曉には、單に英帝國海軍の勢力に依頼するを以て足れりとせず、進んで自ら其防備の任に當らざるべからず。濠太利は既に此必要を感じ、自國海軍説の聲は最早

卓上の空論にあらずして、健實なる基礎の上に築かれつゝあるものゝ如し。濠太利の困難は、常に政治問題の紛糾に止まらず、其社會問題の解釋に於ては更に困難なるものあり。過去幾年來濠太利人口の出生率の漸次減少しつゝある事は、則ち其一なり。濠太利の如く自國人口の増加を欲し、他國移民の入國を欲せざる國に於て、斯の如き現象を呈出するは、殊に憂慮すべき事にして、之が原因に就ては學者の常に研究を怠らざる所なり。第一何人にも明瞭なる事實は、濠太利出生の白人の體格の纖弱蒼白なる事にして、氣候の乾燥と暑熱の高度とは甚しく人の神經を刺戟し、女子は一般に貧血にして早熟早衰の傾向あり。且つ近代の文明の複雑なる生活も、赤彼等身體の適當なる發達を害する一原因にして、人口稀少土地豊富なる濠太利に生活難神經過勞の如き不幸なき筈なれども、實際は然らず。濠太利の社會状態は歐米のそれと趣きを異にす。西歐の勞働者は、單に勞働者にして勞働者の生活を營むものなれども、彼等が一度濠太利の國土に入るや、俄に其地位を高め生活を改め社會上一段の權威を附與せらる。民主國の特長は

國家の權利を一般に保有するにあり。濠太利の社會階級は、西歐の如く甚だしからずと雖も、權利の生ずる所には必ず責任生ず。聯邦國の民人は何人も其責任を免るゝ能はず、彼等は高價の賃金を得れども、其生活程度は又之に隨伴せり。歐米に於て當前持來たざるゝ所の數多の惠福は、濠洲に於てはすべて刻苦勤勉の後に俟たざるべからず。刻苦勤勉なければ濠洲の生活は到底不可能なり。濠洲の富豪は歐洲に於ける同等の收入あるものよりも煩累多し。此煩累は女子に於て殊に甚だしく、勞働者に制限ある濠洲に於ては、家僕を得ること甚だ困難にして、富豪の妻女と雖も自然家事に忙はしく、躰質に不相應なる勞役に從事せざるべからず。濠洲婦人は自ら洒掃をなし、麵麩を焼き洗濯をなし、火慰斗を掛け、而して其疲勞したる身軀を提けて種々の社交的義務を盡す。彼等は朝夕手足と頭腦を過分に働かし、毫も生活に餘裕なきものなり。事情斯の如きものあるを以て、其兒童の教養自然等閑に附せられ、濠太利人の健康は益不良に陥るものあり。濠太利は其政治問題の適當なる解釋を要すると共に、其社會問題の困難を除去

すべき方法を講ぜざるべからず。

### 第八章 太平洋加奈陀

英領コロロンビヤの沿革—英領コロロンビヤの富源—山林—水産—鐵山—英領コロロンビヤの資本と労働—英領コロロンビヤの海運

英領コロロンビヤの發達上、其經路に横はれる幾多の困難を知るものは、寧ろ其迅速なる發達に一驚を喫するならん。約そ六十年前までは英領北亞米利加洲と稱せしものは、ノブアスコチャ、ブリンスエド、ウオルド島、ニユーブランズウィック及び上加奈陀の廣漠たる地方にして、是等の地方は僅かに其海岸と河畔に於てのみ人口を有し、相互の交通は單に夏は小蒸氣の便を藉り、冬は危難多き陸路によらざる可からざりしものにして、隣國との往來は殆んど絶無の姿なりき。オンタリオ湖の西方全部は、事實上ホドソン灣會社の手中にありて、金礦發見の當時までは此状態を持続たり。一八七一年加奈陀政廳は會社の權内に入り、其開拓を共にしたりと雖も、英領コロ

英領コロロンビヤの沿革

ンビヤが實際に加奈陀の分屬となり、英帝國の一部分を形成するに至りしは一八八五年彼の加奈陀太平洋鐵道の大陸横斷を竣成したる後の事なりき。

現今太平洋加奈陀の貿易額は年々殆んど八〇〇〇〇〇〇〇〇磅に達す。製造工業は急速の進歩をなし、農業は漸次改良せられ、材木食料の輸出せらるゝもの亦頗る大なり。若し太平洋の發展と共に、英國資本の流入益々自由となる曉は、無限の富源は優に列國の視聽を動かすに足るものあるべし。太平洋加奈陀の探險は、一七七八年キャプテン・コック氏が太平洋に至る西航路の發見を企圖したる時に始まりしものにして、其探險は彼が船舶の修繕中不幸にも布哇に於て殺害せられたるの故を以て、中途廢絶するの已むなきに至りたりと雖も、其報告は後繼者の再興を促し、支那に於ける或英商人をして、アラスカ及び一般太平洋沿岸との毛皮貿易を開始せしめたり。是よりして英人の此等絶海洲に冒險を試みるもの漸く多く、ポストンの貿易商が二雙の商船を醸して此方面に到着せし時は、英人ミトレンなる人既

にヴァンクローバー島のヌートカ灣に倉庫を建て、船舶を有し居たるを發見せり。一七八八年には倫敦に毛皮貿易會社設立せられ、北太平洋沿岸の貿易益隆盛に趨けり。當時西班牙は北部アラスカの露領に至る沿岸一帯の所有權を主張せしを以て、英國の行爲を快とせず。即ち二隻の軍艦を遣はしヌートカ灣を攻撃し、ミールズの船舶と家屋とを横收せり。然れども英西戦争は開始せられず。一七九五年エスキュラル條約により英國の主權確認せられ、西班牙の國旗は撤去せられて英國々旗は其代はりに樹立せられ、ヌートカ灣回收の爲め派遣せられたるキャプテン、ヴァンクローバー其地に己の名を附し、更に附近の沿岸を探險せり。英領コロンビヤの發見は、晉に西方水路よりなされたるのみならず、數多の勇敢なる探險者は漸次大陸の東方より侵入し、各地に寨邑を設立せり。モントレールの西北貿易會社は殊に進んで此開拓の任に當れり。一七九三年マッケンゼイ氏は遂に分水嶺を横斷して探險の事業大に進捗せり。一八四三年會社と合衆國との間に國境に關する紛議生じ、會社は遂にヴァンクローバーを抛棄し、別にヴ

イクトリヤ港を建設せり。其後數年にして英船初めて此地に來り、新開港との貿易を開始せり。是より先き西北會社は全くホドソン灣會社に併合せられ、ホドソン灣會社代つてコロンビヤの主權を掌握し、其平和事業の開拓を計れり。

カリフォルニアの金鑛發見は忽にして東部諸州の移民を吸收し、而して其移民の餘勢は更に進んで英領コロンビヤに侵入し來れり。フレージャーの利源は益太平洋沿岸に多勢の移民を引寄せ、太平洋加奈陀の事情日に新なるものありき。

カリフォルニア金鑛より更にコロンビヤに轉來したる白人は、概して同輩より排斥せられたる者なりしが、由來英領コロンビヤ洲は、法律制度着實に行はれ、容易に違法者の跋扈を許さざりしを以て、カリフォルニアの如く、亂暴不秩序の行跡なく、國內常に平安を保ちたり。人口の急増はホドソン灣會社に附與したる特權を回收し、別に英領コロンビヤ及びヴァンクローバー島の二個の殖民地を建設せり。加奈陀太平洋洲の初代の總督は、單は一

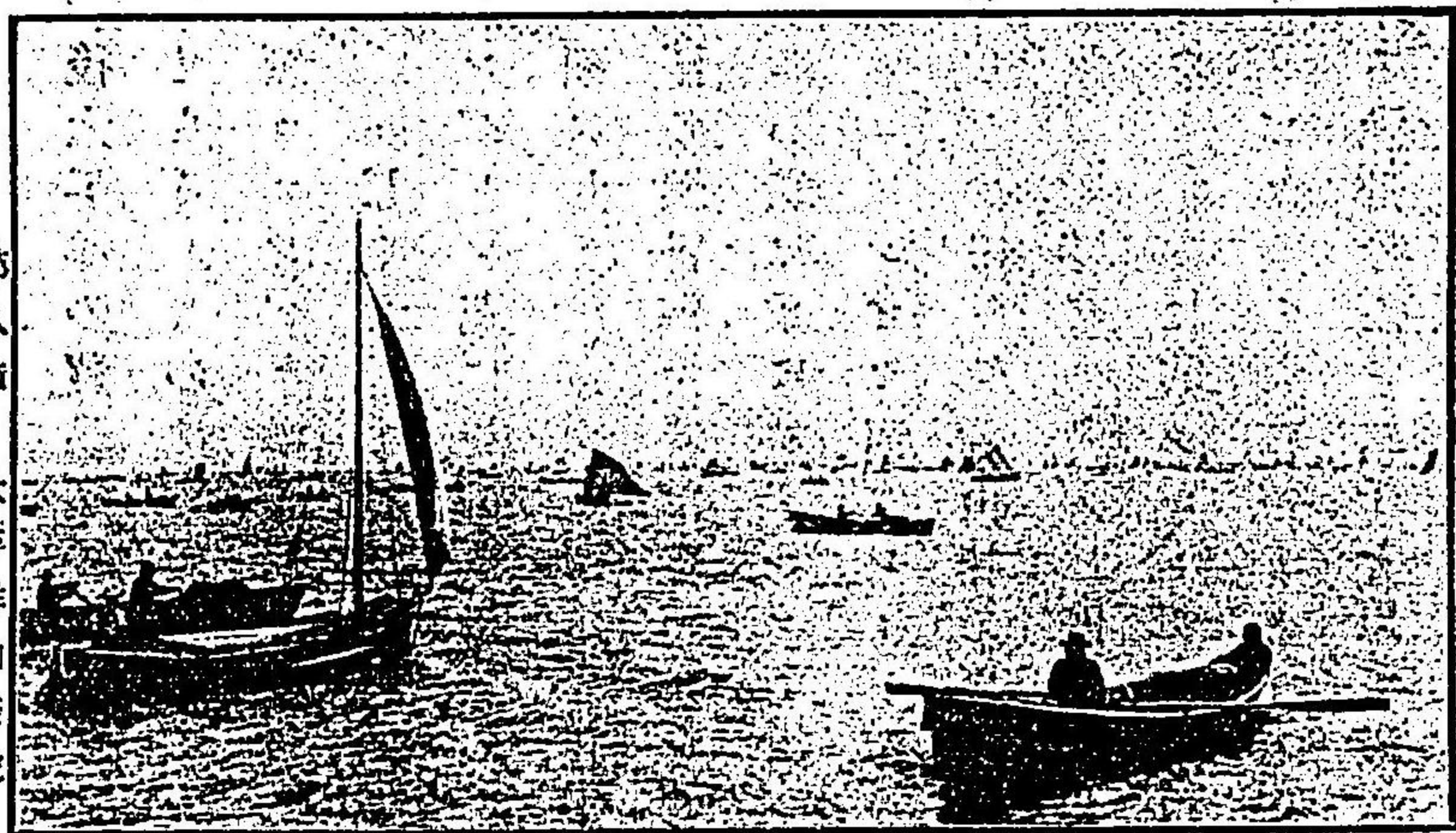
千エーカーの土地の給與を得るのみにして、別に一定の俸給なく、而して國の實際の統治權はドクラス會社の手中にありしを以て、彼は能く其任務を盡し能はず。遂に辭任の止むなきに至れり。ドクラス氏其後を承け、ヴァンクーパー、コロンビア二洲の總督となる。ドクラス氏退任の後、二殖民地は漸く別々の政廳を設置したりしが、一八六六年英領コロンビア洲の名義の下に再び聯合し、其後五年にしてドミニオン・オブ・カナダの一分族となれり。

英領コロン  
ビアの富源

英領コロンビアと稱する廣大なる地方は面積三八二、〇〇〇平方哩、殆んど一千哩に亘る沿岸を有し、其自然の良港豐饒なる土地山林水産鑛山は無限の富を産出し、太平洋の斜面に位するが故に直ちに露領西比利亞、滿洲、日本、北清、更に濠太利、ニューゼランド、其他の太平洋諸島と交通の便あり。英領コロンビアは國家開進の動力として最も必要なる鐵石炭を有し、農林の業、鮭魚の利は殆んど豫測すべからざるものあり。唯其窮乏を感ずるものは資本と勞働にして、若今後國運發展の結果資力益裕かとなり、勞働の供給

充分なる時は、其國業の發展、實に合衆國若しくは濠太利の次に比肩すべきものあるべし。英領コロンビアは亦自然の大公園なり。其松林を以て蔽はれたる紫黒の海岸、白雲を頂く連山、無數の島嶼、清明なる浦曲、幽谿深山等、旅行者の探勝に價するもの甚だ多し。海岸の氣候は、一般にロッキイ山の東部よりも溫暖にして、北部に進むに隨ひ寒氣漸く加はると雖も、之と同緯度に位する歐羅巴諸國の如く甚だしからず。英領コロンビアは北米大陸中樹林の最も密生する地方と稱せられ、其全面積の四分の三は實に鬱然たる山林なり。現時其木材の輸出先は、重に英國、支那、濠太利にして、運輸交通の便開くると共に漸次其産額を増大し、販路益々擴張せらるべし。鑛業は甚だ幼稚なれども、將來の發展は豫測するに難からず。國中も西北に走る四山脈は數多の鑛物を有し、ロッキイ山の西部の谿谷は金鑛に富み、共に國の重要産物を形成するものなり。然れども現時採掘せられつゝある鑛山は僅に鐵道に接近する一小部分に過ぎず、大部分は資本と勞力充實せる後に俟つべきものなり。曾て移民の大群を招致したるユコン地方の金

鑛は豫期に反し産額甚だ少なく、資本に對する相當利益を得る能はずと稱す。雖も、而も尙ほ一九〇〇年ユロコン及び西北地方に於て二二、〇〇〇、〇〇〇弗、英領コロンビヤに於て五、〇〇〇、〇〇〇弗に近き金塊を産出せり。一八五八年フレザー河口の砂金發見を初めとし、次に同河流の上方キヤリポト地方の金砂の大發見となり、當時漸く衰微し來りたるカリフォルニア金鑛地に幾千百の坑夫を呼寄せ、一〇、〇〇〇、〇〇〇弗に餘る金塊を採得せり。一八九九年、更にアトリンの金砂を發見し、キヤリポト、ユロコンと共に英領コロンビヤの三大金砂地の一と稱せらる。近年鶴嘴鋤犁駄馬等の力によりたる舊式の採掘法は水力蒸汽力の近代的採掘法に代はり、會社は其資本の許す範圍に於て出來得る限りの改良を施しつゝあり。尙ほ斯の如く、英領コロンビヤの鑛業の採掘の一方に偏して、金鑛事業の疎んぜらるゝは全く資本と勞力の欠乏に歸因するものにして、金砂事業に相當の利益を見る間は、内地鑛山の開掘は容易に發展せざるべし。加奈陀太平洋鐵道既に開設せられ、大陸貫通の大動脈活動し來りしより、其支脈分線は漸く内地僻遠



英領コロンビヤのザレー河口の漁船

の地に到り、金鑛其他貴金屬の開掘少しく進歩したりと雖も、尙ほ其行動甚だ緩慢なり。一九〇〇年金鑛の産出額は僅かに二、〇〇〇、〇〇〇磅なり。要するに英領コロンビヤの鑛山事業は、現時尙ほ改良の途にあり。政府も亦從來の鑛業税一割を半割に減じ、大に斯業の發達を助成しつゝあるものゝ如し。一九〇〇年鑛物の産出總額は約三、二〇〇、〇〇〇磅なり。現今英領コロンビヤの繁榮は重に貴金屬の存在に源因するものなれども、其他の普通鑛物の富源も亦甚だ少なからず。就中最も重要なものは石炭なり。

今後太平洋の貿易益發展して大船巨舶の往來益頻繁なる時に於て、最も需用せらるゝものは石炭なり。大英國は其海上の既得商權を保持する爲め當然コロンビアの石炭に着目し、其産出をして益増大ならしむべきは明なり。同じく太平洋斜面にありて、合衆國の寶庫と稱せらるゝオレゴン州、ワシントン州に於ても、少量の石炭の産出ありと雖も、英領コロンビア産の多額にして純良なるものに比肩すべくもあらず。太平洋カナダは、遂に太平洋の燃料供給者たる運命を有するものなり。現時採掘さるゝコロンビアの石炭は、重にヴァンクーバー島及びロッキイ山の西部にあるものなれども、コロンビア河、フレージャー河一帶の地に存するもの亦甚だ大なり。コロンビアは唯だ礦物山林の自然の富を以て潤澤さるゝのみならず、其沿岸に寄集する夥多の魚類は、既に世界漁業家の甚大なる注意を惹きつゝあるものなり。殊に其フレージャー河口に於て漁獲する鮭魚の純味に至つては、コロンビア人の大に誇りとする所にして、年々其漁獲期に於て、其河口に群集する漁舟殆んど二千を以て數ふべし。遠洋漁業も亦相當の發達をなし、最

近の統計上其海産物の總額五、〇〇〇、〇〇〇磅、漁夫の數二萬に達せり。

英領コロンビアの農業は、其合衆國の隣洲の發達に比肩する能はず。其荒蕪たる土地を有し、氣候の之に順適するものあるにも拘はらず、オレゴン州、ワシントン州に比し、進歩の甚だ遅々たるは、全く開墾の困難に由るものにして、富裕なる資本を有するものにあざれば、其荒蕪地を開き灌漑の設備をなし能はざるべし。尙ほ鐵道の便開けざるを以て其産出の穀類を市場に輸送する能はず。結局多くの損失を招くに至るべし。歐洲の移民は常にロッキイ山東部の平野に集まり、其山麓まで侵入するものは甚だ稀なり。ロッキイ山西部は、氣候順適なる地方と雖も、本國よりの距離甚だ隔絶するの故を以て、容易に移民を吸收する能はず。畢竟コロンビアの農業問題は運輸交通の問題なり。今後巨大の資本を以て國の縦横に道路鐵道の建設あるにあらざれば、其繁榮は到底期望するも無益なるべし。英領コロンビアの海上交通は、陸上交通の遅々たるに反して、急速の進歩をなしつゝあり。加奈陀太平洋鐵道會社は、毎月一回晚香坡、日本、支那に通

英領コロン  
ビアの海運



ずる定期船を發す。日本郵船會社の米國航路は晚香坡に寄航す。支那外布哇美海峽を経て濠太利のズリス、スエズ、シベリアに至る定期航路有。蘇方運河の開通は太平洋と大西洋との連絡を近縮し世界の貿易に革命的影響を及ぼすものなりとせば、太平洋沿岸にありて前記の如き天然の富源を有するコロンビヤは必ずや其甚大なる恩恵を蒙らずんばあるべからず。若し夫れコロンビヤ人が世界進運の大勢に督促せられ、國內の鐵道を延長するに於ては、其一線はアマゾン河を渡り、アラスカに入り、白令海峽を横ぎ、露領西北利亞に達する一太幹線を建造するに至るべきは、決して書生の空想のみならずるべし。ボアノクローバ島にあるサイクロトピア市、本土にあるニエリウエストミンス、タト市は英領コロンビヤの二大都會にして、蕭洒たる市街を有す。學校、教會、官衙、旅館等の建築に亦見るべきものあり。教育の普及はコロンビヤ人の誇りとす。所にして、六才より十六才に至る兒童十五人以上を有する地方は必ず學校を設け、正教員を聘用す。英領コロンビヤは良港灣に富み、其晚香坡のある所のニスケモノルト港の

如きは自然の良港にして、英國は此地に海軍港を置き、乾船渠、石炭積場、艦船擊留場を築けり。要之に英領コロンビヤは莫大なる自然の富を有し、前方は太平洋を経て直ちに日本支那、滿洲に臨み、左方パシフィック、オレゴン、カリフォルニアの新興諸洲に接し、右方アマゾン河畔の渺茫たる未開地に隣し、而して後方には英帝國殖民樹の一大分枝を形成せるカナダ大洲を控へ、未來の太平洋の活動舞臺に顯著なる役割を演出すべき運命は明かに表現されたり。

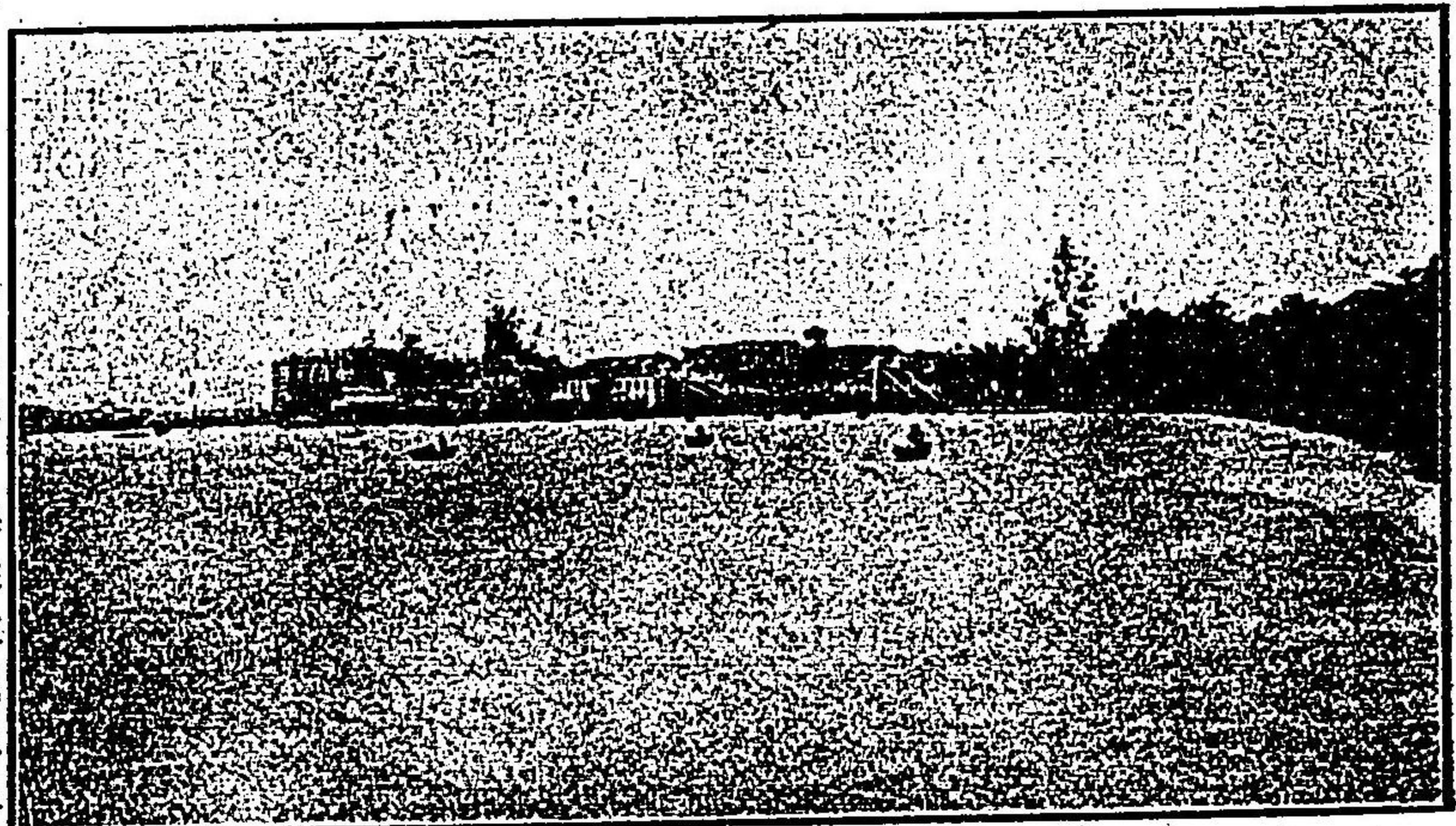
### 第九章 海峽殖民地及香港

海峽殖民地の沿革——新嘉坡——英國の施政——貿易——新嘉坡に於ける支那人の地位——東南亞細亞に於ける海運——香港——香港及其貿易——香港政廳

第十六世紀の末葉に於て英國は印度カレカッタに東印度會社を設立し、其後二年にして和蘭も亦英國の翌に倣ひ、爪哇ジャバダの地は和蘭東印度會社を開始してより二百年間、東南亞細亞海は英蘭兩國の權力爭奪の地

シンガポール

となりしが、ナポレオン戦争の結果英國は其一時所領したる爪哇スマトラを和蘭に返附し、和蘭はマラッカを英國に讓與し、兩國各其地に據りて平和的開拓を續行し、以て今日に至りたるものなり。海峽殖民地はベナン、シンガポール、ウヰモレスレイ、洲マラッカ地方、其他僅少の島嶼より成立し、印度洋と支那海との中樞に當り、英國貿易の發展上最も緊要なる地を占む。シンガポールは一八一九年スタンフォードラッズ、ルズ卿の希望により英國の所有したるものにして、香港と共に東洋貿易の二大要港なり。シンガポールとは梵語にて獅子の都と云ふ意を有す。曾て爪哇人の此地に移住を企てし際、土人の爲めに撃退せられたる所と稱せらるれども、英人の初めて此地を專領せし時は僅少の馬來漁夫と海賊の居住せる一寒村に過ぎずして、獅子の都てふ威名の形跡は一も見る能はざりしと云ふ。シンガポールは熱帯圈内に位し、暑熱強烈なるべき筈なれども、雨量の濕潤可なるものあるを以て氣候恰も水を澆ぎたる溫室に在るが如き感あり。シンガポールは香港の如く島上にあり。然れども香港は傾斜急なる山腹に位し、シンガポ



第九章 海峽殖民地及香港

ルは四邊廣潤なる低地に存す。冬夏殆んど寒暖の差なく、叢林常に鬱蒼として、果實の成熟四時絶ゆる事なし。市の一端にありて僅かに景色の單調を破るものはブーキットヒルと稱する小丘にして、シンガポール人は常に此地に行き清涼なる海風に浴す。シンガポールは歐洲風の建築物を以て充され、ホテル、クラブ、銀行、商店の結構見るべき物多し。最も人目を惹くものは其廓外に散布する所の風流なる邸宅にして、綠蔭深き道路の傍に廣潤なる地面を有し、芝生を植え、花園を作り、空氣清淨、樹香芬々、眞に旅情を一新するに足る。シンガポールの

人口の大部分を形成するものは支那人にして、馬來人、印度人、其他の東洋人を含有す。歐羅巴人は總人口二十有餘萬の中僅かに八千を有するのみなり。支那人はシンガポールの有ゆる階級に亘りて勢力をなし、細長き豚尾を頭上に巻き、垢染たるパッチを穿ち、半裸體にて車を挽き、舟を漕ぎ、荷物を運ぶ苦力あれば、華麗なる馬車に乗り、輕快なる白服を着け、麥藁帽子を戴き、悠然市中を乗り行く紳士あり。市街に至る所に見る人力車夫はすべて支那人にして常に饅頭笠を被り、碧色の股引を穿てり。背高く、色黒く、眼光の輝く人種は印度人にして、彼等は白モスリンの駝服を着け、濃色の纏布を頭に巻き、婦人は紫、綠、黄の壁太き衣裳を着け、其首腕腫に金銀の鐙を掛けたり。目元大にして顔太とく、橄欖色の皮膚を有するものはシンガレス人にして、彼等は常に馬來族の如く寛濶なる白の腰袴を着す。鶯色の瘠形の毛髮薄く、緩漫なる種族は馬來人にして、常に縞の腰纏を着く。其他重に葡萄牙人より分派せる歐亞雜種あり、英米人あり、獨佛人あり、日本人あり、アルメニア人あり、アラビヤ人あり。シンガポールは實に世界人種の集合所を形成するものなり。

## 英國の施政

るものなり。

英國はシンガポールを以て馬來聯邦の一大貿易港となすと同時に、港内の防備を固くし、不時の變亂に備ふ。堡砦の建造は殖民地之を負擔し、銃砲の布設は英帝國之をなす。海峡殖民地の官吏は、錫蘭、香港の如く海峡殖民地文官任用例に據りて採用せらるるものにして、其候補者は一般人民に開放せられたる競争試験を以て選定せらる。シンガポールには土民兵と英國士官を以て成る一大隊の守備軍と、砲兵、海軍工兵の一隊あり。警察隊は二千の土民、巡查、三十人の英國士官より成るものにて、常に武器を携帯す。南阿戰爭以前此地に駐屯する守備隊は一聯隊の英兵なりしが、ポリア人の強硬なる反亂と北清事件の發生が動機となり、英兵に代ふるに土民兵を以てし、大に其兵員を増大せり。海峡殖民地の貿易は年々進展し、一八九九年に於て其輸入額二千八百萬磅、輸出額二千四百萬磅に達せり。此外シンガポールは世界最大の錫製造所を有し、一八九九年三、五、六、七噸の錫塊は正錫に鑄造せられたり。近年バインナップルの鑛詰製造大に發達し、歐羅巴漆

## 貿易

太利の市場に入込むバイナツプルは多く此地より輸送せらる。シンガポ  
ールは世界最大の船舶の出入する港灣の一にして、年々七百萬噸以上の貨  
物の出入あり。斯の如く、シンガポールの貿易額の莫大なる所以は、其港灣  
を開放して其輸出入品に對し何等の關稅を課せざると共に、交通機關年々  
發展し行く他の馬來諸州に密接なる連絡を保つに由るものなり。馬來諸  
洲の貿易額は一九〇〇年に於て殆んど一千萬磅に達し、錫の輸出は其大部  
分を占め、輸入品は概して地方用の雜貨なり。歳入は二十六ヶ年に於て十  
萬磅より百五十萬磅に達せり。

英國の馬來半島の統治權獲得に至る初歩は當時サイアム港灣の貿易に  
従事したりし英國商船の持主がベンガル灣以東に於て英國貿易場の設立  
を希望せしに基くものにして、東印度會社は年々幾何の價金を其地方の領  
主たる會長に支拂ひ、ベナンの無人島を購買し、プリンストウエアール島  
と命名せり。此英國の貿易商人は其後ちベナンの總督に任せられ、死に至  
るまで其職にありき。ベナン島の一度英國の所領となるや、人口忽ち増加

英國の馬來  
半島獲得に  
至る由來

し、繁榮の度日に加はる。一八〇〇年英國は更にベナン島に面する陸地の  
一部を購買し、ウエンスレイ國と命名せり。一八二四年、一百五十四年間和  
蘭に屬して佛蘭西革命戰爭の際一時英國の手中に入りしも再び和蘭に返  
附したるマラッカ港は、スマタラのベンクレンと交換せられ、一八六七年當  
時印度政府の下にありたる馬來保護洲は、別に委託殖民地となり、近代的革  
新上一紀元を劃成せり。他の半島諸洲は依然土人の會長の下にありし  
が、其暴逆不法不斷の爭鬪は漸く其土民の倦惡する所となり、ベナン、マラッ  
カ、シンガポールの日に繁榮に赴くを望見し、遂に一八七四年、土民の多くは  
英國に訴へて其洲内の平和樹立策を求めたり。英國は此訴願を聽許し、各  
洲に統監を遣はし、施政の顧問たらしめたり。一八七五年ベラク洲に暴徒  
起り、統監の殺害となる。是に於て英軍直ちに其地に赴き、之が鎮撫に任せ  
り。是よりして半島の事情日に進歩し、各洲英國の善政に歸依し、一八九五  
年馬來聯邦の大合同を形成するに至れり。英國の保護の下に馬來諸洲の  
秩序恢復せられ、生命財産の安全を保障せらるゝに及んで、支那人は踵を繼

いて到り、英國も亦彼等の入國を拒まず、彼等を使用して鑛山の開掘をなし、道路鐵道の開通を計り、國內一般の平和的發達を促致せり。今や馬來聯邦は冥蒙なる半野蠻的境涯を脱し、着實に開明進歩の域に進みつゝあり。斯の如く馬來聯邦の統治に顯著なる成績を得るに至りたるは、英國の施政方針が全く其他の事情に適應したるに由るものにして、英國は最初より土民則ち馬來人支那人の事情に通曉したる官吏を採用し、可成其風俗習慣、殊に回教に關する風儀信念の干渉を避け、移民を奨励し、資本を投入し、道路鐵道を拓き、生命財産の安固を保障し、酒類鴉片を除き、其他總ての輸入品の關稅を廢し、一般商工業の發達を計り來れり。嘗にシンガポールのみならず、其他一般の東洋殖民地に於て、常に英國爲政者の深大なる注意を拂ひつゝあるものゝ一は、逐年膨脹する所の支那人の勢力にして、シンガポールに於て支那紳士の二頭馬車に便乗し、悠悠街頭を馳せ行くを見るは、寧ろ普通の事にして、彼等は多く莊麗なる邸宅を有し、盛大なる店舗の主人となり、豪奢なる生活を營むものなり。且つ通常支那町と稱する所の支那人居留地は年

シンガポールに於ける支那人の地位

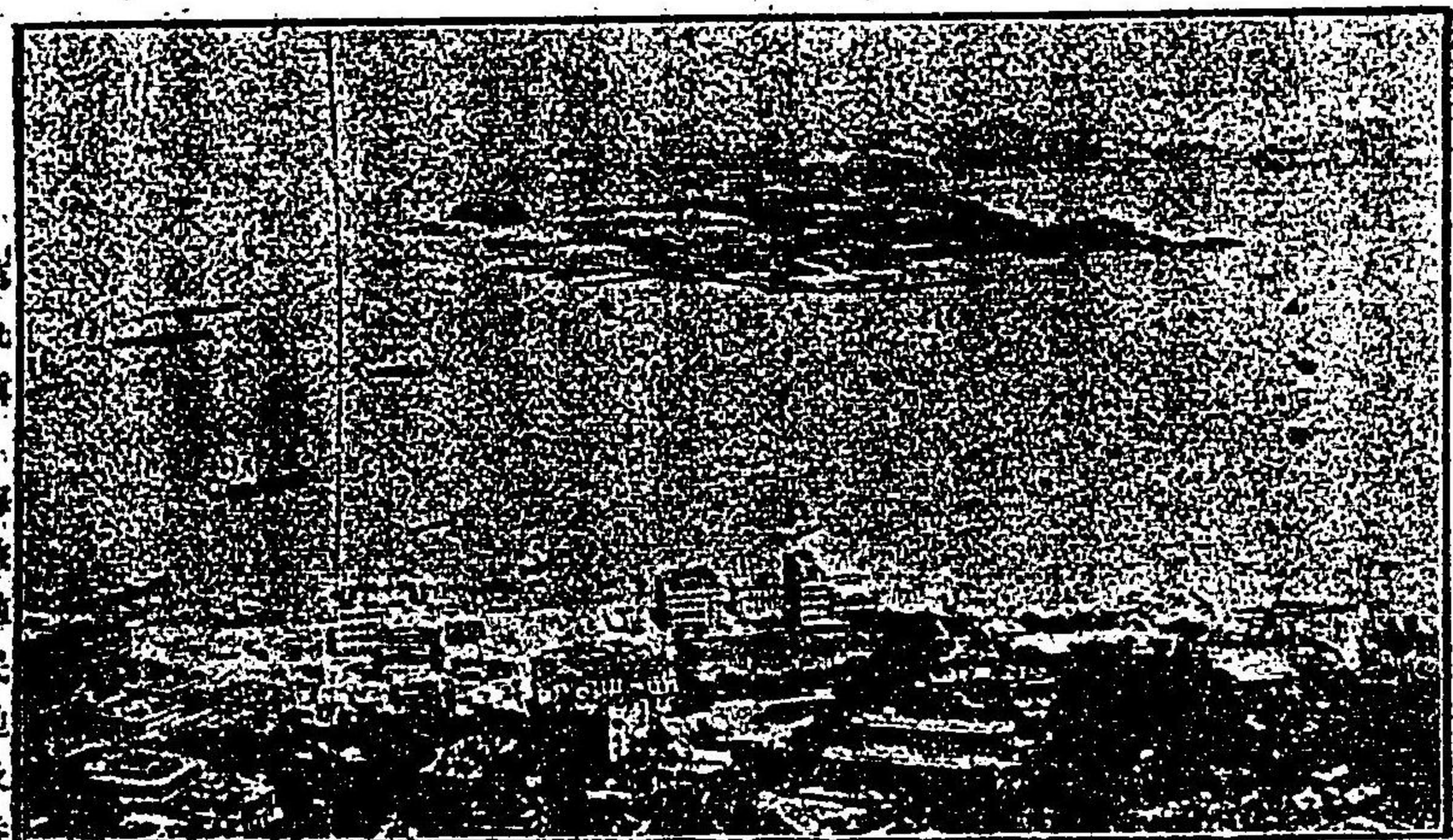
々擴大し、今や其都會の大部分を占有するに至れり。シンガポールは英國の委托殖民地にして、社會上如何に彼等の勢力の増大することあるも、政治に容喙するを許さずと稱すと雖も、一部の支那人中には多少の政權を主張し、社會的階級を求め、婦人兒童の自由を叫ぶものあるは事實なり。之に反し、英人はシンガポールを以て永住のホームとなす能はず、其氣候の單調無味なるは彼等をして機會あらは去つて健康地に離れ、快適の生活を送らんとする希望を棄る能はざらしむ。要するにシンガポールの英人は池中の龜なり。時々水を離れ、其甲殻を日光に乾かす必要あり。支那人は鮒なり。其水中に於て満足し、年々益々繁殖しつゝあり。

第二の現象は、東洋一般、殊にシンガポールに生じたる海運業の變遷なり。曾て英本國の手中にありたる馬來諸島の航海權は、今は多く獨逸船舶の權内に入り、シンガポール、マニラ、北ボルネオ、ヒリッピン間の航路は總て北獨逸ロイド會社の掌握する所となれり。獨逸の會社は近年又シンガポールとバンコック間の海運を其掌中に收めたり。斯の如く近頃まで英國船の

東南アジアに於ける海運

獨專し來りし航路が漸次獨逸の爲め奪取せらるゝに至りたるは、英國會社の船舶多く舊式にして、近代的設備を欠き、殊にピーオー會社の固陋偏執にして、屢々旅客の不快を招くものあるに際し、獨逸會社は新に華麗なる船舶を建造し、旅客の利便に深く注意を拂ひつゝあるを以て、人氣は自然之に赴き、英國の大官に至るまで自國の船舶を棄て、外國船に便乗するに至れり。英國の競争者は唯に獨逸國のみならず、佛國のメッサセリス汽船會社も此間に起りて多少の競争を繼續せり。然れども此は著しき成功を得たるものにあらず。我日本郵船會社の競争も亦重要なものにして、其美麗なる船舶と安價なる運賃は多く旅客と貨物を吸収し、年と共に益々繁榮に向ひつゝあり。抑も自國領土の通商貿易に、他國船の優越を許すは、其當前の利益を侵害するゝ以所にして、英國の本意にあらざるべし。然れども畢竟之れシンガポールの英商の屢々現在の利益を事とし、遠く大局の發展を顧みざるの致す所にして、官憲と商人側との一致を欠く間は、種々の點に於て不利を見るは、到底免る能はざる事なるべし。

香港



第九章 海峽殖民地及香港

香港

香港は一八四二年南京條約により清國の英國に讓與せる一小島にして、再來英人の剛厲不屈の精神を一貫して今日の隆盛を致したるものなり。香港は所謂人類精力の凝塊と稱すべきものにして、其峻坂の穢尺寸地の空地を利用して建設せられたる市街、崛起參差たる岩石を開きたる幾條の道路は、眞に人類技工の威力を表現するものなり。近時其對岸に於て獲得したるコーランの地は、更に香港の膨脹を助成するものにして、其廣大なる地面には數多の文明的工事既に開設せられ、或は開設せられつゝあり。香

港は數多の莊麗なる建築物を有し、學校、病院、教會、銀行、旅館、俱樂部、電燈、新聞、毫も歐米の大都會に譲る所なし。市の大部を專有する所の支那町は、其銀具、黒木細工、骨董品を以て知られ、多く横丁に開店する、花市には百合、薇、薔薇、水仙、其他珍花、奇草を列べ、華客の來つて購求するを俟つ。また香港名物の一なり。香港の家屋殊に山嶺にあるものは多く英國風の建物にして、大抵居留外人の邸宅なり。香港の欠點の一は其氣候潤濕なる事にして、山嶺住民は屢々數日間濃霧に包まれ、室内の需物は總て綠黴を以て蔽はれ、或は春時尙ほ寒冷にして屢々暖爐を要する事あり。然れども此香港の寒暖の變化は、寧ろ人身を刺戟し、シンガポールの如く單調無味ならず、反つて住民の健康に益するものなり。香港の今日の隆昌を致したるものは勿論英人の遠大なる企業心に歸因するものなれども、其開設の當初數年間は決して思はず、排水工事を施し、樹木を植附け、幾分風土病の根原を退治するに至るまでは、歐羅巴人の移住を以て危険と思惟せられたり。況んや最初此地に移住

し來りたる支那人は、多く社會の秩序を紊亂したる浮浪の徒にして、英政府は屢々其政令を變改し、一八四六年經費の非常なる巨額に達したるに拘はらず、其成績の見るべきものなきを以て、時の殖民大臣グレイ卿は、香港の存在を以て徒に英國の歳出を増し、利益の之に相應せざるものとなしければ、全く之を棄却せんと欲したる程なりき。然れども香港開設の重要な目的は支那貿易の關鍵を掌握するにあり。而して其淡東に近接するは其目的を達するに最も適當の地域と思惟せられたるを以て、英國は容易に之を棄却せず。慰撫政策に代ふるに高壓政治を以てし、漸次其弊害を除去し、事業興り、疫病減じ、上流支那人の移住するもの次第に其數を増すに至りぬ。尙ほ香港の今日あるは其地位の輻湊的なる、港灣の優秀なるに由るものにして、輸出入品に對し關稅を附せざる政策は又大に其隆昌を助長するに力ありたりと思惟せらる。香港は唯に盛大なる貿易場たるのみならず、英國は此地を以て極東及西部太平洋上の海軍根據地となし、絶えず防備を堅固にしつゝあり。

香港の貿易額は、其通過貨物を除き、年々二千二百萬磅に達し、其噸數は八百萬噸以上となり、貿易上實に世界に冠たるものなり。然れども亞米利加の比律賓を領し且つ支那改革の動搖多くして其開進の先鋒北清に移りたる今日、香港の濠太利馬來群島間の貿易の中心たる價値は漸次減少し、將來唯だ南清貿易の吞吐口たる地位を以て満足する時期到達するなきを保すべからず。

香港政廳は總督、行政府、立法府を以て組織す。總督は英國皇帝の任命にして、五年間其職にあり。行政府は六名の官吏議員と、二名の官吏以外の議員より成立し、總督之に長となる。六名の官吏議員の中五名は、現任官職に附帶するものにして、則ち軍司令官、裁判長、殖民書記官、〇〇長官、殖民財務官なり。第六の官吏議員は港務長官にして、別に任命せらる。二名の官吏以外の議員は殖民大臣の上申によりて皇帝之を任命す。立法府は七名の官吏議員と六名の官吏以外の議員より成立し、總督之に長となる。官吏議員の五名は同時に行政府の議員たるものにして、他の二名は別に任命せらる。

官吏以外の議員の中一名は香港商業會議所員、一名は香港殖民治安部員之に任ず。他の四名は皇帝の任命に關するものにして、其中一名以上は支那人を含有するを要す。立法府議員の任期は六ヶ年とす。

香港は摸範殖民地の稱あり。其僅少なる白人爲政者の一團を以て、本國より遠く隔絶せる一小島に占據し、幾千萬の支那人に接し、能く其威權を伸張し、秩序を保持するは、共に諸外國人の嘆稱する所なり。香港の人口は六兆三十萬人にして、白人は守備隊に屬するものを除き僅かに八千餘人に過ぎず。

香港は委托殖民地にして、自治殖民地にあらず。然れども英國は此地に許すに數多の自由を以てし、學校を設け、警察を寛にし、其他實際自治殖民地の有する數多の惠福を附與せり。徒らに字義名分の未だ拘泥せず、民情を察し、時宜に應じ、適當なる政法を行ふは、英國の英國たる以所にして、蓋し殖民國の成功は一に此間の機微なる操縦如何に由るものと知るべし。



### 第十章 英領北ボルネオ

地勢—ジエームスプローク氏—ブルニイ—ラプファン—北ボルネオ殖民會社  
—ボルネオの土人—ボルネオに於ける支那人及歐米人—サンダーカン—  
貿易

地勢

ボルネオはニューギニヤに次ぐ世界の大島國にして、亞細亞東南海諸港と濠太利の北海岸諸港との中間に位し、其太平洋に面する沿岸には無數の小島を有し、北方比律賓群島に連なり、南方蘭領印度の最も豊饒なる地方に接し、商業上軍事上甚だ重要な地位にあるを以て、太平洋殖民熱勃興の時代に於て既に強國の有に歸すべき筈なりしも、實際は然らず、唯だ英國及び和蘭國のみ僅かに其南方に於て小貿易を營み、小工場を設立したるに過ぎず、政治的權能の如きは毫も之を獲得したる事なかりしなり。然るに彼等の屢々土人の爲めに苦しめられ或は追放せらるゝに及んで、和蘭はバンジャーマツシンの酋長との條約により南方の一小角地の割讓を受け、漸次其全部及び中部ボルネオを所領するに至りたり。英國のボルネオ島に政治

英國和蘭

ゼームス、  
ノローク

的權力を有するに至りしは一八四六年の事にして、此年始めてラプアンの政治に干渉し、委任殖民地を形成せり。現時英國北ボルネオ會社之が統治權を獲取し、英帝國の指揮の下に其開拓に従事せり。ボルネオは唯に地理的形勝を保有するのみならず、尙ほ礦物の天富を有す。金礦はボルネオに於て最も多く發見せらるゝものにして、ダイヤモンド、石油、石炭等の亦所々に産出するを見る。山林も亦豊富にして、烟草栽培に適する農作地甚だ廣大なり。ボルネオが英國の治下に來りたるは、曾て英人ゼームスプローク氏の此地を旅行したるに起因するものにして、同氏は健康恢復の爲め東洋諸國を漫遊中種々の事情によりて西部ボルネオの蠻地に進入せり。當時ボルネオは馬來官吏の暴政に苦しめられ、ヒツガフエツタの建設したる文明は漸次傾頽し、海賊は沿海に出没して絶えず良民を惱ましたり。然れども由來團結力に乏しき馬來人は互に相呼應して其危難を免るゝ事をなさず。暴戾日に甚だしきものありしかば、ゼームスプローク氏は痛く此亡狀を察し、進んでサラワク洲に移住し、平和の恢復を計れり。斯の如く

にして彼は漸次王と土民の信望を博し、遂に自ら王位に就き、洲内の政治を左右するに至れり。サラワクの王位は今尚ほ彼の後裔の繼承する所にして、馬來諸洲の模範洲と稱せらる。其整然たる都會、繁榮なる商業學校、官衙の建築物は馬來聯邦中稀に見る所のものなり。サラワクの官憲は歐羅巴人の上において土人の屬僚を使用す。巡查、民兵すべて土人にして、小蒸汽快走船、帆前船の水夫も亦土人を訓練したるものなり。海賊は漸次消滅し、賊首の惡風は今や全く禁止せらるゝに至れり。ダイヤク族は各其村落に安定し、簡易なる農工業に従事しつつあり。國王は容易に土地の租借を許さず。鑛山の採掘の如き國中唯一所あるのみ。商業は大部分支那人の手中にあり。歳入は克く國計を行ふに足る。地圖を繕きてポルネオの地形を現る時は、西北に連亘せる山脈は實地國中を兩分し、中央は大山高嶽相重疊し、支線長く東南に走るを知るべし。和蘭に屬する一面は土地廣漠にして、河流長大なれども、英領に屬する一面は分水線と海岸線との距離比較的狭小なるを以て、河流激奔して土人の小舟の外航行に適するものなし。小

圖狀

流の邊陲所々に人力を以て開拓したる空地あれども、多くは莽叢を以て蔽はる。ポルネオには熱帯地の草花夥多なれども、他の熱帯諸國の巨木鬱蒼として葛藤の其軀幹に攀生するが如き光景なし。土地は至る所小丘を突起し、漸次高山に連なるを見る。木材は重要な産物にあらざれども、河流を利用して東北の諸港に流出するもの幾分あり。金鑛は既に記述せし如くポルネオの重要産物なれども、未だ大規模の發掘を企圖するに至らず。河流の洗出する所の僅少の砂金は、往昔より土人の採集するものなれども、矢張り會社の企業をなしたるものにあらず。石炭は北ポルネオに存す。ラプアン島の炭脈は數年來不利を顧みず試掘し來りたるが、今は漸く有望の境に進めり。石炭は其産地より輸出港まで一噸四志を以て輸送せられ、八志を以て販賣せらる。ダイヤモンドは會てサラワクより産出したるものなれども、今は殆んど消盡して、最良のダイヤモンドは常に南ポルネオより來るものなり。ポルネオの海港市村に於て富裕なる土人或は歐羅巴人中屢々大形のダイヤモンドを帶用するものあれど、其截方甚だ拙劣なるを

以て光澤著しく減少せり。ボルネオの鑛物は未だ充分の調査を経たるものにあらず、之が科學的調査に要する經費は頗る大なるものあるを以て、常に目前の利益に汲々たる會社は、進んで是が負擔を決行する事を欲せず。和蘭船は南部の大河流を溯りて多少内地の商業に従事し、或は英人にして北ボルネオ會社に屬する荒地の開拓を企圖するものあれども、之れ畢竟ボルネオの一小部分に過ぎずして、眞のボルネオは其隣海に存するミンダナオ島の如く、或は亞弗利加の人跡未到地の如く、依然として世界の秘密地として存するものなり。

ブルネーは馬來獨立洲の最後のものなり。名義上英國の保護の下にあらずと雖も、政治上未だ充分の干渉をなし得るものにあらず。國の重大事件發生の時は、英國北ボルネオ會社の總督は則ちブルネーに行き、王及び待臣を招集し、諮議を凝らすを以て常とせり。彼等は表はに總督の言を聞き其の指示に従はん事を約すれども、一旦總督の其地を去るに於ては、忽ち舊態に復し暴戻を再びして毫も省みる所なし。彼等は北ボルネオ會社の現下

ブルネー

の地位權能は未だ充分斯る避遠の地に及ぶ能はざるを知れり。ブルネーは曾て馬來文明の華美を表現したる所にして、其勢力四隣を壓し、時々の貢物王の身邊に堆積し、威裝を凝らしたる幾百の大衆ピッカフェッタの宮殿に集まり、金銀綾羅の裝飾物美術品、文明人をして一驚を喫せしむるものありき。然れども今やブルネー市は全く衰退し、鶯色の民屋低河岸に連なり、高く蕭帆を上げたる支那ジャンク船は漫々水上に浮び、無數の土人舟の其間を上下する光景、僅かに舊都の偉を表すのみ。今日無學無識の國王は、徒に壊廢せる宮殿に踞坐し、同じく無學無識なる廷臣と共に放縱なる生活を營み、河川の整理市街の修築等の如きは、毫も顧慮する所あらず。ブルネーには教育なく、行政なく、司法なく、關稅の一定せるものなし。内地の土民は今尙ほ兇暴殘忍にして、常に爭鬪殺戮を事となし、隣洲のサラックに比し眞に悲しむべき對照を現出せり。

ラプアン島は四十三年間英國の委託殖民地として存じたりしが、經費多端にして利得の之に應ずるものなかりしを以て、一八八九年遂に會社に交

ラプアン

附せられ、現今會社は此地に駐劄官を置き、一般行政の樞機に任ぜしむ。會社の首領は總督にして、内地を數個の行政地方に分ち、各政廳を置く。北ボルネオの沿海地は會社支配の最も重要な地方にして、數多の貿易場を設け置せり。電線は北ボルネオを一貫し、ラブアンとサンワンカンの二洲を連接せり。鐵道の布設せられたるものは、ラブアンの隣港より少しく内地に入りて、入口稠密なる部落を連接するものと、北ボルネオ會社の所在地より沿岸を走り、ベツメルトンと稱する部落に通ずるものとの二線あり。尙ほ此外に國の東西を連接する横貫鐵道は、目下考慮中なりと聞く。會社はまた資本家を招致し、土地の耕作に従事せしむ。而して廣大なる地面は既に烟草栽培に使用されつゝあり。

殖民會社の効力は、一時的のものにして、恒久的のものにあらず。彼の和蘭東印度會社の其後繼者に遺したる弊害は、前章屢々論述したるが如きものにして、英國東印度會社は其選定したる役員の良好なる爲め、失敗の度比較的僅少なむしと雖も、尙ほ英政府の意向を充分に遂行する能はず。

## 殖民會社

りき。ポトリン會社は印度人問題に關し大失敗を招き、北阿弗利加の諸會社は開拓者として大功を奏したりしと雖も、其施政の方法に多少の誤謬を存じたるや明なり。シセル、ローヅ若しマタペレランドとマシヨナランドの所領を企畫し、其企圖を實行せしにあらざれば、此二洲は遂に獨逸國の所領する所となりしならん。北ボルネオ會社も亦ボルネオの發展に甚だしき成績を擧ぐる能はざるものなれども、其地をして他強國の勢力に委するに至らしめざるは常に多とする所なるべし。サンダカンは比律賓及びサルラ島の交通頻繁にして、常に其島民の來往する所なり。漸く東部に進めば、パシヨリス、ヒューギス或はセレブス諸島より來る馬來海賊種の部落あり。要するにボルネオはブルネーとサラツクの二州を除けば、人口甚だ稀薄にして、海岸若しくは河川の流域に小部落をなすもののみ。少しく内地に入り、山間の廣地若しくは沿海に出路を有する僻地に到れば、ダイヤク人と稱する馬來人種の一族あり。彼等は軀幹長大にして、皮膚稍鮮麗、頭髮軟黒にして、常に之を頭上に結束す。北ボルネオ沿岸地に於ては他種族

## ボルネオの土人

との雑婚により其特質に多少の變化を來たしたりと雖も、尙ほ彼等の言語風俗は明かに他の馬來族と區別する事を得べし。ダイヤク族と比律賓の蠻族との酷似は既に論述したるが如く、此事實は馬來種族の大移動前、彼等のスマタラのバタック族と同一族に屬せりと云ふ學說を更に強固にするものなり。彼等は幾分かモンゴル族に類似の點なきにもあらざれども、寧ろインドネシヤン若しくは前馬來人と稱するを以て適當とすべし。人種學上、半マレイ、半コーカシヤンの侵入前、群島州は純コーカシヤンの移住する所となり、漸次ポリネシヤ諸洲に散布せしものなる事は、學者の説の常に一致する所にして、ボルネオの山地に住するダイヤク族の長大なる軀體と鮮麗なる皮膚は確に之を例證するものなり。ダイヤク族中に數多の部落あり。就中ダスマン人は善良にして勤勉なり。彼等の中勇猛にして敵を恐れず、ボルネオ會社の警察隊の斥候となり、或は土民兵となりて功を奏するものあり。印度より來住したるサイクス人は甚だ劣等の種族にして、荒地の作業に適せず、彼等は叢林に侵入して自ら食を求むるの勇氣なく、糧食

の供給を待つものなり。之れに反してダイヤク族は叢林沼澤に猛進し、至る所に小舎を作り鳥獸を射殺して火食をなし、會社の荒蕪開拓の用を爲す事甚だ大なり。然れどもダイヤク人は偏學固陋の種族にして、常に事物の



ボチルオの土人トラムツ族

吉凶を占ひ若し惡兆の表はるゝものある時は、如何に鞭撻を加ふるも移動するものにあらず。ダイヤク人の家屋は地上高く櫓を造り、或は叢林中に一の高大なる家屋を造り、全村の土民皆其中に居住する事あり。彼等の家屋を高くするは敵の侵害を防止する以所なれども、其床板甚だ堅固ならず、土民は常に薄蓆の上に居座するを以て、敵人の其床下に潜み、長槍を以て刺殺さるゝ恐あり。また其牆壁に窓口を

設けず、或は之を設くるも常に固く閉鎖しあるを以て、屢々火攻の災を受け、その混雜に乗じ殺伐を恣にせらるゝ事あり。ダイヤク人は比律賓の同族種の如く容易に文明に適隨せず、歐洲人に接すれば却つて漸次衰退するの傾向あり。彼等の宗教は極めて卑近なる迷信なり。ボルネオの北部にあるキナバル山は最も多く彼等迷信の繫なる所にして、彼等は山嶺を以て死後靈魂の歸宿所となし、敢て高山に登るを欲せず、人の高山に登り漸次其身體小になり絶頂に至りて遂に其形を没するを見て、其人の死滅となし、到底再び下山する能はざるものと信するなり。縮毛のチクリト族はボルネオに於て發見する能はず。然れども其内地に於て、彼等と土人との雜婚より生じたる矮小にして暗黒文明程度の極めて低きムラツト族と稱する種族あり。彼等は重に菜食にして且つ米を以て酒を造り、老若男女一様に之に耽溺す。彼等の躰質の羸弱にして智識の劣等なるは、此飲酒の風の致す所にして、曾て北ボルネオの總督は彼等の間に行き、飲酒の害を説き、其弊風を矯正せんと計りたれども、彼等は忿激して其好意を斥けたり。現今彼等は

ボルネオに於ける支那人及歐米人

五才以下の小兒の飲酒を禁ずる法律を許諾せり。ムラツト人は其馘首時代の功績紀念の爲め時々軍舞を催す。其平大鼓を打ち銅羅を鳴らし竹笛を吹き異様な身振を以て踊り廻はる光景は、馬來諸國各地に見る風習にして、殊にムラツト族の好んで并舞する所のものなり。ダイヤク族の軍舞は蠻態を表現し、攻撃守備凱旋等の軍事行爲を模擬せる舞踊なり。英領北ボルネオ土民の事情は大要以上の如きものなるが、此外尙ほ同國人口の一部を形成するものは歐洲人及び支那人なり。元來馬來人は懶惰にして自ら自國の富源を開拓する能はず。支那人歐洲人の來住により、初めて國の進歩發達を企圖すべきものなり。若し外國人の來りて種々の事業に従事するにあらざれば、馬來諸洲は恐らくは永く未開地として存するものなるべし。爪哇國に於て彼等は或程度の文明に達し、其工業建築に於て著しき進歩を來したりと雖も、彼等の文明は第一に印度人第二は阿刺比亞人の賜にして、自ら進んで其發展を計りたるものにあらず。馬來半島の發達は英國の其主權を獲取したるに始まりたるものにして、其鑛山開拓の

業は馬來人にあらずして支那人の手に成るものなり。馬來諸洲に於て支那人は必要なる労働を供給し、歐洲人は其政治の調理に任ず。北ボルネオに於ける支那人は、一般に小賣或は仲買の業に従事し、沿海諸港到る所店舗を連ね、雑多の商品を陳列せり。一部の支那人は苦力なり。各種の労働に従事すれども深く内地に入るを欲せず。他日大鑛山の發見により多額の賃金を拂ふべき機會生じたる時は、彼等を誘導して叢林生活を営ましむる事を得べしと雖も、一般に内地に於て有力なる労働を得る事はボルネオ人の最も難しとする所なり。前年英國北ボルネオ會社はミュークルの土地を提供し、路費を給して労働者の移住を計りたるが之に應じたるもの僅かに十名に過ぎざりしと云ふ。ボルネオに於ける歐羅巴人は常に爲政者若くは監督者の地位を保有す。ラプアンは氣候快順にして文明人の移住に適すと雖も、そは畢竟海岸を離れたる山嶽地を意味するものにして、一般海岸に接する低地は暑熱烈しく、マラリヤ熱の流行恐るべきものあり。今後叢林を開き排水の法を講ずる時は、多少惡疫の流行を防止する事を得べし。

是雖も現時のボルネオは到底健康地と稱する能はず。ラプアン及びピカンダカンは比較的進歩したる都會にして、食品の供給、物貨の輸送、稍文明人の生活に適するものありと雖も、船舶の交通不便なる、未だ充分に其需用を充たす能はず。サダカンに於ては時々香港より廻送さるゝ氷詰の羊肉を得る事あり。普通の肉類は輸入牛より得る牛肉のみにして、品質甚だ佳ならず、小鹿は時々山地に獵獲され、富者の食膳に上る事あり。鴨と鳩はボルネオの名物なり。食料の乏しきは、其の一大障害にして、會社は徒に配當の多きを欲し、官吏の俸給は極度に減額され、且つ恩給又は年金の制なきを以て、自然他に好地位を求むるか、或は不遇を忍んで小額の俸給より幾分の貯蓄を計らざるべからず。官吏はすべて無試験を以て採用せらる。斯の如く北ボルネオ會社の官吏の境遇は甚だ好望なるものにあらずと雖も、今日まで其總督の地位に上りたる人物は、概して學識經驗に富める英國紳士にして、其部下の數多の屬僚中には門地あり教育ある青年官吏甚だ乏しから

ず。英國の大殖民國として世界に雄飛する以所は則ち其臣民の勇膽遠く蠻地に進み瘴癘を冒し苦熱と闘ひ、身命を賭して省みざる奉公義勇の精神によるものにして、後進諸國の常に欽仰して止まざる所なり。

サンダカン

サンダカンは北ボルネオの首府にして、叢林茫茫たる蠻島に於て殊に異色を呈する唯一の都會なり。佳良なる港灣に望み、頂上常に清風の颯々たる丘陵を負ひ、海岸に沿うて棕櫚廠の綠蔭を以て蔽はるゝ馬道あり、風致ある馬來村は遠く海中に突出し、繁榮なる支那町は他の平面を占有す。サンダカンの道路は大概險坂にして時々兩の爲め流失さるゝを以て馬車を用ふる能はず。市民は常にスリウ産の小馬に乗る。サンダカンには殊に支那苦力の昇く脚臺あり。此脚臺は板の上に數箇の椅子を駢べて人力車に代用せらるゝものなり。

ラプアン

ラプアンはサンダカンに亞ぐ都會にして、ボルネオの靜養地と稱せらる。然れども市風一般に野卑にして、阜頭は荒廢し、倉庫は沈落し、汚穢なる支那店民舎、市街の兩端に羅列す。サンダカンとラプアン以外の都邑は烟草裁

培地の屯所にして、若干の歐人と支那人とを含有する小部落なり。

此小部落中、クダットは其附近に大菓實園を有するを以て稍有名なり。

烟草栽培地は各行政廳を有し、常に駐劄官、補佐官、醫師、其他二三の屬官より成立す。烟草栽培の監督者は白人にして、勞役者は土人若しくは支那人なり。土人の勞役者は多く懶惰にして、勞働を好まず、屢々逃走を企つるものあり。逃走者に對する刑罰は笞打なるが、會社の巡查は駐劄官の命により之を施行す。烟草の栽培には特殊の土地を要し、且つ其栽培の有効時期は四年毎に一回なるを以て、比較的廣大なる地面を所有する必要あり。初め會社は土地貸付の法律を制定するに當つて、借主の理由なく其耕作地を使用せざる場合に對する相當の制裁を規定せざりしを以て、目下良好なる土地の荒廢のまゝ委棄せられたるもの數多あり。北ボルネオ産の煙草は耕作の改良により他國の葉質に拮抗する事を得べし。英領北ボルネオの貿易は一八九九年に於て、輸入二四五七〇〇磅、輸出三四四〇〇〇磅、總計五八九七〇〇磅なり。而して此貿易額は近年漸次増加の形勢にあり。輸出品



中最も重要なものは煙草にして其他木材、西穀米、藤杖、護謨、燕巢、鹽漬魚、直珠、貝類等なり。珈琲も亦輸出品の中に屬すれども、其産額甚だ僅少なり。西穀米は棕栢樹より製するものにして、下等土人の食用に供せらる。西穀米の産出近年大に減少せり。以上列記の輸出品中、農作物と稱すべきものは煙草のみにして、其他は皆叢林地に生ずる天然物なり。是等天然物は多く支那人とマイヤク人と交易より得るものなり。輸入品は殆んど日常生活に必要な食料品雜貨にして、其中最も重要なものは錫詰類なり。近年鐵道材料の輸入も大に増加せり。西洋貨物は重に支那人の會社員に賣付くるものにして、土人は常に粗惡なる自國製の物品を使用せり。開化したる馬來人は綿布を着用すれども、未開の土人は更に衣服の嗜好なく、家内の器物は單に椅子とテーブルと寢床に充つべき席あるのみ。彼等唯一の裝飾品は寶石にして、重に支那人の手によりて、獨逸製或はドイツミンガム製の安物を供す。英國北ボルネオ會社の施政の方針は、勿論國土を開拓し土民を文明に進

むるにあれども、其領域の荒漠として産物の僅少なる大資本を投じて鐵道道路の急設を計る能はず。現今僅かに産出する農産物鑛物は、幸に其産出地方を通過する河流の便を藉り、殆んど無代價と稱すべき土人の木舟を以て輸送せらる。北ボルネオの爲政者中には、東部より西部に向て國中を縦貫する大鐵道開設の必要を唱ふるものなきにあらざれども、其既設鐵道に於てすら列車回轉の度數甚だ少きを以て、線路上數多の故障生じ、叢奔其上に蔓生するの恐あれば、新鐵道の開通を見る事容易の業にあらざるべし。其他ボルネオの進歩を阻害するものは、内地土民の不治無法の状態なり。沿海岸の都邑は既に英國の治下に歸し、不良の徒は漸く其跡を絶ちたりと雖も、遠く内地にある蠻民は時々會社の屯田地に侵入し來り、其財物を掠め或は良民を殺害する事あり。會社の今日まで、土民教育の爲め、秩序恢復の爲め、未開地探險の爲め、農産物試作の爲め、鐵道道路港灣修築の爲めに費やしたる金額は甚だ大なるものありと雖も、多くは不生産的に了り、又近き將來に於て何等顯著なる進歩を見るの豫想なし。然れども太平洋の發展は

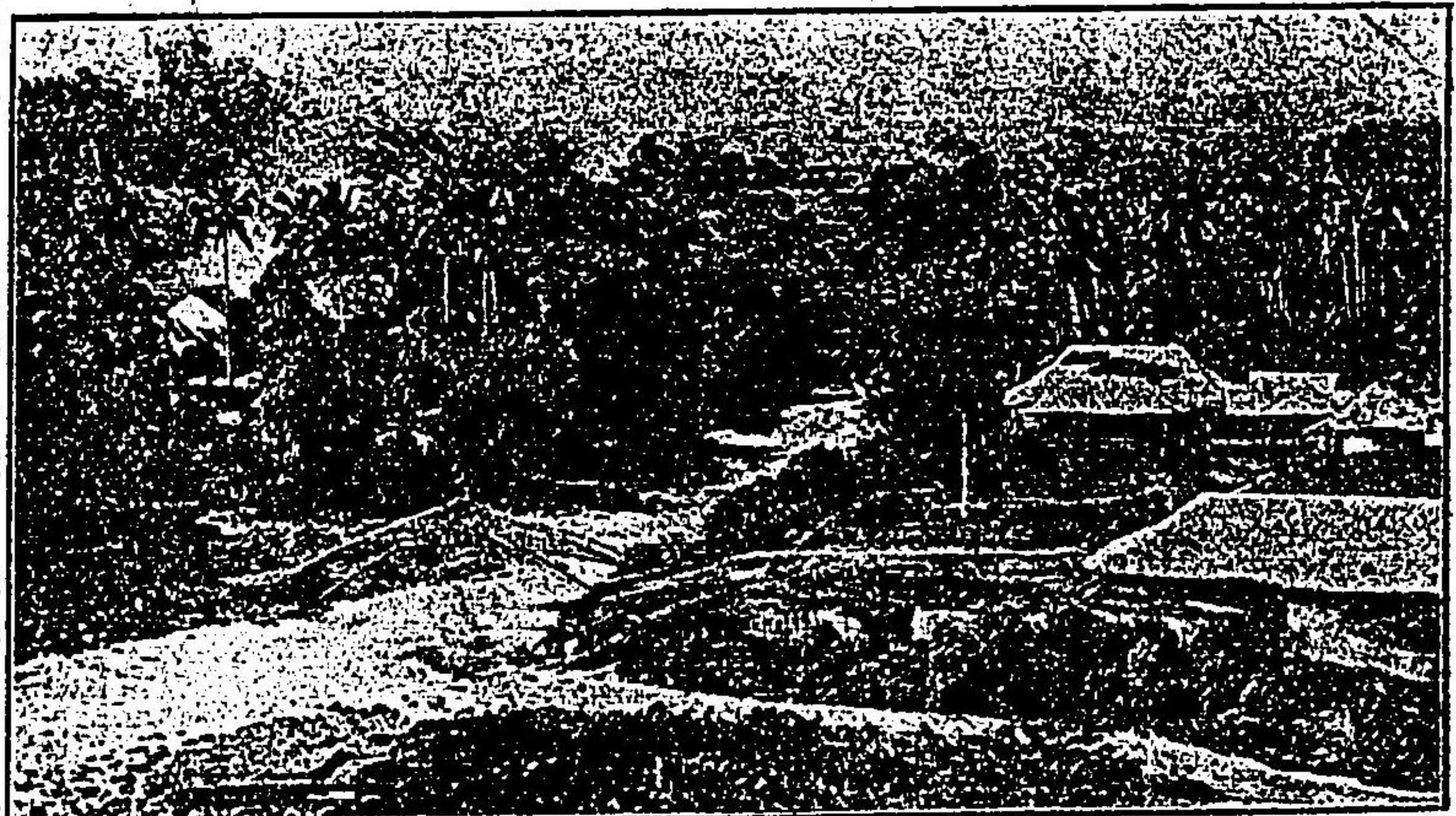
事實なり。米國は比律賓を獲取し濠太利は日新の發達をなし亞細亞諸國の商工業も亦大に革新せる今日、獨りボルネオの永く現在のまゝに萎棄せらるべきものにあらざ。時運の進歩と共に英國はボルネオの大島國を開き其良港灣を利用し此方面に於て大に其雄を稱する時來るべし。

### 第十一章 太平洋に於ける和蘭

其の和蘭の政治—セレベス—マツカサア—サコリシグ—パンツァマ—マッスン—コ  
—イテイ河畔石油泉—南ボルネオの金剛石—パレイ島—ポイヨシシグ—ロ  
ンボク島—バンタ島—スバイシアイランド—アンホイニア—スマタラ島—  
アナン族—バタック族—メナンカボ—一八〇七年の回教徒の蜂起—コレ  
ン州—パレンバン—結論

和蘭の施政

和蘭は其東印度の所領を分つて内領と外領となす。内領とは爪哇とマデラを稱するものにして、外領とは其他大小の島嶼を指すものなり。爪哇の政治法は構成甚だ複雑にして、而かも殆んど間然する所なしと雖も、小島國に於ける和蘭の支配は單に間接の監督に止まり、大概地方會長の從來



ジャワ村の景

の執權に一任するものなり。會長の顧問となりて和蘭總督府に屬する理事官あれども實際は土民長多く其政治に當り、理事官は唯僅に形式の任務を盡すに止まる。若し地方に於て重要事件發生の時は、理事官は先づ之を爪哇に於ける總督に計り、其指揮を請はざるべからず。思ふに中央集權の法は和蘭國殖民政治上已むなき結果ならん。然れども之が爲め地方企業家貿易者の事業を阻害し、國家經濟の發展を遲滞ならしむるもの甚だ少からず。土地の租借を請願して幾年も回答を得ず、徒に冗費を重ね、不平に時日を送るもの、和蘭殖民地の邊境至

セレベス

る所然らざるなしとは、彼地旅行者の屢々言明する所なり。セレベスは、和蘭東印度所領中ボルネオ、スマタラ、ジャワに亞ぎ、其動植物の亞細亞濠太利に異なるものあるを以て有名なり。國中の土人は數多の部族に分別せられ、各酋長を有す。酋長の中、或ものは和蘭官憲の補佐を受け、或ものは全く獨立して唯外交問題に於てのみ多少の監督を受くるものあり。同族の殺伐は今尚ほ止まず。山地に住する部族は最も野蠻にして、文字なく、政法なく、裁織治金の術を知らず、極めて低度の文明に居るものなり。土民は總て馬來種族に屬し、最も著明なるものはビュイギス族にして、彼等は曾て馬來群島に擴がり、海賊を業とし、暴威を逞うし、四隣を壓倒したるものなり。セレベスの土人は概して銅色の皮膚を有し、頬骨秀て口唇厚く、眼角稍釣上り、頭髮黒く、サロンと稱する格子縞の腰巻或は花紋の股引を着け、寛濶なる胴衣を用ひ、圓頭巾を被り、或は單に手拭を捲く。マツカサー人は圓錐形の帽子を被り、サルス人は緊まりたる股引を穿ち、メツカに巡禮したる爪哇人は綠色の大なる頭巾を被るを以て常となす。言語は其部族の種別と共に多

マツカサー人

サルス人

マツカサー市

少の相違を生じ、馬來群島と比律賓間に於て各文字を異にしたる十一以上の國語の發展を見るに至れりと稱せらる。然れども彼等の言語は大體に於て系統を有し、唯だ時代の経過と共に漸次互に不可解の程度まで變化したる方言なり。シンガポール其他沿海地に於ける馬來人の其日常語の中に多くの外國語、殊に阿刺比語を交へ、從來の純粹なる土語の形跡を存せず。マツカサーはセレベスの首府にして、蘭領東印度諸島中、爪哇の都市に次ぐ重要都會なり。其港灣は半哩許の直線岸にして、其埠頭數多の倉庫商店羅列し、土人舟群集し、其間に時々大形の支那貿易船交はる。マツカサーとソイラバヤとの間に毎月二回の汽船航路を有す。シンガポール若しくは英領ボルネオとの定期航海なく、唯だ幾週日を隔て、他國汽船の隨時寄航するものあるのみなるを以て、外國旅客の來訪するもの甚だ少なく、英國居留民の在住するもの僅かに二三を數ふるのみ。曾て葡萄牙人の建造せし城砦は今尚ほ嚴存し、古式の大砲は其城壁を飾ると雖も、到底實用に供すべきものにあらざるべし。此城壁の背後に當つて和蘭町の清雅なる市街あり。

其赤瓦の屋根尖りたる破風細き硝子窓は和蘭殖民町の模型を示すものにして、市街は溝渠を以て排水せられ、會堂あり、望樓あり、石造のクラブあり、蕭洒なるホテルあり、之等は土人の汚穢なる茅屋に比して稍着目するに足る。市街一般に沈靜、港口附近に於て僅かに活氣を呈するのみ。和蘭人が此寂寞たる一地方に安座し、僅少なる仕事に満足し、進んで内地に入り、土人を征服し、利益線を擴張する事をなさず、苟且安逸に二百年の長年月を空過したるは、蓋し蘭人の蘭人たる所以にして、今後彼等は近代的活動に接觸し如何の變革を爲すべきやは吾人の刮目して見るべきものなるべし。セレベス島の西部の對岸は蘭領ボルネオにして、蘭領ボルネオは山嶽を以て英領ボルネオに接し、沿岸高く突起し、港灣の見るべきものなし。東部西部の水線は一般に平低にして、參差なく、時に大河流の流出より生ずる三角洲によりて僅かに其單調を破ることあるのみ。蘭領ボルネオはニューギニヤの如く未探險の地に屬す。海岸に僅少の海賊的土民散居し、河岸に沿うて、半ば陸上に、半ば水中に住する蠻民あり。サマリニダはボルネオの首都にして、

サマリニダ

モラト河に臨み、國中第一の貿易場あり。馬來町は殆んど水中にあり、住民の往來は總て獨木舟による。河岸の一方は互市場にして、數多の埠頭あり。倉庫其前に並列し、貨物の集散甚だ盛なり。倉庫の後に支那町あり、市中最も繁盛なる所なり。白堊の家屋は歐羅巴人の居住を示すものにして、其割内にホテル、ウィルヘルムナ屹立す。棕櫚樹の綠蔭濃やかなる道路は市街の一端を貫き、風光掬すべきものあり。

バンジャマ

バンジャマツシンはペリト河に接する要都にして、繁榮なる土民の互市場あり。學校、病院、旅館等、公共の建築物樹間に隱見し、ブームブラツチの街頭は殊に樹木鬱蒼として、烈日を遮ぎり、日中熱帯の苦熱に惱まされたるものも一度此間の光景に接する時は、身心自ら爽快を覺ふ。土人町は多く河水に跨がり、獨木舟の往來昌なり。馬來人の河水生活は生來の習慣にして、其操舟の巧みなる實に他國人をして驚嘆せしむるものあり。此地方の兒童は六七歳に達し、歩行漸く自在となるや、直ちに櫂を取り、自ら操舟を試む。彼等の嬉々として舟端に遊ぶ有様は、他國の兒童の庭園に戯ると、毫も異なる。

る事なし。ベンジャミンの河流は廣く緩やかにして、其兩岸は棕櫚樹を以て縁取られ、バナ、オレンジ等の菓實は其間に點綴し、夕涼に浮ぶ所の海扇型の家族船は富裕なる土人支那人のゴンドラ船に交はり、華美なるサロシグを着けて、語調静やかに馬來語を喃々する婦女の艶聲は月光輝々たる水面を切る所の樞音に相和す。和蘭ボルネオの静寂なる光景も亦自ら旅情を慰むるに足るものあるべし。

コーテ河の上流には數多の石油泉發見せられ、和蘭殖民村の沈靜なる光景と趣きを異にする石油村あり。コーテ河畔の石油は更に化學的精製を施す爲め、バクパツパンに輸送さるゝものにして、バクパツパンは數年前英國企業家の半は支那人、半は馬來人より成る六十名の團體を率ゐて上陸したる所にして、其後幾多の困難を経て今日の隆盛に至りたるものなり。バクパツパンは美麗なる港灣を有し、石油貯藏所を設け、蒸溜機を据付け、數多の鐵管地下を走り、蠢々たる和蘭人もボルネオに於ては流石に近代的活动の光景を呈しつゝあり。バクパツパンは其石油を近くは東

コーテ河  
畔の石油泉

洋の各地に、遠くは埃及の海港に輸送す。其石油會社に屬する數多の歐羅巴人は、常に山壁の涼風爽やかなる邊に清麗なる家屋を造り、電燈を照らし、俱樂部を建て、運動場を設け、快活なる生活を營む。然れども近郊大概ね荒廢して道路の開鑿なきを以て、他の文明都會に於けるが如く、自轉車乗馬等の戶外的快樂を取る能はず。會社雇用の苦力は殆んど二千人と稱せらる。アルメニヤ人、ギリシヤ人、露西亞人、希臘人、伊太利人、其他の歐羅巴人は常に職業の主位にあり。支那人馬來人は其下に使役せらる。コーテ河畔の石油は、年と共に其産額を増大し、若し東洋諸國の實業益々勃興して石炭の供給缺乏し、其價格騰貴の爲め商船の燃料として石油を使用するに至る時は、ホルネオの石油は則ち其需用を充たすものにして、年を遂うて益活氣を呈するならん。石炭は多く南ボルネオに於て發見せらるべし。然れども石油事業の隆盛に蔽はれて未だ採掘の運に至らず。和蘭は國の重要産物を英國會社の手に委する事を欲せず。其事業上種々妨碍をなしつゝあるものゝ如し。バクパツパン灣に入港の船舶に水先案

南ボルネオの金剛石

パレイ島

グボイレン

内を附するを要する事を規定せる法律の如きは、則ち其一なり。南ボルネオは亦金剛石の産地にして其色澤光輝の阿弗利加産に比し優良なるに拘はず、其截切法粗悪なる爲め甚だしく品質を害せり。既に記述したるが如くボルネオ産の金剛石は黄色にして光輝寧ろ鈍暗なり。パレイ島は和蘭外領中比較的細小なる島洲にして、此島は是等連島中亞細亞系動植物を發見すべき最後のものなり。博言學者フンダータンク氏の親しく其島内に居住して馬來語を研究せしを以て有名なる所なり。ボイレングは其首府にして、海濱にあり。港灣を有し、倉庫俱樂部官衙等は寧ろ名目を存するのみにして其だ寂寞たるものなり。椰子の果實より製するコブラは重要な産物にして、其油の汚臭は全村に充滿す。和蘭人は氣候風景稍々佳良なる高地に住す。島内大部分の土地は耕耘せられ、珈琲は其重要な作物なり。島中別に見るべきものなく、半ば泥を以て作られたる土人の茅屋所々に散在するあるのみ。傳道教育は未だ施されず。パレイは曾てヒンヅー文明の中心となり、爪哇に比肩すべき他位に達したる所にして、二

ロンボク島

備の文字を有する言語と法典とを有す。ヒンヅー教は今尚ほ行はれ、階級制度保有せらる。然れども土民の風儀甚だ修まらず、淫習汚俗其風をなす。ロンボクはパライに連接する島國にして、濠太利系の動植物の起原する所なり。近年に至るまで全島の政治殆んど會長の手に存し、會長其獨裁權を恣にしたるものなれども、一八九四年の暴動に於て和蘭人の虐殺の事ありしより、政治上の變革生じ、和蘭は漸次其島内に地歩を固むるに至れり。現今和蘭はアンペチン港とマタラムに守備隊を置き、充分の政權を掌握せり。然れども内地の土族間に於ては紛争の止む時なく、農作爲めに阻害せられ、大饑饉發生する事頻繁なり。パレイ島とロンボク島にはヒンヅウ文明の古跡あり。殊にロンボク島の殿堂及び牢獄は、今尚ほ歴然舊態を偲ぶべし。和蘭殖民村の得とする所は、其道路の優良なる事にして、重要な都府は大概綠蔭愛すべき垣道を以て連接せらる。然れども東方濠太利の方面に進むに隨ひ、其光景漸く荒損じ、連島の最東端たるテモールの島の如きは、何等人工を加へざる荒涼たる山地に過ぎず。連島の最も現著なる光景は其

パンタ島

中央を走る所の火山脈にして、之が爲め島の土地を豊沃ならしむる利あれども、其噴火は時には幾千百の土民の生命を損傷する事あり。火山中最も著大なるものは、ガノンとアバイの兩山にして、共にパンタ島にあり。海邊より直ちに雲表に屹立し、パンダネ、トラの小都會其麓にあり、山體の壯大と著しき對照をなす。此地は肉荳蔻の特産地にして、東印度會社時代の城壘今尙ほ此地の重要なる裝飾たり。曾て繁榮なりし市場として世界の各地より貿易者を招致したるスパイスアイランドのタネネ、ト市は、今は和蘭駐劄官と會長との所在地なり。和蘭がニューギニアの西部を所領するに至りしは、此タネネ、トの會長との協約に成りたるものにして、タネネ、トの會長の權威は實に島の大部分に振擴するものなり。肉荳蔻及び珈琲は此地の重要産物として、廣く耕作せらるると雖も、氣風一般に懶惰にして、勞役を好まざれば、小作人は多く附近の島國より輸入せらる。葡萄牙人、和蘭人の雜種は連島至る所に存し、アルポイニヤは殊に是等の種族を以て有名な所に於て、土人と同じく優情放逸の生活を營む。アルポイニヤ人は激し

スパイスアイランド

アルポイニヤ

易く、口論を好み、日常砂糖、棕梠より製する一種の酒に耽けり、風儀甚だ卑猥なり。或る和蘭の旅行者が、モラツカ諸島の光景を描くに當たり、其一般に亘る停滯不振の狀に厭き、アルポニヤ港の叙景に幾分の活氣を加へんと欲して無意識に諷筆を弄して曰く、「汽船のバツケット會社の埠頭に到着するや、幾多の土民其周邊に集まり、大に之を見物すと稱せり」と。無事に苦しむとは今日のモラツカ島に於ける歐羅巴人及び土人の事にして、彼等にして若し永く今日の狀態を持續し、島の發展に努めざる時は、其運命や知るべきのみ。

スマタラ島

和蘭外領島洲中最も重要なものは、過去數世紀間航海者の所謂其南部海岸と胡椒沿岸と稱し來りたる美麗なるスマタラ島なるべし。スマタラは他の和蘭東印度所領と異なり、前馬來種族の遺苗、コリカス族の後裔を有す。彼等は普通バタク族と稱せられ、容貌風習ボルネオのダイヤク、比律賓のインドネシヤンに酷似せり。スマタラ島は馬來半島と一海峡を隔て直ちに亞細亞大陸に接するに拘はらず、今日まで他國の侵襲を受くる事な

其大部分の未だ荒莽に探險せられずして存する所以は、一は其島内に住する悍猛なる土族の克く外來者の侵入を拒み得たること、一は彼等の入食識の蠻習初代貿易者の心膽を寒からしめたるによる。瓜哇に寺院を建設し其勢力四隣を壓倒したるヒンヅウ人すら遂にスマタラ島の略取を遂ぐる能はずして止みたり。スマタラは其土民の悍猛にして侵すべからざる如く、其一般の地形も亦剛宕磊塊たり。瓜哇の如く山紫水明の光景は見る事能はず。スマタラの北部は山嶽重疊し、過去三十ヶ年和蘭人に對抗し來りたる勇敢なるアチン族往す。アチン王朝は會てスマタラ大半を支配し、英國が常に全權大使を派遣し置きたるが如き強大なる獨立國なりしが、今や和蘭の地方政域となり、三洲に區別せられ、酋長の政治に一任せらる。過去七百年間彼等は回を教に歸依し、アラビヤ族の血液を多量に受け、好戰的性格を表はし、水夫船匠として最も卓絶なる技倆を示し、海賊としてマラツカ海峽の羅殺なりき。現今アチン族の殺伐奪略の風大に減じたりと雖も、祖先傳來の習性は一朝にして容易に改むる能はず、時を隙を作り兇器を携

アチン族

アチン族



第十一章 太平洋に於ける和蘭

へ良民を侵害する事あり。アチン人の軍隊組織はマサック族に似て、男子は皆生れながらにして兵たり。部落は各相當に兵員を供給し、不時の變に備ふ。スマタラ族皆兵主義は最も和蘭の政治を困難ならしむるものにして、レバ、其スマタラジャの首府に於てすら、其外ハ、廓は濠を以て圍まれ、大砲を備へ、高地に警備兵を排し、以て常に彼等の襲撃に備ふる有様なり。海岸よりスマタラジャに至る三哩の鐵道は列車の車窓を鐵板を以て蔽ふ。之れ彼等の屢々來つて旅客を惱ますものあるを以てなり。アチン地方を南に進み、東西



バタック族

兩海岸の中部に至れば、面積殆んど五百平方哩の風景佳良なるトバ湖を見るべし。此廣大なる内海は深林鬱蒼たる山岳を以て圍まれ、バタック族居住の中心なり。バタック族は人種學者がボルネオのダイヤク族と同種と稱するものなれども、其皮膚はより黒く、其文明はより高し。ボルネオのダイヤク人は其言語を表出する文字を有せざれども、バタック族は之を有せり。ダイヤク人は樹林の間に櫓を作りて其上に住居し、食物は常に叢林中より得る所の天然物なれども、バタック人は比較的美麗なる家屋を建て進歩したる農業に従事せり。バタック族とダイヤク族との共通の性癖は、肉食と讖首の風習にして、此恐るべき悪習は太平洋のコーカジヤン及び前馬來族一般の固有性なれども、モンゴル人及び馬來人には斯る蠻習存在せざるものゝ如し。バタック人の文明は多くヒンヅウの勢力を受け、其言語風習に於て、明に其分子を認むる事を得れども、同時に人種移動の初代に於て、ポリネシヤ諸島に來住したるコーカジヤンの勢力も加はりたるは事實なり。沿岸のバタック族は和蘭の勢力の下に漸次文明に進みつゝ、あれども、

メナンカボ

一八〇七年の回教徒の蜂起

山地に住する者は甚だ野蠻にして其日常生活の狀況を知る能はず。バタック族の居住地の東部に當り、マラツカに面する低地は、馬來族の一種なるサイアク人の本國にして、其短急なる河流は年々莫大なる土砂を流出し、マラツカ海峡を埋めつゝあり。バタック洲の南部はメナンカボの山嶽地なり。メナンカボは數多馬來族の起原地と稱せらるゝ所なれども、其傳説は常に土族間に行はるゝ俗説に過ぎずして、學術上確定の證據あるにあらず。久しく馬來國にありて馬來事情を研究したるクローフォード氏は、此地を以て瓜哇人の最初の殖民地となし、其山名地名の中に、數多の瓜哇起原の言語を摘舉し、且つ其地に存する紀念碑の文字は、古式の瓜哇語を以て記録せられたるを發見せり。メナンガボの南部はスマタラ島中人口最も稠密なる地方にして、農業盛んに行はれ、耕作山頂に及ぶ。土民は久しく回教を奉じ、他の馬來諸國の如く部落酋長の制度行はる。彼等の言語は純粹にして、他國語を混へず。メナンガボの歴史上最も現著なる出來事は、一八〇七年の回教徒の蜂起にして、メツカより歸國したる三名の僧侶は、從來の宗教

に大改革を施し、馬來諸國の三大慰樂と稱せらるゝ煙草、鴉片、檳榔子の使用を禁じ、男女共に白衣を着し、異性道德の振肅を主唱せり。此新宗教は一時大に土民の歸依する所となり、三人の改革者は事實上精神界世俗界に於てスマタラ大部分の支配者となりたりしが、和蘭は三年の戦争を賭して遂に之を征服し、改革宗は漸次衰退し、土民は其窮屈なる教訓を棄て、反つて和蘭に加擔するに至れり。

スマタラに隣する西海岸はバダシ州にして、珈琲栽培に適用されたる高原を有す。州と同名なるバダシ市は諸國の貿易者の居住する所にして、珈琲耕作地に達する堅實なる道路と和蘭廳の所在地なるゾホル、ゴック市を連結する鐵道とを有せり。スマタラとバダシの南方はコリンチ州あり。馬來語の最も古くして最も純粹なる字母を有する所と稱せらる。半開化の土民の居住する所なり。スマタラの南部は瓜哇人移住の數多の證據を有す。其大部分はバレンバシと稱せらる。其東方はジャシベニにして、西方はベンクレンなり。

コリンチ州

バレンバン

ベンクレンと同名なるベンクレン港は百四十年間英國の所領せる海港市にして、後ちマラッカ港と交換せられたるものなり。最南端はランボン人と稱するメナシカ族の後裔の居住する所にして、他洲と同様瓜哇人移住の痕跡を有せり。バレンバン市はスマタラ島中最も趣味ある都會にして、逐年増大しつゝある貿易の中心地なり。バレンバク市は其中三四丁に亘る深廣なる河流に臨み、六哩の間兩岸に屋背の尖りたる木造の家屋を列ね、毎戸殆んど其戸口に獨木舟を繋ぐ。中には家屋を筏の上に造り、隨意に水上に移動するものあり。大小の船舶水面を蔽ひ、帆桁高く吃水深きドンゴラ船は、侏儒の群集に巨人の横行する如く、バレンバン河の光景も亦太平洋奇觀の一たるを失はざるべし。バレンバンに次ぐ他の都會は、バンダング、ベンクレンなり。バンダングはコリンチ州の舊都にして、久しく英國の治下にありたるを以て、歐羅巴人の勢力今尙ほ盛なり。ゴツレイ市はベンクレン港に相當する都市にして、海底電信の起點地なり。スコトラ島は二個の政廳を有し、五人の理事官、一人の理事補佐官ありて、其政務を執行せり。然

バンダング

ベンクレン

れども是等六人の政務官の中二人はライオ、バンカ、ブリ、トシの近島に駐在するものなるを於て、スマタラ本島に於ける政令の遠く普及せざるは蓋し當然の結果なり。ベンダレンと、デツレイに於ける政廳は、瓜哇に於けるが如く會長の手中にあり。ランボンには實際上和蘭國王を代表する和蘭駐劄官あり、バレンバンに於ても亦同様の駐劄官を置く。然れども内地は多く孤立し、或は全く未探險の地に屬す。スマタラ島は其言語風俗を異にする數多の種族を包含し、且つ其地形南北に走れる山岳を以て分割せられたるを以て、和蘭の政治をして更に困難ならしめ、其政令の全島に普及するに至るは到底近き未來の事業にあらざるべし。島の鑛山は未だ充分に開拓せられず、工業は多く土民の武器衣服に關するものにして、地方的なり。南部西部に産出する胡椒は、唯一の利益ある業にして、バタング地方の珈琲の産額は漸次減少しつつあり。近年デツレイ地方に開始せられたる煙草栽培は漸次盛大に赴くの傾向あり。支那勞働者は強制的に煙草栽培に使せらるれども、支那資本家の之が爲め資本を投じ、或は其他一般の企業に

結論

手出するは和蘭政府の欲せざる所なり。要するに、和蘭の外領殖民地は常に停滞不振にして、其隣邦なる馬來殖民地と大に趣きを異にし、馬來聯邦は英國統治の下に、自由に資本と勞働とを仰ぎ、逐年其國情の革新を計りつゝ、あれども、和蘭は常に優柔不斷の政策に甘んじ、毫も時代の進歩に隨伴せず。兩殖民地の對照は今後益現著なる差異を現出すべし。

第十二章 瓜哇

沿革——東印度會社——排作法——現今瓜哇の行政——和蘭殖民行政特質——バタビヤ——ツラバキ——瓜哇執政一班——土人の教育——執政上の難問

沿革

和蘭の東洋殖民事業に着手せし起源は遠く十六世紀の末葉にあり。其目的は全く自國の歲計補充の必要より生じたる商業貿易にありしものなり。之より先き西班牙、葡萄牙は殆んど一世紀間未開國の探險に従事し、亞細亞、亞米利加の發見に大に得る所ありしが、其目的は單に一部冒險者の好奇心を満足せしむるにありたるものにして、眞に彼等の企業に商業的意味

を合著するに至りたるは寧ろ近年の事に屬す。十六世紀の初頭より東洋貿易大に興起し、和蘭は葡萄牙の國旗の下に輪旋しシアンウエルプとアムステルダムの都會はリスボン港を中繼となし、西北歐羅巴に二大要部を現出せり。是に於て和蘭の民心は漸く西班牙の暴政に厭き、一五七九年遂に共和國の宣言をなせり。西班牙との構戦は數多の人命と國帑の消失を意味すれども、和蘭が葡萄牙と親交を保ち東洋貿易の關鍵を掌握する限りは其獨立を維持する事を得べしとされたり。然れども一五八〇年、葡萄牙は又西班牙に併合せられ、西班牙葡萄牙の海港に繋留せる船舶すべて沒收せられたるを以て、和蘭は四壁閉塞の窮境に陥入り、從來富國政策に重要な素源たりし東洋貿易を棄て、西班牙の治下に立つべきか、或は國民的奮起を以て更に東洋貿易の陣頭に立ち以て最後の運命を試むべきか、二者一を撰ばざるべからず。和蘭國民は此時後者の利得あるを見、七十年の奮争の後、遂に東印度諸島の大部分を所領し、當時の最も勢力ある殖民國の一として數へらるゝに至れり。

瓜哇は則ち和蘭が第一に所領したるものにして、其面積五〇、五五四平方哩、人口殆んど三〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、東印度の蘭領中最も重要なものなり。バタヴィヤは其首府にして、一六一九年の建設に關る。和蘭の瓜哇島所領以前は國內數多の部落に分別せられ、回教徒の會長其上にあり、土民は單に其奴隸にして、土地財産の行使は全く其支配者の權内にありたるものなるを以て、和蘭は直接土民と交易を營む能はず、先づ其會長の歡心を買はざるべからず。之を爲すに當つて和蘭の最も困難を感じたるは、會長の多く英國貿易者を喜びて和蘭の新入者を排斥したる事と、彼等の商業取引の常に信實を缺きたる事なり。和蘭は會長政治を亡さざるべからず。會長を征服して初めて英國の競争に勝ち確固たる立脚地を定むる事を得べし。是に於て和蘭は一六二八年初めてジャカトラの地を畧し、十七世紀の中葉殆んど島國の五分の一を其治下に置きたり。

瓜哇島に於ける和蘭政治の發端は、其東印度會社にして、和蘭東印度會社は一六〇二年に起り、一七九五年其惡政の結果遂に自立の基礎を亡失した